

ISSN 1342-2987

仙台市博物館年報

第 45 号

平成 29 年度

目 次

ごあいさつ

1. 展示	2
常設展示／国指定文化財の公開／企画展・特別展	
2. 資料の収集保管	42
受贈資料／購入資料／寄託資料／資料修理／資料保存／資料の貸出／ 写真資料の貸出・利用／指定文化財一覧／収蔵資料一覧	
3. 教育・普及	47
講座・イベント／プレイミュージアム／情報資料センター／ 学校教育との連携／生涯学習施設との連携／広報携／刊行物・グッズ等	
4. 調査・研究	64
5. 仙台市史活用推進事業	68
6. 伊達政宗生誕450年記念事業	71
7. ボランティア	73
8. 友の会	76
9. 博物館改修工事について	77
10. 組織・予算・運営	78
博物館組織図／事務分掌／予算概要／職員／仙台市博物館協議会	
11. 利用状況	81
月別観覧者数／施設利用状況／視察対応状況／講師等利用状況／ 館外実施分含む博物館利用状況／	
12. 条例・規則・要綱等	87
博物館条例／博物館条例施行規則／仙台市博物館資料取扱要綱／ キャンパスメンバーズ制度設置要綱	
仙台市博物館のあゆみ	94

ごあいさつ

平成29年度の展覧会は、春に企画展「伊達な優品勢ぞろいPartⅡーこの10年の新収蔵品ー」として、平成19年以降に寄贈や購入によって収集した文化財を公開いたしました。夏には金剛峯寺をはじめとする高野山の諸寺院・塔頭のご好意により、東日本大震災復興祈念特別展「空海と高野山の至宝」を開催することができました。これは空海ゆかりの貴重な宝物や運慶作の国宝・八大童子立像など高野山の代表的な文化財を公開した展覧会で、7万1千人余の方々に観覧いただきました。また平成29年は伊達政宗生誕450年にあたることから、仙台市だけでなく各地で多くの伊達政宗関連イベントが開催された年でもありました。当館では年間を通じて常設展で伊達政宗に関する展示を行っただけでなく、7回にわたる連続講座も実施しました。そして秋には伊達政宗研究の集大成ともいえる特別展「伊達政宗ー生誕450年記念」を開催することができました。この展覧会では北海道伊達市をはじめ、全国各地の関連機関のご協力を得て、仙台藩初代藩主伊達政宗の生涯とその事績について、多角的に紹介することができたと思っております。

教育普及事業につきましては、学習プログラムや出前授業を多数実施するとともに、「よくわかる！伊達政宗」を発行し、郷土学習に活用できるよう市内小学校5、6年生全員に配布いたしました。さらにPTA行事や各教育研究会への協力、仙台・宮城ミュージアムアライアンス（SMMA）との連携や歴ネット事業など、多方面にわたる学びの機会の充実に努めました。大学向けのキャンパスメンバーズ制度では授業での活用など利用数も増えております。

仙台市史活用推進事業としては、仙台市史講座や図書館連携講座でも伊達政宗をテーマとして開催し、毎回好評のくずし字講座も開催しています。出版物としては定期刊行してきた「市史せんだい」のほか、『『仙台市史』活用資料集 宮城野区の歴史探し』、『『仙台市史』活用資料集 太白区の歴史探しー西部ー』を引き続き発行しました。

当館は新館開館から30年が過ぎ、各種改修工事が必要となっております。29年度は空調設備の2年目の工事を行ない、平成30年1月から3月までの3カ月間、休館させていただきました。

今後ますますの活動の充実を目指すとともに、皆様の一層のご指導とご支援のほどをお願い申し上げます。

仙台市博物館

館長 内 山 淳 一

1. 展示

常設展示

(1) 展示概要と使用展示室

常設展示室は、総合展示室、特集展示室、テーマ展示室Ⅰ・Ⅱ、コレクション展示室Ⅰ・Ⅱ、プレイミュージアムの合計7室で構成される。

総合展示室では古代から中世、そして現在の町の骨格が形成された近世を経て、近代都市へと変貌する仙台の様子を、「むかしの仙台」「伊達政宗、仙台へ」「城」「藩」「町」「近代都市へのあゆみ」の6ゾーンに分けて紹介し、特に仙台城や城下町仙台に関する情報を充実させている。

隣接する特集展示室は、通史的な展示では紹介しにくい資料などを、様々なテーマのもとに展示している。既存のテーマ展示室Ⅰ・Ⅱが特別展会場となる場合には、その代替施設として仙台藩の武具や国宝「慶長遣欧使節関係資料」などが展示されたが、それ以外の期間には、大画面をもち、他の展示室では展示の制約を受ける屏風絵の展示などを行った。

2室あるテーマ展示室のうち「仙台藩の武器・武具」と題されるⅠについては、仙台藩歴代藩主の具足をはじめ、陣羽織・刀剣などを展示、「慶長遣欧使節」と題されたⅡでは、国宝「慶長遣欧使節関係資料」などを展示している。なお、両展示室はともに前・奥室の2空間から成るが、Ⅱの奥室については資料保存の観点から閉室する場合もあった。

2つのコレクション展示室では、当館の特徴的なコレクション類を特集して展示している。Ⅰでは、茶道具や古人形・漆工芸・陶磁器を展示している。この展示室の前には特別ケースを設置し、浮世絵を常時展示している。Ⅱでは、主として絵画を展示している。

これら展示室のほか、プレイミュージアムでは、具足などの複製資料を展示している。また、郷土玩具なども豊富にそろえ、大人から子供まで楽しめる体験型展示を行っている。その詳細については、「3. 教育・普及 プレイミュージアム」の項を参照されたい。

(2) 平成29年度の常設展示

現在、9万点を超える当館の収蔵資料を可能な限り数多く展示し、来館者が楽しめるよう、春夏秋と年3回の展示替えを実施した（冬は休館）。各コーナーでは、学芸員が日頃の研究を生かして、様々な切り口による展示を試みている。

本年度の展示で特筆すべきものとして、伊達政宗の生誕450年を記念する展示を行ったことが挙げられる。まず春に「伊達政宗文書特集」として特集展示室に政宗の書状など15点を展示した。解説キャプションには「火薬を送るから頑張れ!」といった一行コピーで書状の内容をわかりやすく伝える工夫も加えた。夏には「伊達政宗と城」、秋には「伊達政宗と家臣たち」と題して、それぞれ総合展示室の一角に展示コーナーを設けた。これらは秋の特別展「伊達政宗」と連動する企画である。

また、プレイミュージアムでも、これまでと同様に特別展や企画展ごとに関連した体験型のプログラムを提供した。

こうした連動型の展示は、博物館利用者のその時々に関心に応えるとともに、館蔵資料へのより深い理解を促す機会となっている。

なお、常設展の展示替えの詳細については、小テーマは右頁「表1」を、その具体的な展示資料については後掲「常設展示展示資料目録(抄録)」を参照されたい。

(3) 外国人来館者への配慮

外国人来館者に、展示をより深く理解していただくために、当館では以下のような取り組みを行っている。

- 1 英・中・韓3カ国語対応の音声ガイドの導入
- 2 英・中・韓3カ国語パンフレットの作成
- 3 小テーマの解説への英・中・韓3カ国語併記
- 4 展示資料のキャプションへの英文併記

(4) 今後の課題等

次年度も戊辰戦争150年の節目であり、特別展と連動した展示など、引き続き常設展にも時宜をとらえた企画を盛り込んでいきたい。また展示資料を身近に感じてもらえるよう、子供ガイドなどの充実を図っていきたい。

表1 平成29年度展示替え一覧

展示室	ゾーン	コーナー	旬の常設展2017春「生誕450年－伊達政宗文書特集」ほか(4/1-6/18)	旬の常設展2017夏「生誕450年－伊達政宗と城」ほか(6/20-9/10)	旬の常設展2017秋冬「生誕450年－伊達政宗と家出たち」ほか(9/12-12/27)	工事のため休館(12/28-2018.3/30)
総合展示室	1 むかし の仙台	1 仙台のあけぼの	上ノ原山遺跡の仙台市内最古石器ほか	上ノ原山遺跡の仙台市内最古石器ほか	上ノ原山遺跡の仙台市内最古石器ほか	
		2 縄文人のくらし	上野遺跡の皮袋型土器と大野田遺跡のハート型土偶ほか(穀治沢遺跡出土土偶)	上野遺跡の皮袋型土器と大野田遺跡のハート型土偶ほか(下別当遺跡出土土器)	上野遺跡の皮袋型土器と大野田遺跡のハート型土偶ほか(下別当遺跡出土土器)	
		3 稲作の始まりと有力者の出現	(弥生) 中在家南遺跡・高田B遺跡の出土資料(古墳) 遠見塚古墳の出土資料ほか	(弥生) 中在家南遺跡・高田B遺跡の出土資料(古墳) 遠見塚古墳の出土資料ほか	(弥生) 中在家南遺跡・高田B遺跡の出土資料(古墳) 遠見塚古墳の出土資料ほか	
		4 中央政権の進出	郡山遺跡の上偶群・陸奥国分寺跡の復興瓦(貞観地震関係)ほか	郡山遺跡の上偶群・陸奥国分寺跡の復興瓦(貞観地震関係)ほか	郡山遺跡の上偶群・陸奥国分寺跡の復興瓦(貞観地震関係)ほか	
		5 陸奥国分寺	陸奥国分寺模型	陸奥国分寺模型	陸奥国分寺模型	
		6 武士の台頭	洞ノ口遺跡の出土資料	洞ノ口遺跡の出土資料	洞ノ口遺跡の出土資料	
		7 神仏への祈り	陸奥国分寺の仏像	陸奥国分寺の仏像	9/12-10/1中尊寺の美術	10/3-12/27信仰の中の金工資料
	2 伊達政宗、仙台へ	8 伊達氏の登場	奥羽の戦国大名(-6/11)	伊達氏と寺社・信仰(6/13-)	奥羽の戦国大名	
	9 仙台藩主、伊達政宗	4/1-5/14駒形神社蔵黒漆五枚制具足、5/16-5/28菅野家政宗具足	8/3-20 重要文化財 黒漆五枚制具足 伊達政宗所用	複製政宗具足	12/19-27 重要文化財 黒漆五枚制具足	
	3 城	10 仙台城のすかた	遺品に見る仙台城	生誕450年記念－伊達政宗と城	絢爛豪華！仙台城の障壁画	
		11 藩主と夫人たち	絵が得意な藩主・伊達吉村	伊達家と茶の湯	伊達政宗の文芸	
		12 武家のくらし	武家の服飾	家紋と調度	武家の服飾	
	4 藩	13 仙台藩のようす	街道を歩く(-6/11)	6/13-9/10仙台藩の狩り	生誕450年記念－伊達政宗と家出たち	
		14 仙台藩の家臣たち	宛文事件(-6/11)	6/13-9/24仙台藩の要害		
	5 町	15 城下町仙台	城下の中心地 芭蕉の辻	仙台城下の町並み	政宗と仙台城下	
		16 町のくらし	村のくらし(-6/11)	6/13-9/3夏の行事	谷風特集	
		17 教育と文化	仙台藩の学問と思想家(養賢堂/林子平)	仙台藩の文化人と思想家(乙二・日人他/林子平)	仙台藩の学問と思想家(医学教育/林子平)	
		18 新たな時代へ	土轟佐太夫の生涯	幕末人物伝 但木十佐	仙台藩と軍備拡充	
	6 近代都市へのあゆみ	19 戊辰戦争と明治維新	仙台藩と戊辰戦争19	仙台藩の戊辰戦争前夜	仙台藩と戊辰戦争20	
		20 近代都市仙台	軍都仙台	仙台の産業と経済	伊達政宗と郷土教育 10/17-11/27礎焼と切込焼	
特集展示室	東側ケース	生誕450年－伊達政宗文書特集	6/20-9/3国家「慶長遣欧使節関係資料」	9/5-10/1屏風絵 仙台四人画家特集	10/7-11/27 特別展「伊達政宗－生誕450年記念」	11/30-12/27 東東洋の絵画
	西側ケース	4/1-16 屏風絵 4/18-6/11狩野典籍の絵画	6/13-9/3仙台藩の武器武具			
コレクションI	北側ケース(陶磁器)	ゴトウコレクション(-7/9)	7/11-10/6伊澤家コレクション			11/28-12/27 東北のやきもの
	中央ケース	ゴトウコレクション(-7/9)	7/11-10/6伊澤家コレクション			11/28-12/27 東北のやきもの
	奥室	花巻人形と堤人形(-7/9)	7/11-10/6山形の古人形と堤人形	(閉室)		11/28-12/27 年中行事と東北の古人形
	L	ゴトウコレクション(-7/9)	7/11-10/6伊澤家コレクション			11/28-12/27 東北のやきもの
	S	ゴトウコレクション(-7/9)	7/11-10/6伊澤家コレクション			11/28-12/27 伊達家の茶道具
	浮世絵	幕末・明治の錦絵69	幕末・明治の錦絵70	幕末・明治の錦絵71		
企画展示室		4/21-6/4 企画展「伊達な優品勢ぞろい Part II－この10年の新収蔵品－」				
テーマI	仙台藩の武器武具 前室	仙台藩の武器武具		9/5-25 仙台藩の武器武具		12/5-27 仙台藩の武器武具
	仙台藩の武器武具 奥室		7/1-8/27 東日本大震災復興記念 特別展 空海と高野山の秘宝			
テーマII	慶長遣欧使節 前室	国家「慶長遣欧使節関係資料」など	9/5-10/1 国家「慶長遣欧使節関係資料」など	10/7-11/27 特別展「伊達政宗－生誕450年記念」		11/30-12/27 国家 慶長遣欧使節関係資料」など
	慶長遣欧使節 奥室	(閉室)	(閉室)	(閉室)		(閉室)
コレクションII		4/1-4/16 江戸中期の狩野派 4/21-6/4 企画展「伊達な優品勢ぞろい Part II－この10年の新収蔵品－」		9/5-10/1 仙台ゆかりの画家による仏画特集		12/1-27 阿部次郎コレクション特集
プレイミュージアム		4/21-6/4 「ミニ屏風をつくろう」	7/1-8/27 「書」に挑戦 7/4-8/13 短冊に願いを。		10/7-11/27 「かぶとをデザインしよう」	

常設展示展示資料目録（抄録）

1. 表記のうち重文は重要文化財
2. コレクション名については一部略記した。
3. その他の略記事項については以下の通り。
 仙台市博物館蔵資料=館蔵 伊達家寄贈文化財=伊文
 斎藤報恩会寄贈資料=報恩会、
 仙台市教育委員会=仙台市教委、コレクション=C、
 世紀=C

総合展示室

1 むかしの仙台

仙台のあけぼの

2017.4/1~12/27

1. ベン先形ナイフ形石器 上ノ原山遺跡（下層）
後期旧石器初頭 1点 仙台市教委
2. ナイフ形石器 上ノ原山遺跡（下層）
後期旧石器初頭 2点 仙台市教委
3. 石刃 上ノ原山遺跡（上層）
後期旧石器後半（2.0~1.5万年前） 1点 仙台市教委
4. ナイフ形石器 上ノ原山遺跡（上層）
後期旧石器後半（2.0~1.5万年前） 3点 仙台市教委
5. 彫刻刀形石器 上ノ原山遺跡（上層）
後期旧石器後半（2.0~1.5万年前） 4点 仙台市教委
7. スクレイパー 上ノ原山遺跡（上層）
後期旧石器後半（2.0~1.5万年前） 4点 仙台市教委
8. 両面加工の石器 野川遺跡 縄文草創期 1点 仙台市教委
9. へら形石器 野川遺跡 縄文草創期 2点 仙台市教委
10. 土器の破片 野川遺跡 縄文草創期 一括 仙台市教委

縄文人のくらし

2017.4/1~12/27

1. 縄文土器・深鉢 上野遺跡 縄文中期中葉 2点 仙台市教委
2. 縄文土器・浅鉢 上野遺跡 縄文中期中葉 1点 仙台市教委
3. 縄文土器・注口土器 上野遺跡 縄文中期中葉 1点 仙台市教委
4. 縄文土器・革袋形土器 上野遺跡 縄文中期中葉 1点 仙台市教委
5. 縄文土器 高柳遺跡 縄文中期中葉 6点 仙台市教委
6. 狩りの道具・石槍 三神峯遺跡 縄文前期前葉 1点 仙台市教委
7. 狩りの道具・石匙 六反田遺跡 縄文後期初頭 2点 仙台市教委

8. 狩りの道具・石鎌 大野田遺跡 縄文後期前葉 10点 仙台市教委
9. 漁の道具・鹿角製銚 大野田遺跡 縄文後期前葉 2点 仙台市教委
10. 漁の道具・土製錘 大野田遺跡 縄文後期前葉 4点 仙台市教委
11. 漁の道具・軽石製浮子 大野田遺跡 縄文後期前葉 3点 仙台市教委
12. 打製石斧 大野田遺跡 縄文後期前葉 4点 仙台市教委
13. 磨製石斧 六反田遺跡 縄文後期初頭 1点 仙台市教委
14. 凹石 六反田遺跡 縄文後期初頭 1点 仙台市教委
15. 石皿 六反田遺跡 縄文後期初頭 1点 仙台市教委
16. 土偶 大野田遺跡 縄文後期前葉 13点 仙台市教委
17. 土偶 伊古田遺跡 縄文後期中葉 4点 仙台市教委
18. 蔵王町鍛冶沢遺跡出土土偶 縄文晩期 1点 片倉家資料
19. 人面付き双口土器 蔵王町下別当遺跡 縄文晩期 1点 片倉家資料

No.18は4/1~6/11、No.19は6/13~12/27展示

稲作の始まりと有力者の出現

2017.4/1~12/27

1. 弥生土器・高坏 中在家南遺跡 弥生中期 1点 仙台市教委
2. 弥生土器・甕 中在家南遺跡 弥生中期 1点 仙台市教委
3. 弥生土器・壺 中在家南遺跡 弥生中期 1点 仙台市教委
4. 竪杵 中在家南遺跡 弥生中期 1点 仙台市教委
5. 竪杵末製品 中在家南遺跡 弥生中期 1点 仙台市教委
6. 石包丁 高田B遺跡 弥生 7点 仙台市教委
7. 太形蛤刃石斧 高田B遺跡 弥生 2点 仙台市教委
8. 扁平片刃石斧 高田B遺跡 弥生 2点 仙台市教委
9. 鑿形石斧 高田B遺跡 弥生 2点 仙台市教委
10. ガラス小玉 遠見塚古墳 4C末 3点 仙台市教委
11. 手づくね土器 遠見塚古墳 4C末 5点 仙台市教委
12. 土師器・壺 遠見塚古墳 4C末 1点 仙台市教委
13. 朝顔形埴輪 大野田5号墳 5C後半 1点 仙台市教委
14. 須恵器・有蓋脚付壺 南小泉遺跡（26次） 5C後半 1点 仙台市教委
15. 円筒埴輪 大野田1号墳 6C 1点 仙台市教委

中央政権の進出

2017.4/1~12/27

1. 材木列（外堀）のクリ材 郡山遺跡
7C後半~8C前半 2点 仙台市教委
2. 土師器・環（在地） 郡山遺跡
8C初頭 1点 仙台市教委
3. 土師器・環（畿内産） 郡山遺跡
7C末~8C前半 1点 仙台市教委

4. 土師器・坏(関東系) 郡山遺跡 7C中葉 1点	仙台市教委	30. 刻印文字瓦「伊」 陸奥国分尼寺跡 奈良～平安 1点	仙台市教委
5. 単弁蓮華文軒丸瓦 郡山遺跡 7C後半～8C前半 1点	仙台市教委	31. 刻印文字瓦「物」 陸奥国分尼寺跡 奈良～平安 1点	仙台市教委
6. 重弧文軒平瓦 郡山遺跡 7C後半～8C前半 1点	仙台市教委	32. 七重塔水煙片 陸奥国分寺跡 奈良～平安 1点	東北大学文学部
7. 土師器・坏(関東系) 長町駅東遺跡 7～8C前半 2点	仙台市教委	33. 七重塔九輪 陸奥国分寺跡 奈良～平安 1点	仙台市教委
8. 土師器・坏(在地) 長町駅東遺跡 7～8C前半 2点	仙台市教委	※No.2～4は9/12～12/27展示	
9. 須恵器・長頸瓶 茂ヶ崎横穴墓群1号墓 7C後半～8C前半 1点	仙台市教委	武士の台頭	
10. 須恵器・大甕 茂ヶ崎横穴墓群3号墓 7C後半～8C前半 1点	仙台市教委	2017.4/1～12/27	
11. 須恵器・平瓶 茂ヶ崎横穴墓群20号墓 7C後半～8C前半 1点	仙台市教委	1. 大甕(常滑) 洞ノ口遺跡 中世 1点	仙台市教委
12. 勾玉(ガラス) 茂ヶ崎横穴墓群4号墓 7C後半～8C前半 1点	仙台市教委	2. 小壺(在地) 洞ノ口遺跡 中世 1点	仙台市教委
13. 勾玉(瑪瑙) 茂ヶ崎横穴墓群4号墓 7C後半～8C前半 3点	仙台市教委	3. 片口鉢(在地) 洞ノ口遺跡 中世 1点	仙台市教委
14. ガラス小玉(大) 茂ヶ崎横穴墓群4号墓 7C後半～8C前半 4点	仙台市教委	4. 合子(古瀬戸) 洞ノ口遺跡 中世 1点	仙台市教委
15. ガラス小玉(中) 茂ヶ崎横穴墓群4号墓 7C後半～8C前半 3点	仙台市教委	5. 仏花瓶(古瀬戸) 洞ノ口遺跡 中世 1点	仙台市教委
16. ガラス小玉(小) 茂ヶ崎横穴墓群4号墓 7C後半～8C前半 40点	仙台市教委	6. 天日茶碗(瀬戸美濃) 洞ノ口遺跡 中世 1点	仙台市教委
17. 切子玉(水晶) 茂ヶ崎横穴墓群8号墓 7C後半～8C前半 2点	仙台市教委	7. 青磁・碗(中国) 洞ノ口遺跡 中世 2点	仙台市教委
18. 管玉(碧玉) 茂ヶ崎横穴墓群25号墓 7C後半～8C前半 3点	仙台市教委	8. 青磁・皿(中国) 洞ノ口遺跡 中世 2点	仙台市教委
19. 切子玉(琥珀) 茂ヶ崎横穴墓群25号墓 7C後半～8C前半 1点	仙台市教委	9. 青白磁・合子(中国) 洞ノ口遺跡 中世 1点	仙台市教委
20. 丸玉(蛇紋岩) 茂ヶ崎横穴墓群25号墓 7C後半～8C前半 1点	仙台市教委	10. 青白磁・梅瓶(中国) 洞ノ口遺跡 中世 2点	仙台市教委
21. 白玉 茂ヶ崎横穴墓群25号墓 7C後半～8C前半 4点	仙台市教委	11. 白磁・四耳壺(中国) 洞ノ口遺跡 中世 1点	仙台市教委
22. 陸奥国分寺創建瓦(重弁蓮華文軒丸瓦) 陸奥国分寺跡 奈良 1点	仙台市教委	12. 白磁・壺(中国) 洞ノ口遺跡 中世 1点	仙台市教委
23. 陸奥国分寺創建瓦(偏行唐草文軒平瓦) 陸奥国分寺跡 奈良 1点	仙台市教委	13. 土師質土器・皿 洞ノ口遺跡 中世 11点	仙台市教委
24. 陸奥国分寺修復瓦(宝相華文軒丸瓦) 陸奥国分寺跡 平安 1点	仙台市教委	14. 土師質土器・小皿 洞ノ口遺跡 中世 15点	仙台市教委
25. 陸奥国分寺修復瓦(連珠文軒平瓦) 陸奥国分寺跡 平安 1点	仙台市教委	15. 短刀(拵付) 洞ノ口遺跡 中世 1点	仙台市教委
26. 棟平瓦 与兵衛沼窯跡 平安 1点	仙台市教委	16. 短刀 洞ノ口遺跡 中世 1点	仙台市教委
27. 獸面文鬼瓦 与兵衛沼窯跡 平安 1点	仙台市教委	17. 鎌 洞ノ口遺跡 中世 1点	仙台市教委
28. 刻印文字瓦「丸」 陸奥国分尼寺跡 奈良～平安 1点	仙台市教委	18. 馬具(轡) 洞ノ口遺跡 中世 2点	仙台市教委
29. 刻印文字瓦「占」 陸奥国分尼寺跡 奈良～平安 1点	仙台市教委	19. 板碑 洞ノ口遺跡 延慶3年 1点	仙台市教委
		20. 板碑 洞ノ口遺跡 応長2年 1点	仙台市教委
		21. 板碑 洞ノ口遺跡 中世 1点	仙台市教委
		22. 呪符木簡 洞ノ口遺跡 中世 1点	仙台市教委
		23. 地藏菩薩木像 洞ノ口遺跡 中世 1点	仙台市教委
		24. 木製五輪塔 洞ノ口遺跡 中世 1点	仙台市教委
		25. 洪武通寶 洞ノ口遺跡 中世 2点	仙台市教委
		26. 永樂通寶 洞ノ口遺跡 中世 7点	仙台市教委
		27. 銭種不明 洞ノ口遺跡 中世 1点	仙台市教委
		28. 鬼瓦 東光寺遺跡 中世 2点	仙台市教委
		神仏への祈り	
		『陸奥国分寺の仏像』	
		2017.4/1～6/18	
		1. 木造不動明王立像 鎌倉 1軀	陸奥国分寺
		2. 木造十二神将立像 子神 鎌倉 1軀	陸奥国分寺
		3. 木造十二神将立像 卯神 鎌倉 1軀	陸奥国分寺
		4. 木造十二神将立像 酉神 鎌倉 1軀	陸奥国分寺

5. 木造十二神將立像 戌神 鎌倉 1 軀 陸奥国分寺

「陸奥国分寺の仏像」 6/20~9/10

- 1. 木造毘沙門天立像 鎌倉 1 軀 陸奥国分寺
- 2. 木造十二神將立像 辰神 鎌倉 1 軀 陸奥国分寺
- 3. 木造十二神將立像 未神 鎌倉 1 軀 陸奥国分寺

「中尊寺の美術 信仰の中の金工資料」 9/12~10/1

- 1. 国宝 金光明最勝王經金字宝塔曼荼羅図 第八幀
平安 1 幀 中尊寺大長寿院
- 2. 黒漆塗厨子 江戸前期 1 基 中尊寺大長寿院
- 3. 国宝 紺紙金銀字一切経 仏説雜藏経
平安 1 卷 中尊寺大長寿院
- 4. 国宝 紺紙金字一切経 大般若経 卷第一七・二四二
平安 2 卷 中尊寺大長寿院
- 5. 国宝 漆塗経筒 平安 1 口 中尊寺大長寿院
- 6. 国宝 礼盤 経藏堂内具のうち 平安 1 基
中尊寺大長寿院

「信仰の中の金工資料」 10/3~12/27

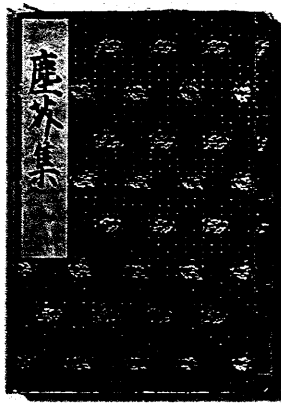
- 1. 重要文化財 銅鏡 羽黒山御手洗池出上 平安~鎌倉
10面 出羽三山神社
- 2. 重要文化財 銅鏡 鎌倉 3面 熊野那智神社

2 伊達政宗、仙台へ

伊達氏の登場

「奥羽の戦国大名」 2017.4/1~6/11

- 1. 塵芥集(村田本) 天文5年4月14日 1冊 伊文



1. 塵芥集(村田本)

- 2. 塵芥集(伊達吉村旧蔵本) 天文5年4月14日 1冊
小林宏氏寄贈
- 3. 大崎義直朱印状 柳日伊勢守宛 天文9年6月20日 1幅
館蔵
- 4. 伊達晴宗知行宛行状 国分源三(常信)宛 天文12年7月
3日 1通 国分家資料

5. 留守景宗判物 遠藤弥左衛門尉宛 天文14年12月16日
1幅 佐藤勝五郎氏寄贈

6. 足利義輝御内書 伊達左京大夫(晴宗)宛 (永禄2年頃)
9月24日 1通 伊文

7. 最上義守黒印状 牧野弾正忠(久仲)宛 (年未詳)
5月15日 1通 伊文

8. 蘆名止々斎(盛氏)書状 米沢(伊達輝宗)宛
(天正4年)9月13日 1通 伊文

10. 伊達政宗甲冑像(複製)(原本は狩野探幽)
(原本は江戸初期) 1幅 館蔵

※No.1は4/1~5/28展示、No.2は5/30~6/11展示

「伊達氏と寺社・信仰」 6/13~9/10

- 1. 塵芥集(伊達吉村旧蔵本) 天文5年4月14日 1冊
小林宏氏寄贈
- 2. 伊達植宗陣大免除状案 竹駒別当坊宛 天文6年7月24日
1通 伊文
- 3. 高野山観音院過去帳 貞享3年11月25日写 1巻 伊文
- 4. 伊達政宗書状写 観音院宛 (文禄3年)2月27日 1通
(1巻のうち) 伊文
- 5. 陸奥守様仮過去帳 1冊 伊文

「奥羽の戦国大名」 9/12~12/27

- 1. 仙道人取橋合戦之図 明治22年写 1幅 報恩会
- 2. 伊達政宗書状 桑治(桑折治部大輔宗長)宛 (天正16年)
3月20日 1幅 館蔵
- 3. 伊達政宗書状 石川殿(昭光)宛 (天正16年)5月23日
1幅 館蔵
- 4. 伊達政宗書状 三坂左馬助宛 (天正16年)7月27日 1幅
角懸家資料
- 5. 会津摺上原合戦之図 明治22年写 1幅 報恩会

仙台藩主、伊達政宗

2017.4/1~5/14

- 1. 黒漆五枚胴具足 伝伊達政宗所用 桃山 駒形神社蔵

5/16~28

- 1. 黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用 菅野重成拝領
桃山~江戸初期 伊文

8/3~2018.12/19~27

- 1. 重要文化財 黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用 桃山 伊文

5/30~8/2, 8/22~12/17

- 1. 黒漆五枚胴具足(複製) 伊達政宗所用 館蔵



1. 黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用 菅野重成拝領

3 城

仙台城のすがた

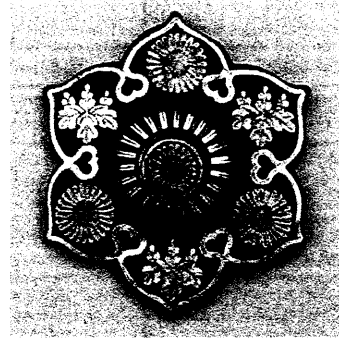
「遺品に見る仙台城」 2017. 4/1~6/18

1. 奥州仙台城絵図(複製) 原本は正保2年 1幅
館蔵(原本は報恩会)
2. 金箔軒平瓦 仙台城本丸跡出土 江戸前期 1点
仙台市教委
3. 金箔軒丸瓦 仙台城本丸跡出土 江戸前期 1点
仙台市教委
4. 菊唐草文飾金具 仙台城本丸跡出土 江戸初期 1点
仙台市教委
5. 菊花菱文飾金具 仙台城本丸跡出土 江戸初期 1点
仙台市教委
6. 青磁陰刻牡丹紋皿 仙台城本丸跡出土 江戸初期 1点
仙台市教委
7. 青花金彩鳳凰合子片 仙台城本丸跡出土 明末~清初
5点 仙台市教委
8. 祥瑞蔓草紋変形皿片 仙台城本丸跡出土 明末 8点
仙台市教委
9. 伊達政宗画像(複製) 原本は狩野安信筆 江戸前期
1幅 伊文
10. 金梨子地葵紋桐紋糸巻太刀拵 江戸初期 1振
伊達貞宗氏寄贈
11. 煙管 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 2本 伊達貞宗氏寄贈
12. 懐中鏡 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1面 伊達貞宗氏寄贈
13. 文鎮 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1口 伊達貞宗氏寄贈
14. 慶長一分金 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 3枚
伊達貞宗氏寄贈
15. えんぴつ(複元品) 江戸初期 2点 館蔵
16. 金製ブローチ 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1点
伊達貞宗氏寄贈

「伊達政宗と城」 6. 20~9/10

1. 伊達政宗画像(複製) 原本は狩野安信筆 江戸前期
1幅 館蔵

2. 伊達政宗画像 狩野安信筆 江戸前期 1幅 伊文
3. 荒町毘沙門堂縁起 江戸中期 1点 伊文
4. 仙台領古館記 大槻平常治筆 寛保3年 1冊 報恩会
5. 漆器椀(北日城跡出土) 江戸前期 1点 仙台市教委
6. 漆器椀(北日城跡出土) 江戸前期 1点 仙台市教委
7. 脇指(北日城跡出土) 江戸前期 1件 仙台市教委
8. 菊桐紋釘隠 江戸初期 1口 杉村豊太郎氏寄贈



8. 菊桐紋釘隠

9. 金箔軒丸瓦 仙台城本丸跡出土 江戸前期 1点
仙台市教委
10. 青花金彩鳳凰合子片 仙台城本丸跡出土 明末~清初
5点 仙台市教委
11. 花菱文軒平瓦(滴水瓦) 若林城跡出土 17C前半 1点
仙台市教委
12. 重要美術品 菊花図屏風 伊達政宗書 寛永5年
2曲1隻 伊文
13. 金梨子地葵紋桐紋糸巻太刀拵 江戸初期 1振
伊達貞宗氏寄贈
14. 煙管 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 2本 伊達貞宗氏寄贈
15. 懐中鏡 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1面 伊達貞宗氏寄贈
16. 文鎮 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1口 伊達貞宗氏寄贈
17. 慶長一分金 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 3枚
伊達貞宗氏寄贈
18. えんぴつ(複元品) 江戸初期 2点 館蔵
19. 金製ブローチ 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1点
伊達貞宗氏寄贈

※No. 1は6/10~8/30、No. 2は8/31~9/10展示

「絢爛豪華! 仙台城の障壁画」 9/12~12/27

1. 伊達政宗画 狩野安信筆 江戸前期 1幅 館蔵
2. 伊達政宗画(複製) 原本は狩野安信筆 江戸前期 1幅
館蔵
3. 扇面図屏風 慶長15年 6曲1双のうち1隻 伊文
4. 扇面図屏風 慶長15年 6曲1双のうち1隻 伊文
5. 竹図屏風 慶長15年 2曲1隻 伊文
6. 檜図屏風 慶長15年 2曲1隻 藤縄達大氏寄贈
7. 金梨子地葵紋桐紋糸巻太刀拵 江戸初期 1振
伊達貞宗氏寄贈
8. 煙管 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 2本 伊達貞宗氏寄贈

9. 懐中鏡 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1面 伊達貞宗氏寄贈
 10. 文鎮 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1冊 伊達貞宗氏寄贈
 11. 慶長一分金 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 3枚
 伊達貞宗氏寄贈
 12. えんびつ(複元品) 江戸初期 2点 館蔵
 13. 金製ブローチ 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1点
 伊達貞宗氏寄贈

※No. 1、No. 7~13は9/12~9/24展示、No. 2は11/28~
 12/27展示、No. 4は9/26~11/27展示、No. 6は9/26~
 12/27展示

藩主と夫人たち

「絵が得意な藩主・伊達吉村」 2017.4/1~6/18

1. 伊達吉村画像 伊達吉村筆 江戸中期(18C) 1幅 伊文



1. 伊達吉村画像

2. 石山寺の紫式部図 伊達吉村 江戸中期(18C) 1幅
 伊澤家C
 3. 長齢石硯記 伊達吉村筆 享保4年11月 1巻 館蔵
 4. 源氏八景御手鑑 伊達吉村筆 江戸中期(18C) 1帖 伊文

「伊達家と茶の湯」 6/20~9/12

1. 伊達政宗書状 伊達政宗筆 桑山左近(貞晴)宛
 (年未詳、江戸)12月23日 1幅(1通) 館蔵
 2. 茶会記 伊達綱村筆(17C) 1幅(1点) 伊文
 3. 宗久・宗易道具書立(写本) [原本]今井宗久(昨夢齋)・
 千宗易(抛筆齋) [原本](天正6年頃)5月21日~22日
 1点 伊文
 4. 茶杓箆筒 伊達吉村作 江戸中期 1基 伊文
 5. 茶杓銘 筒書「松しま竹 隣松軒」伊達吉村作
 江戸中期 1口 伊文

「伊達政宗の文芸」 9/12~12/27

1. 扇面和歌 伝伊達政宗筆 江戸前期 1幅 館蔵
 2. 夢想連歌懐紙 伊達政宗筆 江戸前期 1幅 伊文
 3. 伊達政宗書状 名村金右衛門宛 年未詳4月26日 1幅
 阿部次郎C

4. 伊達政宗和歌草稿 伊達政宗筆 江戸前期 1冊 伊文
 5. 古歌並詞書 伊達政宗筆 江戸前期 1巻 伊文
 6. 柳生宗矩書状 伊達政宗宛 (寛永4年)12月22日 1通
 伊文

武家のくらし

「武家の服飾」 2017.4/1~6/18

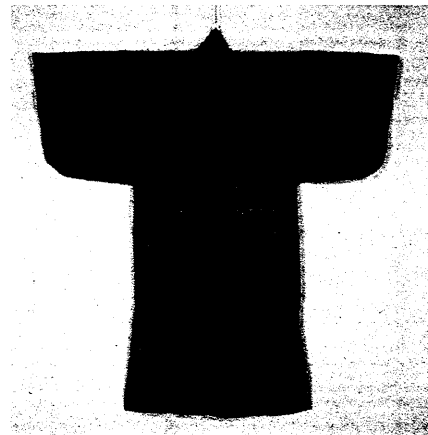
1. 茶絹地牡丹紋熨斗目 江戸後期 1領
 館蔵(ナンシー・チエコ・大山氏寄贈)
 2. 濃萌葱麻地三引両紋宝尽文様袴 江戸後期 1組 館蔵
 3. 絹地段替流水に紅葉・燕子花模様小袖 江戸前期 1領
 個人蔵
 4. 簪 江戸 4点 伊文
 5. 縹絹地竹に雀紋熨斗目 江戸後期 1領 伊文
 6. 浅葱麻地竹に雀紋霞小紋袴 江戸後期 1組 伊文
 7. 白麻地松竹梅車に唐団扇文様帷子 江戸 1領 個人蔵
 ※No. 1~3は4/1~5/7展示、No. 5~7は5/9~6/18展示

「家紋と調度」 6/20~9/10

1. 金梨地牡丹紋蒔絵旗箱 江戸中期 1合 伊文
 2. 竹に雀・御敷に三文字紋蒔絵指樽 江戸中期 1基 館蔵
 3. 雪薄紋蕙文蒔絵広蓋 江戸中期 1面 館蔵
 4. 若松竹橘文懸盤碗類 安政4年 1式 館蔵

「武家の服飾」 9/12~12/27

1. 白絹縮地雪薄紋単衣 伊達政宗所用 江戸時代初期
 1領 館蔵(菅野家資料)



1. 白絹縮地雪薄紋単衣

2. 白麻地流水紅葉文様帷子 江戸時代 1領 個人蔵
 3. 緋精好長袴 江戸時代後期 1腰 館蔵
 4. 納戸緞子地雲文袴 伊達政宗所用 江戸時代初期 1腰
 館蔵(菅野家資料)
 5. 表袴 伝伊達政宗所用 江戸時代前期 1腰 伊文
 6. 大口袴 伝伊達政宗所用 江戸時代前期 1腰 伊文

7. 木綿縫取織陣羽織 江戸時代初期 1領
館蔵（片倉家資料）
8. 藍小紋染和歌刺繡袱紗 伝 三沢初子所用 江戸時代前期
1枚 伊文
9. 白縮緬地袷楓葉摺染掛袱紗 徳川古宗染 利根姫拝領
元文3年 1枚 伊文



7. 木綿縫取織陣羽織

10. 浅葱麻地小紋長袴 片倉家伝来 江戸時代後期 1組
個人蔵
11. 茶絨織竹に雀紋鬘斗目 江戸時代後期1領
館蔵（遠藤養一氏寄贈）
12. 重要文化財 白綸子地雪輪に春草文様帯 三沢初子所用
江戸時代前期 1筋 伊文
13. 重要文化財 段風通地寿字木賊等文様帯 三沢初子所用
江戸時代前期 1筋 伊文
14. 重要文化財 縞モール地花鳥文様帯 三沢初子所用
江戸時代前期 1筋 伊文
15. 重要文化財 浅葱綸子地梅に額文様帯 三沢初子所用
江戸時代前期 1筋 伊文

※No.1～3は9/12～10/22展示、No.4は10/24～12/3展示、
No.5は10/24～11/12展示、No.6は11/14～12/3展示、
No.7は10/24～12/3展示、No.8は10/24～11/12展示、
No.9は11/14～12/3展示、No.10～11は12/5～12/27展示、
No.12～13は12/5～12/17展示、No.14～15は12/19～12/27
展示

4 藩

仙台藩のようす

「街道を歩く」2017.4/1～6/11

1. 天保六年伊達斉邦江戸登城行列図 明治31年 1巻
石原謙太郎C
2. 樂山公行列図巻 武藤弘毅筆 近代 11巻のうち4巻目
伊文
3. 伊達吉村・伊達綱村贈答和歌
伊達吉村筆、伊達綱村書き込み 江戸中期 1通 伊文

4. 青根山之記 伊達吉村筆 江戸中期 1巻 伊文
5. 青根之記 原本伊達重村筆、米谷貫年写
原本明和9年筆、文政5年写 1冊 報恩会

「仙台藩の狩り」6/13～9/10

1. 伊達政宗書状 只野作十郎宛（年未詳）14日 1通 伊文
2. 伊達政宗鷹場等覚書 伊達忠宗宛（寛永2年）5月
1巻 伊文
3. 伊達政宗書状 伊達忠宗宛（年未詳）1月27日 折紙
日黒卓英氏寄贈
4. 鷲鳥図 作者不詳 江戸中後期 1幅 伊文
5. 鷹菜種能毒并阿蘭陀菜能書 江戸 1冊 日黒卓英氏寄贈
6. 架鷹図 作者不詳 江戸 1幅 伊文

「生誕450年記念—伊達政宗と家臣たち」9/12～12/27

1. 白地白足図旗 伝鈴木元信所用 桃山 1旗 鈴木家資料



1. 白地白足図旗

2. 鉄錆地五枚胴具足 伝鈴木元信所用 桃山 1領
鈴木家資料
3. 鈴木和泉所用具足等式部伝来覚 年未詳7月28日 1通
鈴木家資料
4. 伊達政宗書状写（慶長20年）5月8日 1通
鈴木家資料
5. 伊達政宗書状 山岡志摩重長・鈴木和泉重信宛
（慶長6年）8月21日 1幅 鈴木家資料

仙台藩の家臣たち

「寛文事件」2017.4/1～6/11

1. 仙台藩重臣連署状案 立花飛騨守（忠茂）・伊達兵部（宗勝）
万治3年7月9日 伊文
2. 仙台藩重臣連署血判起請文 古内主膳（重安）他七名
（万治3年）7月16日 伊文
3. 仙台藩一門連署起請文 伊達安芸（宗重）他三名
（万治3年）7月29日 1通 伊文
4. 伊達兵部・田村石京連署血判起請文 立花飛騨守（忠茂）
万治3年11月21日 1通 伊文
5. 孔雀・鳳凰図 伊達綱宗筆 江戸前期 1幅 伊文

6. 伊達綱宗書状 亀千代宛 (寛文9年) 4月26日 1通 伊文
7. 伊達亀千代書「村雨」 伊達亀千代 寛文4年 1幅 伊文

「仙台藩の要害」 6/13~9/24

1. 角田要害図 江戸前期 1鋪 伊文
2. 境日記上・下 享保12年頃カ 2冊 伊文
3. 石川宗弘先祖知行拝領覚書 佐藤空宛 貞享4年4月12日 1冊 伊文
4. 伊達政宗書状 幸宇姫宛 (元和8年) 4月22日 1幅 館蔵
5. 御分領中御知行高人数等書上 水野八郎左衛門記 江戸中期 1冊 報恩会

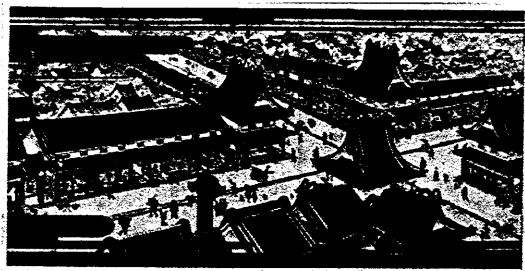
「生誕450年記念—伊達政宗と家臣たち」 9/26~12/27

1. 清水道閑書状 鈴木元信宛 年未詳7月22日 1幅 鈴木家資料
2. 他国之書状之停帳 寛永2年 1冊 石母山見氏寄贈
3. 仙台藩奉行評定人連署起請文案および名元 (寛永13年) 2通 伊文
4. 水沢城絵図 (江戸前期) 1鋪 伊文
5. 伊達政宗書状 (百理重宗宛) (天正19年) 1幅 個人蔵
6. 一字状 定宗宛 (慶長初年カ) 1通 個人蔵
7. 伊達政宗書状 百理兵庫頭(重宗)宛 (天正16年) 閏5月23日 1幅 個人蔵

5 町

城下町仙台

- 「城下の中心地 芭蕉の辻」 2017.4/1~6/18
1. 芭蕉の辻櫓状建物の設計図 文政10年 1鋪 館蔵
2. 二十四輩巡拜図会后篇卷之四より芭蕉の辻 了貞著 竹原春泉齋画 文化6年刊 1冊 個人蔵
3. 錦絵芭蕉の辻 (複製) 作者不詳 原資料:江戸後期 4枚 館蔵
4. 仙台鹿の子 (写本) 江戸 1冊5尚文館C
5. 芭蕉の辻へ掲げられた檄文写 慶応4年9月 1通 個人蔵
6. 明治元年現状仙台城市之図 明治 1面 館蔵
7. 芭蕉の辻図 (複製) 熊耳耕年画 近代 1面 三原良吉C



7. 芭蕉の辻図 (複製)

8. 「仙台及塩釜松島名所図絵」より芭蕉ノ辻・電信郵便局 林基春画 明治29年発行 1点 三原良吉C
9. 仙台名勝案内 菊田定郷編集 明治32年 1冊 菊田定郷C
10. 芭蕉の辻が描かれた年賀状 大江富弥 昭和3年正月 1通 三原良吉C
11. 芭蕉の辻の建物の瓦 近代 2点 館蔵

「仙台城下の町並み」 6/20~9/10

1. 仙台城下図屏風 占成東温筆 慶応元年 6曲1隻 三原良吉C
2. 仙台領奥州街道絵図 荒川如慶筆カ 江戸中期 1巻 館蔵
3. 錦絵芭蕉の辻 (複製) 作者不詳 原資料:江戸後期 1面 三原良吉C
4. 諸国道中金の草鞋 仙台 十返舎一九編 文化10年~天保5年 1冊 館蔵
5. 仙台惣屋敷定 古内志摩・柴田中務 御屋敷奉行中宛 寛文12年3月26日 1巻 菊山定郷C
6. 片倉家仙台屋敷御家作之絵図 江戸末期 1鋪 片倉家資料
7. 只野作左衛門仙台屋敷之図 宝暦~明和年間 1鋪 個人蔵

「政宗と仙台城下」 9/12~12/27

1. 伊達政宗黒印状 小田原天神別当宛 (慶長6年) 9月7日 1通 伊文
2. 『政宗君記録引証記』二十一より「掟」 江戸 1冊 報恩会
3. 『伊達氏史料』より仙台藩奉行申渡状写 作並清亮編 明治34年編纂 1冊 伊文
4. 伊達政宗書状 山岡重長宛 (元和6年) 1幅 個人蔵
5. 大町三四五丁目検断青山氏由緒覚書 青山五左衛門筆 元禄16年11月 1通 米川家資料
6. 『寺社領御寄附御牒二』より誓願寺 延宝8年 1冊 尚文館コレクション
7. 田町紙寺壳願書写 田町之者共 岸帯刀・大波対馬宛 寛永18年8月26日 1綴 伊文
8. 肴商売御用捨由來書 江戸中期以降 1通 米川家史料
9. 仙台城下絵図 寛政元年頃 1鋪 片倉家資料

町のくらし

「村のくらし」 2017.4/1~6/11

1. 獅山公治家記録 享保4年2月条 1冊 伊文
2. 百姓条目 享保4年2月 1通 伊文
3. 米作り絵馬 (複製) 原資料:菅井田竜筆 原資料:明治20年頃作 1面 館蔵 (原本:岩沼市愛宕神社蔵)
4. 名取郡北方四郎丸村絵図 絵図仕立師名取郡北方柳生村奈蔵・小塚原権内・増田町幸蔵 (文政年間) 12月10日 1鋪 館蔵
5. 新板頭書松島往来 伊勢屋半右衛門板 文化13年新刻 1冊 三原良吉C

6. 農家手習状 西村明観著 国分町伊勢屋半右衛門板
(文政5年・1822) 発行 1冊 尚文館C

7. 松島図誌 桜田鼓笛子述 東沢画
仙台伊勢屋半右衛門他刊 文政4年7月刊 1冊
三原良吉C

8. 往来手形 奥州仙台宮城郡国分愛子村肝入検断 多蔵
文政4年2月 1通 館蔵(上愛子村森田家家中庄司家文書)

『夏の行事』 6/13~9/3

1. 濱田氏年中行事 文久2年 1冊 個人蔵
2. 参詣記 佐助筆 江戸後期 1冊 報恩会
3. やくたい草 伊達慶邦著 明治6年 1冊 伊文
4. ヒ夕飾り 大正 7点 伊文
5. ヒ夕の絵葉書「仙台 香町ヒ夕祭ノ光景」 大正 1点 館蔵

6. ヒ夕の絵葉書「仙台名物 五彩の短冊美しき。ヒ夕祭りの豪華版 東一番町」 昭和11年8月6日撮影 1点 館蔵

7. ヒ夕の絵葉書「復興ヒ夕に輝く仙台祭り豪華版」 昭和20年代 1点 館蔵

8. 「仙台年中行事絵巻」より藩主狼煙御覧・水練御覧の図 江戸後期 1巻 三原良吉C

9. 楽山公治家記録 卷五 安政2年 1冊 伊文

10. 「奥州仙台名所尽集」より宮城野 江戸後期 1巻 大宮司C

『谷風特集』 9/5~12/27

1. 花巻人形 谷風 江戸後期 1体 館蔵
2. 野見宿禰・谷風・小野川像 江戸後期 1幅 館蔵
3. 谷風小野川立合いの図 勝川春章画 江戸後期 1面 館蔵



3. 谷風小野川立合いの図

4. 六代治家記録 徹山公 安永7年10月5~7日条 1冊 伊文

5. 片倉代々記 村典 寛政3年11月6日条 1冊 片倉家資料

6. 寛政六年白筆日々記 菅野勝三郎筆 寛政6年4月16日条 1冊 菅野家資料

7. 寛政六年十一月江戸相撲番付 寛政6年11月 1枚 三原良吉C

8. 化粧廻し 谷風使用 江戸後期 1点 個人蔵

9. 搔卷 谷風使用 江戸後期 1領 個人蔵

※No. 2、8は9/5~11/19展示、No. 3、9は11/21~12/27 展示

教育と文化

『仙台藩の学問と思想家』 2017.3/8~6/12

仙台藩の藩校 養賢堂

1. 養賢堂全図 江戸後期 1幅 館蔵
2. 論語・孟子 養賢堂蔵版 江戸後期 2冊 尚文館C
3. 書経 養賢堂蔵版 江戸後期 1冊 安倍謙一氏寄贈
4. 論語 天保15年手写 1冊 阿部次郎C
5. 水滴 江戸後期 3点 館蔵
6. 大概平泉肖像 東東菜原画・高橋松亭模写 近代 1幅 佐藤暉雄氏寄贈

林子平の人生と思想

7. 林子平肖像 佐々城朴庵筆 嘉永7年 1冊 尚文館C

8. 漢上加留多 18C 6枚 藤塚家資料

9. 阿蘭陀加留多 18C 2枚 藤塚家資料

10. 世界之図 林子平筆写 安永4年 1冊 中村徳重郎C

11. 三国通覧図説 林子平著 天明6年版 1冊 猪苗代弼氏寄贈

12. 三国通覧図説(仏語訳) クラブプロット訳 1832年刊 1冊 館蔵

13. 海国兵談 林子平著 寛政3年版 3冊 館蔵

14. 林子平辞世拓本 江戸後期 1幅 中村徳重郎C

『仙台藩の文化人と思想家』 6/20~9/10

仙台藩ゆかりの文化人

1. 時雨の句 松窓乙二筆・溶々画 江戸後期 1幅 杉村豊太郎氏寄贈

2. 松窓句集 松窓乙二著 文政6年 1冊 尚文館C

3. 釣奇一覽 千柳亭序 安政3年 1冊 阿部次郎C

4. 十夜説教図 遠藤曰人筆 江戸後期 1幅 天江富弼氏寄贈

5. 蛙相撲図 遠藤曰人筆 天保4年 1幅 館蔵

6. 仙台領高名競 角力見立 一騎作 仙台昔話会復刻 文政12年発行・昭和15年復刻 1枚 三原良吉C

林子平の人生と交友

7. 藤塚家家譜 藤塚式部筆 安永4年 1冊 藤塚家資料

8. 蘭人制作支那図 林子平筆写 安永7年 1枚 中村徳重郎C

9. 阿蘭陀船図説(複製) 天明2年版・明治26年印刷複製 1枚 館蔵

10. 三国通覧図説 林子平著 天明6年版 1冊 猪苗代弼氏寄贈

11. 海国兵談 林子平著 天明7年写 1冊 館蔵

12. アイヌの煙草入れ(胴乱・腰籠) 江戸中期(18C) 1点 藤塚家資料

13. 林子平謹慎自守ノ図 1幅 館蔵

『仙台藩の学問と思想家』 9/12~12/27

仙台藩の医学教育

1. 六物新志 大槻玄沢著 天明8年 1冊 館蔵
 2. 瘍医新書 大槻玄沢訳・杉田玄白起業 文政8年刊 1冊 館蔵
 3. 解体新書 杉田玄白ら訳 安永3年 1冊 館蔵
 4. アメリカ横文字和解 小野寺玄適訳 嘉永7年 1冊 伊文
 5. 存真図腋 佐々木中沢著・畠山仙江画 文政5年 1帖 山形敵一氏寄贈
 6. 芝蘭堂新元会図(印刷) 原資料は市川岳山筆 近代(原資料・寛政6年) 1幅 鶴飼新一氏寄贈
- 林子平の人生と思想
7. 林子平肖像 牧尾秀筆 近代 1幅 愛宕中学校寄贈
 8. 坪碑 林子平著・程赤城跋 安永7年頃 1冊 中村徳重郎C
 9. 仙台下絵図 林子平筆(江戸中期~後期) 1鋪 中村徳重郎C
 10. 三國通覧図説 林子平著 天明6年版 1冊 猪苗代弼氏寄贈
 11. 海国兵談 林子平著 寛政3年版 1冊 館蔵
 12. 報賽歌 林子平筆 寛政3年 1幅 藤塚家資料
 13. 林子平辞世拓本(江戸後期) 1幅 中村徳重郎C

新たな時代へ

『玉蟲左太夫の生涯』 2017.4/1~6/18

1. 玉蟲左太夫肖像 庄子勇筆 大正 1面 玉蟲誼氏寄贈
2. 玉蟲左太夫書状 兄宛 弘化3年12月28日 1通 玉蟲誼氏寄贈
3. 入北記 巻九 玉蟲左太夫筆 安政4年 2冊 玉蟲誼氏寄贈
4. 航米日録 巻一 玉蟲左太夫著 万延元年 1冊 玉蟲誼氏寄贈
5. 英単語集 玉蟲左太夫筆 江戸末期 1冊 玉蟲誼氏寄贈
6. 玉蟲左太夫意見書(伊達慶邦宛)(元治元年)9月27日 1通 伊文
7. 玉蟲左太夫書状 作左衛門宛(明治元年)10月14日 1通 玉蟲誼氏寄贈
8. 玉蟲左太夫書状 孝七・源吾宛(明治元年)10月18日 1通 玉蟲誼氏寄贈
9. 堀利熙書「不欺君不売法不害民」 堀利熙筆 安政4年 1幅 大久保C
10. 玉蟲左太夫書「違々人世ト安危」 玉蟲左太夫筆 江戸後期 1幅 大久保C

『幕末人物伝 但木土佐』 6/20~9/10

1. 但木成行君履歴書写 明治 1冊 報恩会
2. 但木土佐書状写(文久2年)7月18日 1冊 伊文
3. 御国日記 慶応4年 1冊 伊文
4. 会津藩謝罪数願書写 慶応4年閏4月 1冊 個人蔵

5. 但木土佐等五人東京へ可差出達書(明治元年)10月 1通 伊文
6. 局中連中書状 馬場昇・伊藤文左衛門宛(明治元年)11月5日 1通 大久保C
7. 『明治戊辰江戸獄囚人書』より但木土佐書状 今泉理左衛門宛(明治元年)11月5日 1通 大久保C

『仙台藩と軍備拡充』 9/12~12/27

1. 伊達慶邦西洋銃術稽古申渡書控(安政3年7月) 1通 伊文
 2. 車輪船全図 安政2年 2枚 伊文
 3. 開成丸進水図写 熊耳耕年写 原図:小野寺鳳谷画 近代 1幅 菊田定郷C
 4. 騎兵体歩兵体散兵大訓練之図 月岡芳年画 慶応3年 3枚続 大宮司C
 5. 日程記 大章信太夫筆 慶応3年 1冊 個人蔵
 6. ヴァン・リード送金確認書(慶応4年)4月29日 1通 個人蔵
 7. 慶応四年分兵器御入料等請払調 明治3年 1冊 個人蔵
- 6 近代都市へのあゆみ

戊辰戦争と明治維新

『仙台藩と戊辰戦争(奥羽越列藩同盟)』 2017.4/1~6/18

1. 伊達慶邦肖像 印藤貞楯筆 明治13年 1面 伊文
2. 伊達慶邦書状案 上杉齊憲宛(慶応4年)2月15日 1通 伊文
3. 松平喜徳書状 伊達慶邦宛(慶応4年)1月29日 1通 伊文
4. 奥羽列藩同盟盟約写 慶応4年 1通 濱田家資料
5. 伊達慶邦布告控 慶応4年5月 1通 伊文
6. 慶応四年陸奥出羽国郡行程図 慶応4年刊 1鋪 館蔵
7. プロシア国領事あて文書写 慶応4年5月 1冊 個人蔵
8. 近習目付御用日誌 慶応4年5月6日条 1冊 伊文

『仙台藩の戊辰戦争前夜』 6/20~9/10

1. 伊達慶邦画像 明治 1幅 伊文
2. 孝明天皇内勅書写(伊達慶邦宛)(文久2年)12月 1通 伊文
3. 松崎顕敏他四名連署上書 安田竹之輔・今泉孫四郎・真田喜平太・大立目徳衛・松崎仲太夫(伊達慶邦宛) 文久3年3月24日 1通 伊文
4. 石清水八幡宮行列之図巻 武藤弘毅筆 明治31年7月 1巻 片倉家資料
5. 伊達慶邦書状控 大内縫殿(義房)(文久3年?) 8月8日 1通 伊文
6. 江戸幕府老中口上書写(伊達慶邦宛)(元治元年4月) 1通 伊文

7. 伊達慶邦意見書控（老中宛）（元治元年？）10月 1通 伊文
8. 伊達慶邦書「明心」 江戸末期～明治初期 1幅 伊文

10. 日光館のチラシ 昭和3年 1枚 館蔵
11. 東北産業博覧会絵葉書 昭和3年 6枚 館蔵
12. 照明器具 昭和期 1点 東北工業技術試験所寄贈

「仙台藩と戊辰戦争 戊辰戦争直前」 9/12～12/27

1. 参考『聖徳記念絵画館壁面集 坤』より『大政奉還』（印刷） 郵田丹陵画 昭和11年 1枚 館蔵
2. 徳川慶喜下問書 伊達慶邦宛（慶応3年）10月 1通 伊文
3. 伊達慶邦藩政改革党書 慶応2～3年頃 1冊 伊文
4. 坂英力書状（慶応3年）12月16日 1通 伊文
5. 松平喜徳書状 伊達慶邦宛（慶応3年）12月22日 1通 伊文
6. 大樹十五世 十四代將軍家茂公・十五代將軍家喜公 月岡芳年画 明治8年 大判1枚 大宮司C
7. 本しらへ城州伏見大火の図 慶応4年正月 1枚 個人蔵

「伊達政宗と郷土教育」 9/12～10/15、11/28～12/27

1. 習字手本 師範学校編 明治7年 1冊 荒町小学校寄贈
2. 啓蒙手習の文 福沢諭吉編 明治初期 1冊 荒町小学校寄贈
3. 東八番丁尋常小学校の集合写真 大正4年 1点 館蔵
4. 東北之少年 第五号 明治26年 1冊 安久津家資料
5. 東北之少年 第一〇号 明治26年 1冊 安久津家資料
6. 高等小学読本 卷之八 明治29年 1冊 郷右近家資料
7. 仙台 第七号 明治32年 1冊 尚文館C
8. 伊達行朝勤王事歴 大槻文彦著 明治33年 1冊 三原良吉C
9. 改訂 我が郷土 東六番丁尋常小学校編 昭和4年 1冊 菅原蘭吉家資料
10. 仙台郷土廻り 片平丁尋常小学校編 昭和初期 1冊 菅原蘭吉家資料
11. 厨子入伊達政宗坐像 明治 1軀 個人蔵
12. 伊達政宗騎馬像通過奉迎文 槻木小学校 昭和10年 1枚 石森家資料

近代都市仙台

「軍都仙台」 2017.4/1～6/18

1. 仙台第二師団全部之図 楊森延一筆 明治25年 1点 館蔵
2. 陸軍御用達・大平商店の団扇 明治40年頃 1点 館蔵
3. 長町停車場写真 明治27年 1点 館蔵
4. 釈迦堂・歩兵第四連隊図 玉虫龍之進画・彫刻 明治30年 1点 館蔵
5. 陸軍教導学校卒業アルバム 昭和15年 1冊 館蔵
6. 第二師団凱旋之図 菅野覚太郎 明治29年 1点 館蔵
7. 満州守備軍帰還凱旋式の写真 昭和8年 1点 館蔵
8. 第二師団凱旋歌 河北新報社選 昭和8年 1枚 板橋家資料

「堤焼と切込焼」 10/17～11/27

1. 小瓶 堤焼 19C 1口 館蔵
2. 片口 堤焼 19C 1口 館蔵
3. 染付牡丹唐草文らっきょう徳利 切込焼 19C 1口 伊澤家C

ミニ特集・松川家特集

9. 松川敏胤写真 昭和3年頃 1点 松川家資料
10. スケッチ 松川敏胤 明治13年 1枚 松川家資料
11. 在外日記 松川敏胤 明治27～28年 1冊 松川家資料
12. 朝鮮日記 松川敏胤 大正6年 1冊 松川家資料
13. 松川敏胤書状 板橋次郎宛 大正7年 1紙 板橋家資料
14. 児玉源太郎書「流水潺々樹色斐」 児玉源太郎 明治 1幅 松川家資料
15. 勲一等旭日桐花大綬賞 昭和3年 1点 松川家資料

「伊達政宗と郷土教育」

4. 東北之少年 第五号 明治26年 1冊 安久津家資料
5. 東北之少年 第一〇号 明治26年 1冊 安久津家資料
6. 高等小学読本 卷之八 明治29年 1冊 郷右近家資料
7. 仙台 第七号 明治32年 1冊 尚文館C
8. 伊達行朝勤王事歴 大槻文彦著 明治33年 1冊 三原良吉C
9. 改訂 我が郷土 東六番丁尋常小学校編 昭和4年 1冊 菅原蘭吉家資料
10. 仙台郷土廻り 片平丁尋常小学校編 昭和初期 1冊 菅原蘭吉家資料
11. 厨子入伊達政宗坐像 明治 1軀 個人蔵
12. 伊達政宗騎馬像通過奉迎文 槻木小学校 昭和10年 1枚 石森家資料

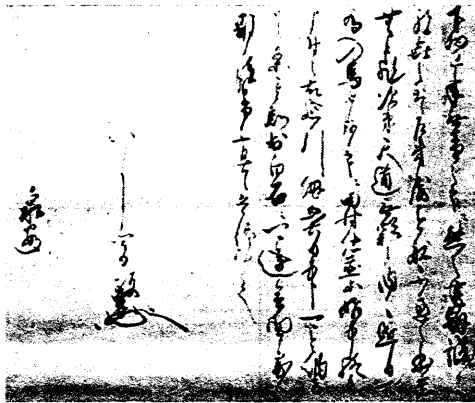
「仙台の産業と経済」 6/20～9/10

1. 士族興産組合同規約 明治 1冊 安久津家資料
2. 宮城紡績会社定款 明治 1冊 安久津家資料
3. 流木図 無門六十 大正8年 1点 館蔵
4. 駄賃表 仙台新炭株式会社 明治37年 1冊 館蔵
5. 切込焼絵葉書 大正～昭和 8枚 三原良吉C
6. 仙台市商工業連合広告 大正 1枚 三原良吉C
7. 仙台市写真帖 大正14年 1冊 館蔵
8. せんだい 宮城県商品陳列所 2冊 尚文館C
9. 東北産業博覧会全図 昭和3年 1枚 館蔵

特集展示室

『生涯450年記念 伊達政宗文書特集』 2017. 4. 1~6/18

1. 元安（日理元安斎元宗）宛書状（天正12年）8月13日
1幅 館蔵
2. 石母田左衛門大輔（景頼）宛書状（天正16年）2月22日
1幅 館蔵
3. 郡山太郎右衛門尉（頼祐）宛書状（天正16年）6月26日
1幅 館蔵
4. 泉安（泉川安芸守重光）宛書状（天正16年）8月4日
1幅 館蔵



4. 伊達政宗書状 泉田重光宛

5. 白川殿（義親）宛書状（天正18年）正月24日 1幅
高橋克己氏寄贈
6. 富沢日向守（貞速）宛書状（天正18年）7月7日 1幅
館蔵
7. 猪苗代殿（盛国）宛書状（天正18年）7月21日 1幅
館蔵
8. 浅弾（浅野弾正少弼長吉）宛書状（天正19年）6月26日
1幅 館蔵
9. 片小（片倉小十郎景綱）宛書状（文禄2年4月~9月）
1幅 館蔵
10. 金雲州（金森出雲守重頼）宛書状（寛永3年）8月16日
1幅 伊文
11. 伊房州（伊達安房守成実）宛書状（年未詳）11月3日
1幅 片倉家資料
12. 大内右馬允宛知行宛行朱印状 天正14年8月29日 1通
伊文
13. 黒沢新介（景重）宛知行宛行黒印状 天正14年9月5日
1通 報恩会
14. 某宛朱印覚書（天正19年カ）7月20日 1通 伊文
15. 瀬成田源三郎等四名宛黒印状 寛永8年6月20日 1通
鷹匠佐藤家資料

国宝 慶長遣欧使節関係資料

6/20~9/3

1. 支倉家家譜 支倉右仲筆 安永2年 1帖 支倉哲男氏寄贈

2. 仙台藩奉行知行割目録 支倉六右衛門宛
慶長13年10月22日 1面 支倉家資料
3. 伊達政宗書状 茂庭石見宛 慶長17~18年頃 1幅 館蔵
4. 支倉常長像（1972年高田力蔵氏模写）原図は1615年頃
1面 館蔵
5. セビリア市宛伊達政宗書状（和文）（複製）
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
6. 『伊達政宗遣欧使節記』（イタリア語版）アマーティ著
1615年刊 1冊 館蔵
7. 『伊達政宗遣欧使節記』（ドイツ語版）アマーティ著
1617年刊 1冊 館蔵
8. 支倉常長画像（銅版画）サデルル作 1616~17年頃 1枚
館蔵
9. 支倉常長画像（銅版画） 1616~17年頃 1枚 館蔵
10. ローマ教皇宛伊達政宗書状（ラテン文）（複製）
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
11. ローマ教皇宛伊達政宗書状（和文）（複製）
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
12. 支倉常長書状（複製）勘三郎宛 原本は元和4年 1幅
館蔵
13. 国宝 短剣 17C 2口 館蔵
14. 国宝 ロザリオの聖母像 17C 1面 館蔵
15. 国宝 十字架像 17C 1口 館蔵
16. 国宝 十字架及びメダイ 17C 2点1具 館蔵
17. 国宝 ロザリオ 17C 5連 館蔵
18. 国宝 メダイ残欠 17C 6片 館蔵
19. 洗礼者聖ヨハネ像メダイ（参考資料） 19C 1面 館蔵
20. 国宝 ディスチプリナ 17C 1口 館蔵
21. 国宝 レリカリオ 17C 1口 館蔵
22. 国宝 テカ及び袋 17C 2点1具 館蔵
23. 国宝 印章 17C 2顆 館蔵
24. ユネスコ記憶遺産・国宝 ローマ市公民権証書（複製）
支倉六右衛門宛 原本は1615年11月20日 1面 館蔵
25. ユネスコ記憶遺産・国宝 ローマ教皇パウロ五世像
1615年頃 1面 館蔵
26. ユネスコ記憶遺産・国宝 支倉常長像 1615年頃 1面 館蔵

仙台藩の武器武具

6/13~9/3

1. 鉄錆地五枚胴具足 4代伊達綱村所用 江戸前期 1領 館蔵
2. 黒漆五枚胴具足 12代伊達齊邦所用 江戸後期 1領 伊文
3. 火縄銃「東雲」 銃筒木田定幸作 江戸 1挺 伊文
4. 茶猪毛鞆 江戸後期 1合 伊文
5. 亀甲蟹牡丹紋鞍轡 江戸中期 1組 伊文
6. 赤羅紗地梅鉢紋陣羽織 江戸後期 1領 菅野家資料
7. 赤羅紗地北斗七星模様陣羽織 江戸後期 1領
佐藤正人氏寄贈

※No. 6 は6/13~7/17展示、No. 7 は7/19~9/3展示

絵画

「屏風絵」 2017.4.1~4/16

- 1. 桜に錦鶏図屏風 桃山 2曲1隻 館蔵
- 2. 源氏物語図屏風 江戸時代前期 6曲1双 館蔵

「狩野典信の絵画」 4/18~6/11

- 1. 鍾馗図 狩野典信筆 江戸中期 1幅 伊文
- 2. 唐獅子図屏風 狩野典信筆 江戸中期 2曲1隻 伊文
- 3. 花見・紅葉狩図屏風 狩野典信筆 江戸中期 8曲1双 伊文

「屏風絵 仙台四大画家特集」 9/5~10/1

- 1. 花鳥押絵貼屏風 東東洋筆 江戸後期 6曲1双 伊澤家C
- 2. 孔雀図屏風 小池曲江筆 享和3年 6曲1双 館蔵
- 3. 露香晴翠図屏風 菅井梅蘭筆 天保14年 2曲1隻 伊澤家C
- 4. 樓閣山水図屏風 菊田伊洲筆 江戸後期 6曲1双 館蔵

「東東洋の絵画」 11/30~12/27

- 1. 竹に太湖石図屏風 東東洋筆 文化元年頃 2曲1隻 伊澤家C
- 2. 文化三年御屏風本帳附渡帳 久雪筆 文化3年 1帖 館蔵
- 3. 松に山鳥図襖 東東洋筆 文化6年 4面 早野胞吉氏寄贈



3. 松に山鳥図

- 4. 河図図 東東洋筆 文化14年 1幅 館蔵
- 5. 人舜命契図 東東洋筆 文化14年頃 1幅 伊文
- 6. 赤壁図屏風 東東洋筆 文政3年 6曲1双 個人蔵

テーマ展示室 I

2017.4.1~6/11

- 1. 黒漆五枚胴具足 1代伊達忠宗所用 江戸前期 1領 伊文
- 2. 黒漆鳩胸五枚胴具足 6代伊達宗村所用 江戸前期 1領 伊文
- 3. 白糸威腹巻 8代伊達齊綱村所用 江戸中期 1領 館蔵
- 4. 刀 銘白龍子永繁 文久元年 1口 館蔵
- 5. 刀 銘高山卯平永光 昭和19年 1口 伊澤家C
- 6. 脇指 銘高山卯平永光 昭和19年 1口 伊澤家C
- 7. 金梨地竹雀九曜紋刀掛 江戸初期 1架 伊文
- 8. 花鳥蒔絵鞍轡 室町後期 1組 伊文
- 9. 火繩銃 銘江州国友丹波大掾宗 江戸前期 1口 伊澤家C
- 10. 仙人図象嵌火繩銃 江戸後期 1口 館蔵

- 11. 緋羅紗地波濤模様火事装束 江戸後期 1組 ナンシー・チェコ・大山氏寄贈

- 12. 水玉模様陣羽織 江戸中期 1領 伊文
- ※No.11は4/1~4/23、5/16~6/11展示、No.12は4/25~5/14展示

9/5~9/25

- 1. 朱鍍漆紫糸素懸威六枚胴具足 三宝荒神形兜付 伝上杉謙信所用 室町末期 1領 伊文



1. 三宝荒神形兜

- 2. 金小札五枚胴具足 5代伊達吉村所用 江戸中期 1領 伊文
- 3. 黒漆五枚胴具足 伊達茂村所用 江戸末期 1領 伊文
- 4. 北斗七星文軍配団扇 江戸後期 1握 伊文
- 5. 朱采配 江戸中期 1握 伊文
- 6. 口の丸文軍扇 延享元年 1握 伊文
- 7. 四十八間総覆輪筋兜 室町中期 1頭 伊文
- 8. 唐团扇蒔絵打刀拵・唐团扇象嵌鍔 鍔刻銘「仙台住清定」 江戸後期 1振 古江C
- 9. ゆがけ 江戸 3対 伊文
- 10. 白猪毛鞆 江戸後期 1合 伊文
- 11. 孔雀蒔絵鞍轡 江戸中期 1組 伊文
- 13. 仙人図象嵌火繩銃 江戸後期 1口 館蔵
- 14. 黒羅紗地九曜紋火事装束 江戸中期 1組 大山勝義氏寄贈

12/5~12/27

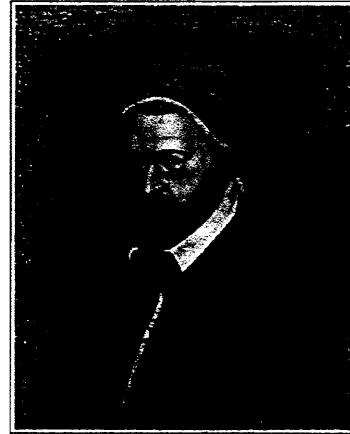
- 1. 黒漆五枚胴具足 3代伊達綱宗所用 江戸前期 1領 伊文
- 2. 黒漆五枚胴具足 11代伊達齊義所用 江戸後期 1領 伊文
- 3. 紺糸威胴丸具足 13代伊達慶邦所用 元治2年 1領 伊文
- 4. 重文 太刀 銘義光 建武4年 1口 亀岡八幡宮蔵
- 5. 太刀 銘宝寿 南北朝 1口 志村修氏寄贈
- 6. 脇差 東照宮奉納 金梨地拵共 江戸前期 1口 伊文
- 7. 金梨子地菊桐紋蒔絵刀掛 江戸中期 1架 伊文
- 8. 慶邦公鑑図式
- 9. 金梨子地竹に雀紋蒔絵馬柄杓 江戸中期 1本 伊文
- 10. 青貝竹に雀紋蒔絵馬柄杓 江戸後期 1本 伊文
- 11. 茶猪毛鞆 江戸後期 1合 伊文

- 12. 朱漆雪薄紋鞍鏡 江戸初期 1組 伊文
- 13. 火繩銃「東雲」銃筒木田定幸作 江戸 1挺 伊文
- 14. 黄羅紗地竹に雀紋火事装束 江戸末期 1組 館蔵

テーマ展示室II

慶長遣欧使節 2017.4/1~6/18

- 1. 支倉常長像 (1972年高田力蔵氏模写) 原図は1615年頃
1面 館蔵
- 2. 支倉家家譜書出 支倉右仲筆 安永2年 1帖
支倉折男氏寄贈
- 3. 仙台藩奉行知行割目録 支倉六右衛門宛 慶長13年 1面
支倉家資料
- 4. 伊達政宗書状 (茂庭石見宛) 慶長17~18年頃 1幅 館蔵
- 5. 坤輿万国全図 名取春仲筆 江戸後期 6冊1隻 館蔵
- 6. ガレオン船模型 1971年 1基 館蔵
- 7. セビリア市宛伊達政宗書状 (和文) (複製)
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
- 8. ローマ市街図 16C未刊 1面 館蔵
- 9. 『伊達政宗遣欧使節記』(イタリア語版) アマーティ著
1615年刊 1冊 館蔵
- 10. 『伊達政宗遣欧使節記』(ドイツ語版) アマーティ著
1617年刊 1冊 館蔵
- 11. 支倉常長画像(銅版画) サデレル作 1616~17年頃 1枚
館蔵
- 12. 支倉常長画像(銅版画) 1616~17年頃 1枚 館蔵
- 13. ローマ教皇宛伊達政宗書状 (ラテン文) (複製)
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
- 14. ローマ教皇宛伊達政宗書状 (和文) (複製)
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
- 15. 支倉常長書状 (複製) 勘三郎宛 原本は元和4年 1幅
館蔵
- 16. 国宝 ロザリオの聖母像 17C 1面 館蔵
- 17. 国宝 短剣 17C 2口 館蔵
- 18. 国宝 祭服 17C 1領 館蔵
- 19. 国宝 十字架像 17C 1口 館蔵
- 20. 国宝 十字架及びメダイ 17C 2点1具 館蔵
- 21. 国宝 ロザリオ 17C 5連 館蔵
- 22. 国宝 メダイ残欠 17C 6片 館蔵
- 23. 洗礼者聖ヨハネ像メダイ (参考資料) 19C 1面 館蔵
- 24. 国宝 ディスチプリナ 17C 1口 館蔵
- 25. 国宝 レリカリオ 17C 1口 館蔵
- 26. 国宝 テカ及び袋 17C 2点1具 館蔵
- 27. 国宝 印章 17C 2顆 館蔵
- 28. ユネスコ記憶遺産・国宝 ローマ市公民権証書 (複製)
支倉六右衛門宛 原本は1615年11月20日 1面 館蔵
- 29. ユネスコ記憶遺産・国宝 ローマ教皇パウロ五世像
1615年頃 1面 館蔵



29. ユネスコ記憶遺産・国宝 ローマ教皇パウロ五世像

- 30. ユネスコ記憶遺産・国宝 支倉常長像 1615年頃 1面 館蔵
- 31. 国宝 鞍 17C 2背 館蔵
- 32. 国宝 鏡 17C 1双・1隻 館蔵
- 33. 国宝 マント及びズボン 17C 2点1具 館蔵
- 34. 国宝 壁掛 17C 1枚 館蔵
- 35. 国宝 縞模様布 17C 1枚 館蔵
- ※No.18は4/1-5/14展示、No.35は5/16-6/18展示
- 9/5~10/1、11/30~12/27
- 1. 支倉常長像 (1972年高田力蔵氏模写) 原図は1615年頃
1面 館蔵
- 2. セビリア市宛伊達政宗書状(和文) (複製)
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
- 3. 悲しみのマリア像 17C初期頃 1面 館蔵
- 4. ローマ市街図 16C未刊 1面 館蔵
- 5. 『伊達政宗遣欧使節記』(イタリア語版) アマーティ著
1615年刊 1冊 館蔵
- 6. 『伊達政宗遣欧使節記』(ドイツ語版) アマーティ著
1617年刊 1冊 館蔵
- 7. 支倉常長画像 (銅版画) サデレル作 1616~17年頃 1枚 館蔵
- 8. 支倉常長画像 (銅版画) 1616~17年頃 1枚 館蔵
- 9. ローマ教皇宛伊達政宗書状 (ラテン文) (複製)
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
- 10. ローマ教皇宛伊達政宗書状 (和文) (複製)
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
- 11. 支倉常長書状 (複製) 勘三郎宛 原本は元和4年 1幅 館蔵
- 12. 国宝 短剣 17C 2口 館蔵
- 13. 国宝 ロザリオの聖母像 17C 1面 館蔵
- 14. 国宝 十字架像 17C 1口 館蔵
- 15. 国宝 十字架及びメダイ 17C 1具 館蔵
- 16. 国宝 ロザリオ 17C 5連 館蔵
- 17. 国宝 メダイ残欠 17C 6片 館蔵
- 18. 洗礼者聖ヨハネ像メダイ (参考資料) 19C 1面 館蔵

19. ユネスコ記憶遺産・国宝 支倉常長像 1615年頃 1面 館蔵
20. ユネスコ記憶遺産・国宝 ローマ教皇パウロ五世像 1615年頃 1面 館蔵
21. ユネスコ記憶遺産・国宝 ローマ市公民権証書(複製) 支倉六右衛門宛 原本は1615年11月20日 1面 館蔵

コレクション展示室 I

やきもの、茶道具

「ゴトウコレクション」 2017.4/1~7/9

1. 和時計 二丁てんぷ 幕末~明治 1基 ゴトウC
2. 一重切竹花入 伊達吉村作 江戸中期 1口 ゴトウC
3. 平茶碗 銘「清風」李氏朝鮮(16~17C) 1口 ゴトウC
4. 白磁印花飛鳥牡丹文鉢 定窯 北宋~金(12C) 1口 ゴトウC
5. 白磁四耳壺 邢州窯 唐(8C) 1口 ゴトウC



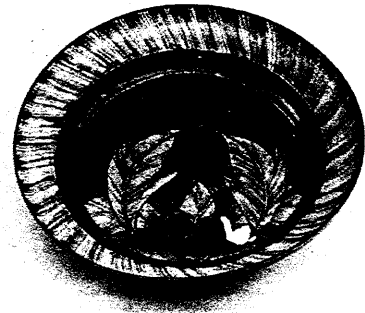
5. 白磁四耳壺

6. 鉄絵菊花文福寿文字入壺 磁州窯系 13C頃 1口 ゴトウC
7. 経机 大年寺遺品 裏面朱漆書「奉獻御経机」「正徳丙申三月念日/西大條出雲藤原義棟」 付属経覆布墨書「経覆/尚足常住置/享保己亥六月/貳拾五片之内」 正徳6年 1基 ゴトウC
8. 梅に鳥図盤胎皿 李氏朝鮮か 18C頃 1枚 ゴトウC
9. 朝顔文筒型漆器 桃山 1合 ゴトウC
10. 楼閣山水図螺鈿盆 明(16~17C) 1枚 ゴトウC
11. 牡丹文大鼓胴 江戸中期 1点 ゴトウC
12. 和漢朗詠集 松花堂昭乗筆 江戸初期 1額 ゴトウC
13. 新六歌仙押絵額 江戸中期 6面のうち2面 ゴトウC
14. 葵紋左義長羽子板 江戸後期 1本 ゴトウC
15. 茶碗 銘「弦月」伊羅保 李氏朝鮮(16~17C) 1口 ゴトウC
16. 梅染付茶碗 波佐見焼 江戸中期 1口 ゴトウC
17. 染付鳳凰文徳利 切込焼 幕末~明治 1口 ゴトウC
18. 梅文徳利 切込焼(推定) 幕末~明治 1口 ゴトウC

19. 染付蕪文皿 切込焼(推定) 幕末~明治 1口 ゴトウC
20. 甕 堤焼 幕末~明治 1口 館蔵
21. 甕 堤焼 幕末~明治 1口 館蔵
22. 甕 堤焼 幕末~明治 1口 館蔵
23. 甕 堤焼 幕末~明治 1口 館蔵
24. 壺 堤焼 幕末~明治 1口 館蔵
25. 壺 堤焼 幕末~明治 1口 館蔵
26. 壺 堤焼 幕末~明治 1口 館蔵

「伊澤家コレクション」 7/11~10/6

1. 染付牡丹蜻唐草らっきょう徳利 切込 19C 1口 伊澤家C
2. 色絵牡丹文皿 古九谷 17C中頃 1枚 伊澤家C



2. 色絵牡丹文皿

3. 青磁文字入皿 肥前 17C後半 1枚 伊澤家C
4. 色絵花鳥文鉢 中国 漳州窯カ 17C前半(明末清初) 1口 伊澤家C
5. 染付楼閣山水文徳利 切込 19C前半~中頃 1口 伊澤家C
6. 茶壺 瀬戸 16C 1口 伊澤家C
7. 耳付壺(水指) 備前 17~18C 1口 伊澤家C
8. 唐銅製水盤(朝顔台および波頭台付)(銅製) 19C(幕末~明治) 1口、台2 伊澤家C
9. 割高台茶碗 李氏朝鮮 17~18C 1口 伊澤家C
10. 御本茶碗 李氏朝鮮 17C後半~18C 1口 伊澤家C
11. 染付累層文茶碗 安南(ベトナム) 17~18C 1口 伊澤家C
12. 鉄絵長皿(三代乾山、猪ハカ) 18Cカ 5点 伊澤家C
13. 禾目天目茶碗 中国・南宋時代 13C 1口 伊澤家C
14. 染付へちま文徳利 切込 19C 1口 伊澤家C
15. 色絵桐鳳凰文鉢 九谷「大日本永楽造」 19C(幕末~明治) 1口 伊澤家C
16. 染付宝珠文徳利 切込 19C 1口 伊澤家C
17. 竹製硯箱 江戸後期~明治 1合 伊澤家C
18. 梨地橋蒔絵懸盤 江戸後期~明治 3基 伊澤家C
19. 朱龍文盆 明(17C)カ 1枚 伊澤家C
20. 葵紋唐草蒔絵火鉢 幕末~明治 1基 伊澤家C
21. 甕 堤焼 幕末~明治 1口 館蔵
22. 甕 堤焼 幕末~明治 1口 館蔵

- 23. 甕 堤焼 幕末～明治 111
- 24. 甕 堤焼 幕末～明治 111
- 25. 壺 堤焼 幕末～明治 111
- 26. 壺 堤焼 幕末～明治 111
- 27. 壺 堤焼 幕末～明治 111

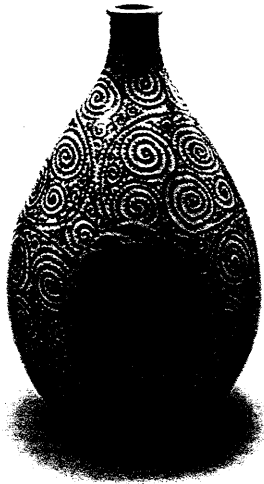
館蔵
館蔵
館蔵
館蔵
館蔵

- 26. 甕 堤焼 19C 1点
- 27. 甕 堤焼 19C 1点
- 28. 壺 堤焼 19C 1点
- 29. 壺 堤焼 19C 1点

館蔵
館蔵
館蔵
館蔵

「東北のやきもの」 11/28-12/27

- 1. 染付牡丹蛸唐草らっきょう徳利 切込焼 19C 111
伊澤家C



1. 染付牡丹蛸唐草らっきょう徳利 切込焼

- 2. 染付歳徳神名鉢 切込焼 19C 1口 近藤博則氏寄贈
- 3. 松に唐子図徳利 切込焼 19C 1口 鈴木孚氏寄贈
- 4. 三彩徳利 切込焼 19C 2口 鈴木孚氏寄贈
- 5. 徳利 上野日焼 19C 1口 石川C
- 6. 菊文扇形皿 上野日焼 19C 1枚 館蔵
- 7. 扇形皿 上野日焼 19C 1枚 館蔵
- 8. 三鳥手鉢 堤焼「乾馬」他 19C 1口 個人蔵
- 9. 筒描鉢 恵戸焼 19C 1口 館蔵
- 10. 鉄絵竹文醬油差し 恵戸焼 19C 1口 横山C
- 11. 瓢形徳利 栢岡焼 19C 1口 古賀C
- 12. 火入 大宝寺焼 19C 1口 横山C
- 13. 飯茶碗 小久慈焼 19C 1口 横山C
- 14. 飯茶碗 小久慈焼 19C 1口 横山C
- 15. 白釉切立 白岩焼 19C 1口 横山C
- 16. 徳利 成島焼 19C 1口 石川C
- 17. 黒釉徳利 鍛冶町焼 19C 1口 石川C
- 18. 油壺 鍛冶町焼 19C 1口 横山C
- 19. 油壺 会津本郷焼 19C 1口 横山C
- 20. 飴釉鯨鉢 会津本郷焼 19C 1口 館蔵
- 21. 山水文土瓶 大堀相馬焼 19C 1合 館蔵
- 22. 鉄絵走馬文徳利 大堀相馬焼 19C 1口 石川C
- 23. 甕 堤焼 19C 1点 館蔵
- 24. 甕 堤焼 19C 1点 館蔵
- 25. 甕 堤焼 19C 1点 館蔵

「伊達家の茶道具」 11/28～12/27

- 1. 竹一重切花入 伊達古村作 江戸後期 111 ゴトウC
- 2. 迫焼茶人 銘「多留満」 江戸後期 111
- 3. 割木瓜形水指 備前焼 銘「パン（大日如来）応永三年七月日施主承慶人道」 応永3年（1396）カ 111 館蔵

古人形

「花巻人形と堤人形」 2017.4/1～7/9

- 1. 堤人形 熊と金太郎 江戸後期 1点 足立孔C
- 2. 堤人形 佐佐木高綱 江戸後期 1点 足立孔C
- 3. 堤人形 三味線弾き 江戸後期 1点 足立孔C
- 4. 堤人形 熊と金太郎 江戸後期 1点 本出保治郎C
- 5. 堤人形 猫 江戸後期 1点 本出保治郎C
- 6. 堤人形 犬ひき花魁 江戸後期 1点 本出保治郎C
- 7. 堤人形 針箱 江戸後期 1点 本出保治郎C
- 8. 堤人形 猫抱き花魁 江戸後期 1点 本出保治郎C
- 9. 堤人形 花車 江戸後期 1点 本出保治郎C
- 10. 堤人形 鯉つかみ 江戸後期 1点 本出保治郎C
- 11. 花巻人形 菜摘み 江戸後期 1点 本出保治郎C
- 12. 花巻人形 佐佐木高綱 江戸後期 1点 本出保治郎C
- 13. 花巻人形 花車 江戸後期 1点 本出保治郎C
- 14. 花巻人形 鯛車 江戸後期 1点 本出保治郎C
- 15. 花巻人形 衝立美人 江戸後期 1点 本出保治郎C
- 16. 花巻人形 花魁 江戸後期 1点 本出保治郎C
- 17. 花巻人形 鍛引き 江戸後期 1点 本出保治郎C
- 18. 花巻人形 熊と金太郎 江戸後期 1点 本出保治郎C
- 19. 花巻人形 三味線 江戸後期 1点 本出保治郎C
- 20. 花巻人形 相撲取り 江戸後期 1点 本出保治郎C

「山形の古人形と堤人形」 7/10～10/6

- 1. 堤人形 火焰太鼓 江戸後期 1点 足立孔C
- 2. 堤人形 てまり（坐） 江戸後期 1点 足立孔C
- 3. 堤人形 蛸と子供 江戸後期 1点 館蔵
- 4. 堤人形 瓢乗り 江戸後期 1点 館蔵
- 5. 堤人形 針箱 江戸後期 1点 本出保治郎C
- 6. 堤人形 うちわ 江戸後期 1点 本出保治郎C
- 7. 堤人形 唄稽古 江戸後期 1点 本出保治郎C
- 8. 堤人形 枕持ち 江戸後期 1点 本出保治郎C
- 9. 堤人形 瓢かつぎ 江戸後期 1点 本出保治郎C
- 10. 堤人形 達磨とでんでん太鼓 江戸後期 1点 本出保治郎C
- 11. 堤人形 瓢乗り犬 江戸後期 1点 本出保治郎C
- 12. 堤人形 鯛抱き 江戸後期 1点 本出保治郎C
- 13. 堤人形 猪 江戸後期 1点 本出保治郎C

14. 相良人形 中啓持ち 江戸後期 1点	本出保治郎C	23. 三春人形 牛乗り天神 江戸後期 1点	本出保治郎C
15. 相良人形 亀抱き 江戸後期 1点	本出保治郎C	24. 三春人形 天神 江戸後期 1点	本出保治郎C
16. 相良人形 鯛持ち 江戸後期 1点	本出保治郎C	25. 三春人形 天神 江戸後期 1点	本出保治郎C
17. 相良人形 袴童子 江戸後期 1点	本出保治郎C	26. 三春人形 大黒 江戸後期 1点	本出保治郎C
18. 相良人形 宝珠持ち 江戸後期 1点	本出保治郎C	27. 三春人形 大黒 江戸後期 1点	本出保治郎C
19. 相良人形 袴童子 江戸後期 1点	本出保治郎C	28. 三春人形 恵比寿 江戸後期 1点	本出保治郎C
20. 相良人形 騎馬 江戸後期 1点	本出保治郎C	29. 達磨 江戸後期 1点	本出保治郎C
21. 相良人形 相撲取り 江戸後期 1点	本出保治郎C	30. 花巻人形 天神 江戸後期 1点	足立C
22. 相良人形 鳥抱き 江戸後期 1点	足立孔C	31. 花巻人形 天神 江戸後期 1点	足立C
23. 相良人形 唐人笛 江戸後期 1点	足立孔C	32. 花巻人形 打出の小槌 江戸後期 1点	足立C
24. 相良人形 てまり 江戸後期 1点	足立孔C	33. 花巻人形 大黒 江戸後期 1点	本出保治郎C
25. 相良人形 坐美人 江戸後期 1点	足立孔C	34. 花巻人形 布袋 江戸後期 1点	本出保治郎C
26. 相良人形 犬 江戸後期 1点	足立孔C	35. 花巻人形 獅子舞 江戸後期 1点	本出保治郎C
27. 相良人形 饅頭 江戸後期 1点	足立孔C	36. 花巻人形 弁財天 江戸後期 1点	本出保治郎C
28. 鶴岡人形 了連れ 明治 1点	本出保治郎C		
29. 鶴岡人形 唐人笛 明治 1点	本出保治郎C		
30. 鶴岡人形 見立寒山拾得 明治 1点	本出保治郎C		
31. 鶴岡人形 将棋乗り 明治 1点	本出保治郎C		
32. 鶴岡人形 鯛抱き 明治 1点	本出保治郎C		
33. 鶴岡人形 犬乗り童子 明治 1点	足立孔C		
34. 鶴岡人形 依担ぎ 明治 1点	足立孔C		
35. 鶴岡人形 桶乗り童子 明治 1点	足立孔C		
36. 鶴岡人形 舟遊び 明治 1点	足立孔C		
37. 鶴岡人形 立ち娘 明治 1点	足立孔C		
38. 鶴岡人形 立ち娘 明治 1点	足立孔C		
39. 鶴岡人形 犬 明治 1点	足立孔C		

コレクション展示室Ⅱ

『仙台藩ゆかりの江戸中期の狩野派』 2017.4/1~4/16

1. 岩に白鷺図 狩野常信筆 江戸前期~中期 1幅	伊文
2. 月夜山水図 狩野周信筆 江戸中期 1幅	伊文
3. 鷺鳥図 狩野古信筆 江戸中期 1幅	伊文
4. 鹿図 狩野古信筆 江戸中期 3幅対	伊文
5. 福神図 狩野古信筆 江戸中期 3幅対	伊文
6. 伊達吉村像(束帯像) 狩野古信筆 江戸中期 1幅	伊文
7. 鳳凰図 伊達吉村筆 江戸中期 3幅対	伊文
8. 鷹図 伊達吉村筆 江戸中期 1幅	伊文

『年中行事と東北の古人形』 10/8~12/27

1. 相良人形 天神 江戸後期 1点	足立孔C
2. 相良人形 牛乗り天神 江戸後期 1点	足立孔C
3. 相良人形 恵比寿 鯛釣り 江戸後期 1点	足立孔C
4. 相良人形 大黒 俵かつぎ 江戸後期 1点	足立孔C
5. 相良人形 恵比寿大黒 鯛釣り 江戸後期 1点	足立孔C
6. 相良人形 福祿寿 江戸後期 1点	足立孔C
7. 相良人形 羽子板 江戸後期 1点	足立孔C
8. 相良人形 獅子舞 江戸後期 1点	本出保治郎C
9. 堤人形 福神川越し 江戸後期 1点	足立孔C
10. 堤人形 宝船 江戸後期 1点	館蔵
11. 堤人形 恵比寿 江戸後期 1点	本出保治郎C
12. 堤人形 大黒 江戸後期 1点	本出保治郎C
13. 堤人形 天神 江戸後期 1点	本出保治郎C
14. 堤人形 獅子舞 江戸後期 1点	本出保治郎C
15. 堤人形 お供え餅 江戸後期 1点	本出保治郎C
16. 堤人形 恵比寿大黒 鯛車 江戸後期 1点	本出保治郎C
17. 三春人形 恵比寿 江戸後期 1点	足立孔C
18. 三春人形 起き上がりこぼし 江戸後期 1点	足立孔C
19. 三春人形 起き上がりこぼし 江戸後期 1点	足立孔C
20. 三春人形 起き上がりこぼし 江戸後期 1点	足立孔C
21. 三春人形 起き上がりこぼし 江戸後期 1点	足立孔C
22. 三春人形 起き上がりこぼし 江戸後期 1点	足立孔C



8. 鷹図

9. 孔子像 伊達吉村筆 江戸中期 1幅	大内源太右衛門C
10. 聖徳太子孝養像 伊達吉村筆 江戸中期 1幅	館蔵
11. 日置弾正像 狩野呂運筆 江戸前期~中期 1幅	伊文

「仙台藩主、仙台ゆかりの画家による仏画特集」 9/5~10/1

1. 毘沙門天像 伊達綱宗 江戸時代前期~中期 1幅 伊文
2. 巖上鉢図 伊達綱村 江戸時代中期 1幅 伊文
3. 普賢菩薩像 伊達古村 正徳4年 1幅 ゴトウC
4. 阿弥陀三尊像 伊達古村 元禄9~16年 3幅対 伊澤家C
5. 阿弥陀経 伊達古村 享保17年 1巻 伊澤家C
6. 文明易然大手鑑 松原探梁 江戸時代中期
2帖のうち1帖 伊文
7. 観音・龍・虎図 東東洋 天保10年 3幅対 伊澤家C
8. 達磨図 東東洋 文政12年 1幅 亀田兵治C
9. 達磨図 鱗崎綺斎 江戸時代後期 1幅 館蔵
10. 隻履達磨図 佐久間鉄園 江戸時代後期 1幅 館蔵
11. 羅漢に龍図 小池曲江 天保8年 1幅 館蔵
12. 出山釈迦図 菊田伊洲 江戸時代後期 1幅 館蔵
13. 白衣観音図 佐久間鉄園 江戸時代後期 1幅 館蔵

「阿部次郎コレクション特集」 12/1~28

1. 山水図 佐久間洞巖筆 江戸前期~中期 1幅 阿部次郎C
2. 寒雀争梅図 菊田伊洲筆 江戸後期 1幅 阿部次郎C
3. 高士観瀑図 菊田伊洲筆 江戸後期 1幅 阿部次郎C
4. 蓮図 菊田伊洲筆 江戸後期 1幅 阿部次郎C
5. 懸崖蘭図 菅井梅関筆 江戸後期 1幅 阿部次郎C
6. 山水図 小池曲江筆 江戸後期 1幅 阿部次郎C
7. 松林萬嶽図 広瀬台山筆 江戸後期 1幅 阿部次郎C
8. 山水図 日根対山筆 万延元年 1幅 阿部次郎C
9. 坂田竹之丞姿絵 不詳 江戸中期 1幅 阿部次郎C
10. 花魁図 得身斎筆 享和元年 1幅 阿部次郎C
11. 宮女図 不詳 中国清代カ 1幅 阿部次郎C
12. 花鳥図 不詳 朝鮮中期カ 1幅 阿部次郎C
13. 西洋人物図 不詳 江戸中期~後期 1幅 阿部次郎C
14. 西洋人物図 不詳 江戸後期 1幅 阿部次郎C
15. 仙府年中往来 燕石斎薄墨 江戸後期 1冊 阿部次郎C
16. 平泉往来 燕石斎薄墨 文政13年 1冊 阿部次郎C
17. 西行法師一代記 柳亭種彦作/歌川広重画 安政5年
1冊 阿部次郎C
18. 狂歌六玉川 芍薬亭/福廼屋編 呉北溪画 江戸後期
1冊 阿部次郎C
19. 狂歌鯉鱗集 緑樹園編/光一画 天保6年 1冊
阿部次郎C
20. 釣奇一覽 千柳亭序 安政3年 1冊 阿部次郎C
21. 絵本草錦 北尾辰宣画 明和元年 1冊 阿部次郎C
22. 芥子園画伝 下概等編 発行年不詳 1冊 阿部次郎C
23. 書画舫 南山古梁序 小池曲江ほか画 文化4年 1冊
阿部次郎C
24. 略画早指南(新略画) 葛飾北斎画 文化9~11年 2冊
阿部次郎C

浮世絵

「幕末・明治の錦絵69」 2017.4/1~6/18

1. 源氏雲浮世画合 若菜下 歌川国芳画 弘化期 大判1枚
大宮司C
2. 源氏雲浮世画合 幻 川国芳画 弘化期 大判1枚
大宮司C
3. 山海愛度図会 はやくにげたい 下総葛西海苔
歌川国芳画 嘉永5年 大判1枚 和泉C
4. 狂画水滸伝豪傑一百八人 十番統之内四 歌川国芳画
文政10年頃 大判1枚 大宮司C
5. 伊達模様血気競 野晒五助 歌川国芳画 弘化期
大判1枚 大宮司C
6. 妙でんす十六利勘十四 短気者損者 歌川国芳画 弘化期
大判1枚 阿部次郎C
7. 高尾・絹川谷蔵・頼兼 歌川国芳画 嘉永期 大判3枚続
大宮司C
8. 三浦屋伴友吉・よりかね・高尾・茶道蝶斎 歌川国芳画
嘉永期 大判3枚続 大宮司C
9. 局政岡〔尾上梅半〕・雷鶴之助〔三榊源之助〕・二役仁木弾
正〔尾上菊五郎〕 早替りせり出し大当り 歌川国貞〔豊国
Ⅲ〕画 (天保7年) 大判3枚続 林C
10. 流行逢都絵希代稀物 歌川国芳画 嘉永期 大判3枚続
大宮司C
11. 勧進大相撲上俵入之図 歌川国芳画 嘉永期 大判3枚続
大宮司C
12. 破奇術頼光袴垂為搦 歌川芳艶画・安政5年 大判3枚続
大宮司C
13. 為朝誉十傑 歌川芳艶画 安政5年 大判3枚続 大宮司C
14. 東京名所之内 上野公園地桜盛之景 歌川広重Ⅲ画
明治13年 大判3枚続 大宮司C
15. 東京名所両国橋之景 歌川広重Ⅲ画 明治 大判3枚続
阿部次郎C
16. 東京築地ホテル館 表掛之図 歌川広重Ⅲ画 明治
大判3枚続 大宮司C
17. 横浜海岸鉄道蒸気車図 歌川広重Ⅲ画 明治 大判3枚続
和泉C
18. 洗作事とんだ霊宝 歌川広重Ⅲ画 明治 大判3枚続
館蔵
19. 浮世又平 師匠の追善に 百万遍をする図 歌川広重Ⅲ画
明治 大判3枚続 館蔵
20. 武蔵百景之内 江戸ぼしより日本橋の景 小林清親画
明治 大判1枚 阿部次郎C
21. 日本名勝図会 吉野山 小林清親画 明治30年 大判1枚
阿部次郎C
22. 日本名勝図会 成田山新勝寺 小林清親画 明治30年
大判1枚 阿部次郎C
23. 日本名勝図会 陽明門 小林清親画 明治30年 大判1枚
阿部次郎C

24. 第二回内勸業博覧会内 五角堂 小林清親画 明治14年
横大判1枚 阿部次郎C
25. 東京兩國百本杭眺之図 小林清親画 明治12年
横大判1枚 阿部次郎C

※No. 7 は4/1~5展示、No. 9 は4/6~6/18展示

「幕末・明治の錦絵70」 6/20~9/10

1. 文治三年奥州高館合戦 白衣川白竜昇天 歌川芳艶画
安政4年 大判3枚続 大宮司C
2. 太平記焼山越之図 歌川芳艶画 文久元年 大判3枚続
大宮司C
3. 里見修理之助〔市村羽左衛門〕・ふせ姫八ツ房ノ怪〔尾上梅幸〕・金碗大助〔市川系び蔵〕 歌川国貞画 (天保7年)
大判3枚続 大宮司C
4. 兎雷也・田舎娘お綱 歌川豊国Ⅲ画 嘉永5年
大判2枚続 大宮司C
5. 白縫大尽実ハ若菜姫・花野村の千種実ハ島山秋作
歌川豊国Ⅲ画 嘉永6年 大判2枚続 大宮司C
6. 上杉景勝〔市村羽左衛門〕・八重垣姫〔沢村田之助〕・武田勝頼〔中村芝翫〕 歌川国貞Ⅱ画 文久元年 大判3枚続
大宮司C
7. 木曾街道六十九次之内16 安中 清玄 歌川国芳画
嘉永5年 大判1枚 大宮司C
8. 木曾街道六十九次之内43 妻籠 安倍保名・葛葉狐
歌川国芳画 嘉永5年 大判1枚 大宮司C
9. 月百姿 貞野山夜半月・伊賀局 月岡芳年画 明治19年
大判1枚 阿部次郎C
10. 月百姿 住よしの名月・定家 月岡芳年画 明治20年
大判1枚 大宮司C
11. 月百姿 吼噓 月岡芳年画 明治19年 大判1枚
大宮司C
12. 月百姿 銀河月 月岡芳年画 明治19年 大判1枚
阿部次郎C
13. 月百姿 嫦娥奔月 月岡芳年画 明治18年 大判1枚
阿部次郎C
14. 月百姿 大物海上月 月岡芳年画 明治19年 大判1枚
阿部次郎C
15. 和漢百物語 清姫 月岡芳年画 慶応元年 大判1枚
大宮司C
16. 和漢百物語 貞信公 月岡芳年画 慶応元年 大判1枚
館蔵
17. 頼光四天王大江山鬼神退治之図 月岡芳年画 元治元年
大判3枚続 大宮司C
18. 源氏雲浮世画合 早藏 歌川国芳画 弘化期 大判1枚
大宮司C
19. 小倉擬百人一首56 和泉式部 悪七兵衛景清 歌川国芳画
弘化期 大判1枚 大宮司C
20. 絵兄弟見立武者合 義仲くりから谷 歌川国芳画 天保期
大判1枚 大宮司C



15. 和漢百物語 清姫

21. 絵鏡台見立三十木花撰 秋津嶋 鬼あざみ 歌川国芳画
弘化期 大判1枚 大宮司C
22. 江都錦今様国尽 越中 一休禪師・地獄太夫 越後 兎雷也 歌川国芳画 嘉永5年 大判1枚 大宮司C
23. 絵兄弟道引廿四孝 王亥 歌川国芳画 弘化期 大判1枚
阿部次郎C
24. 初芝・お菊のほうこん・桑山鉄山 歌川国芳画 嘉永期
大判3枚続 大宮司C
25. 尾上多見蔵のおつる／ろくろくびおつる／新田梅次郎・坂東彦三郎の獵師網蔵 歌川国芳画 天保期 大判3枚続
大宮司C
26. 市川升五郎・大谷馬平・市川海老蔵・岩井半四郎
歌川国芳画 天保期 大判3枚続 林C
27. 坂東彦三郎の塩冶判官・中村歌右衛門の師直・市川八百蔵の若狭之助・岩井紫若の顔世御前 歌川国芳画 嘉永期
大判3枚続 大宮司C
28. 於初・法花山袈裟太郎実ハ次郎兵衛盛次・京紺尾徳兵衛
歌川国芳画 嘉永期 大判3枚続 大宮司C
29. 高尾・絹川谷蔵・頼兼 歌川国芳画 嘉永期 大判3枚続
大宮司C

「幕末・明治の錦絵71」 9/12~12/27

1. 九役之内仁木弾正〔市川團十郎〕 歌川国貞Ⅰ画
文化12年 大判1枚 阿部次郎C
2. 九役之内金五郎坊主〔市川團十郎〕 歌川国貞Ⅰ画
文化12年 大判1枚 阿部次郎C
3. 梅のよし兵衛〔坂東三津五郎〕 歌川国貞Ⅰ画 文化12年
大判1枚 阿部次郎C
4. 大当狂言尽 市川團十郎 歌川国貞Ⅰ画 天保期
大判1枚 阿部次郎C
5. 尾上松緑の死絵 歌川国貞Ⅰ画 文化12年 大判1枚
阿部次郎C
6. 熊谷直実〔中村歌右衛門〕 翫雀 歌川豊国Ⅲ画 万延元年
大判1枚 館蔵
7. 平瓦次郎蔵〔中村鶴右衛門〕 秀雀 歌川豊国Ⅲ画
文久3年 大判1枚 館蔵

8. 東駅いろは日記 島田 鷹ノ与吉〔中村芝翫〕
歌川豊国Ⅲ画 不詳 大判1枚 館蔵
9. 東駅いろは日記 藤枝 大星力弥〔沢村田の助〕
歌川豊国Ⅲ画 文久元年 大判1枚 館蔵
10. 飴売千太郎〔家橋〕 歌川豊国Ⅲ画 文久元年 大判1枚
和泉C
11. 豊国漫画三ツ組益 悪七兵衛景清〔五代市川团十郎〕・花川
戸 助六〔六代市川团十郎〕・狐忠信〔当時市川小团次〕
歌川豊国Ⅲ画 文久元年 大判1枚 林C
12. 豊国漫画三ツ組益 勝間源五兵衛〔初代沢村宗十郎〕・小糸
〔二代沢村田の助〕・みゆき後朝がほ〔三代沢村田の助〕
歌川豊国Ⅲ画 文久元年 大判1枚 林C
13. 豊国漫画三ツ組益 菅相承〔三代坂東楽若〕・舎人松玉丸
〔四代坂東龟蔵〕・桜丸〔五代坂東彦三郎〕 歌川豊国Ⅲ画
文久元年 大判1枚 林C
14. (团扇絵) 富士筑波愛合傘 歌川豊国Ⅲ画 天保期 1枚
和泉C
15. 東海道五十三次之内 大津ノ岡 歌川豊国Ⅲ画 不詳
横中判1枚 阿部次郎C
16. 江戸名所百人美女 浅草すはし 歌川豊国Ⅲ画 安政5年
大判1枚 阿部次郎C
17. 今様三十二相 逢た相 歌川豊国Ⅲ画 安政6年
大判1枚 阿部次郎C
18. 豊国揮毫奇術競 賊首兇雷也 歌川豊国Ⅲ画 文久2年
大判1枚 阿部次郎C
19. 豊国揮毫奇術競 白菊丸 歌川豊国Ⅲ画 元治元年
大判1枚 館蔵
20. 東錦昼夜競 地獄太夫 楊洲周延画 明治19年
大判1枚 大宮司C
21. 東錦昼夜競 坂ノ上田村麿 楊洲周延画 明治19年
大判1枚 大宮司C
22. 東風俗福つくし BANMIN kihuku 万民きふく
楊洲周延画 明治22年 大判1枚 阿部次郎C
23. 六歌仙 楊洲周延画 明治13年 大判3枚続 大宮司C
24. 武田信玄〔中村芝翫〕・鬼小嶋弥太郎〔尾上菊五郎〕・上杉
謙信〔市川团十郎〕 楊洲周延画 明治15年 大判3枚続
大宮司C
25. 千代田の大奥 滝見のお茶や 楊洲周延画 明治28年
大判3枚続 大宮司C

国指定文化財の公開

当館は昭和50年から、文化財保護法第48条に基づき文化庁長官による勸告及び承認による国宝・重要文化財の公開館に指定されている。これは、広く全国の人々に文化財を公開し、文化の向上に資するために設けられた制度で、独立行政法人国立博物館をはじめ、全国の各地域ごとに14館が公開館として指定されている。当館は、東北地方における主要館の一つとして位置づけられており、仙台市内のみならず東北地方の国宝・重要文化財が公開の対象となり得る。

本年度の承認による出品が行われた文化財は下記のとおりである。

1. 重要文化財 銅鏡 10面
山形県 月山神社・羽羽神社・湯殿山神社蔵
2. 重要文化財 銅造懸仏及び銅鏡 14面
宮城県 熊野那智神社蔵
3. 重要文化財 太刀(銘備州長船住義光・建武四年十二月) 1口
宮城県 亀岡八幡宮蔵
4. 重要文化財 瑞巖寺本堂障壁画 10面
宮城県 瑞巖寺蔵
5. 重要文化財 観瀾亭障壁画 檜楨図6面のうち
2面 宮城県 松島町蔵

企画展

「伊達な優品勢ぞろいPart II

—この10年の新収蔵品—

会 期 平成29年4月21日(金)～6月4日(日)

前期：4月21日(金)～5月14日(日)

後期：5月16日(火)～6月4日(日)

開催日数 40日

観覧者数 17,313人（1日平均約433人）

観 覧 料 一般・大学生460円、高校生230円、

小・中学生110円

※30名以上の団体各2割引

主 催 仙台市博物館

後 援 河北新報社、毎日新聞仙台支局、朝日新聞仙台総局、読売新聞東北総局、産経新聞社東北総局、日本経済新聞社仙台支局、仙台リビング新聞社、NHK仙台放送局、TBC東北放送、仙台放送、ミヤギテレビ、KHB東日本放送、エフエム仙台、ラジオ3FM76.2

仙台市博物館は昨年開館55周年を迎えた。博物館活動の柱のひとつに資料の収集・保存があり、現在までに収蔵資料は9万点を超えるに至った。その内容は伊達家ゆかりの資料をはじめ、仙台藩や仙台地方に関係するものを中心に、歴史資料から美術品まで様々な分野に及んでいる。

当館では、新館が開館した昭和61年以降に収蔵した資料を紹介する企画展「伊達な優品勢ぞろい」を平成19年(2007)に開催した。今回はその第二弾として、平成19年以降に寄贈や購入によって収蔵した資料を紹介した。本展覧会では、絵画や書状、絵図、甲冑及び陶磁器等バラエティに富んだ優品を展示し、併せて、平成23年の東日本大震災で被災した資料を含む館蔵資料の保存活動について、保存・展示用具を交えて紹介した。

展示構成

序 章 伊達氏4代の文書—種宗から政宗まで

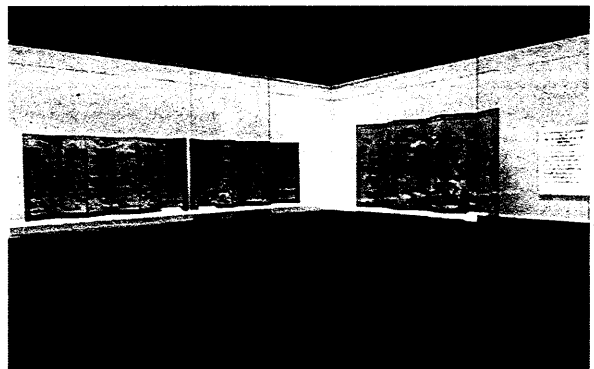
第1章 描かれた世界へようこそ—絵画の優品

第2章 記録された仙台藩—絵図と古文書

第3章 武士のいでたち—武器武具の優品

第4章 手づくりの美—工芸の優品

特 集 資料の保存・展示活動



展示風景

印刷物

ポスター B 3判 1,200部

チラシ A 4判 15,000部

リーフレット A4判(二つ折り) 16,000部



チラシ A 4判

関連行事

(1) 「あなたがえらぶせんだいの名所」

会場出口 会期中開催



「あなたがえらぶせんだいの名所」

(2) しろ・まち講座

「学芸員によるリレートーク」

4月29日(土) 13:30~15:00

博物館ホール 参加125人

講師：学芸企画室 明石治郎

学芸企画室長 樋口智之

主幹 高橋あけみ



しろ・まち講座

(3) ミュージアムセミナー

4月29日(土)

参加26人(教職員20人、ボランティア6人)

(4) 友の会広報セミナー

4月24日(月) 81人

(5) 各種団体・学校等への展示解説

2件(学校2件)

参加28人

(6) プレイミュージアムイベント

「ミニ屏風をつくろう」

参加計343人(大人186人、子供157人)

(7) レストラン三の丸 展覧会特別メニュー

「春バージョン 伊達御膳」

展示資料目録

○は重要美術品 ◇は仙台市指定文化財

所蔵は全て仙台市博物館

序章 伊達氏4代の文書—種宗から政宗まで

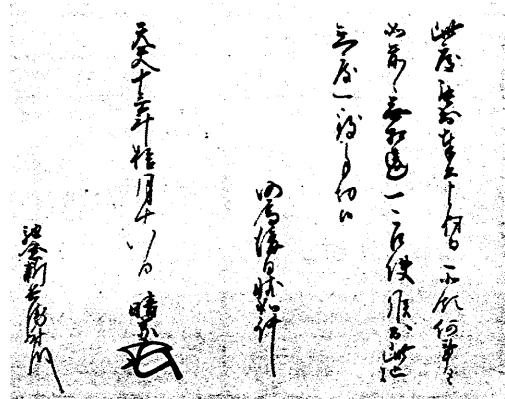
1. 伊達種宗判物 萱場外記助宛 天文16年(1547) 8月9日

大内源太右衛門C

2. 伊達晴宗判物 馳倉(支倉)新兵衛尉宛

天文13年(1544) 10月18日

大内源太右衛門C



2. 伊達晴宗判物 馳倉(支倉)新兵衛尉宛

3. 伊達輝宗書状 支倉紀伊守宛

(永禄10年・1567年) 3月24日

大内源太右衛門C

4. 伊達政宗書状 中島伊勢守宗求宛

(天正16年・1588) 閏5月16日

大石晃大氏寄贈

5. 伊達政宗黒印状 大町駿河守義頼・永(長)沼丹後守福国

宛 元和7年(1621) 11月23日

金ヶ崎信二氏寄贈

6. 伊達政宗書状 只野作十郎勝吉宛 (慶長~元和頃) 3日

小林滯子氏寄贈

7. 伊達政宗書状 細川玄蕃頭興元宛 年月日未詳

宇野はな江氏寄贈



7. 伊達政宗書状 細川玄蕃頭興元

8. 伊達政宗書状 伊達右衛門太輔宗高宛

(寛永3年・1626) 閏4月21日

大内源太右衛門C

第1章 描かれた世界へようこそ—絵画の優品

9. ◇榴ヶ岡花見図屏風 江戸中期

阿部次郎C



9. 榴ヶ岡花見図屏風

10. 洛中洛外図屏風 江戸 佐々木源一郎氏寄贈
11. 犬追物図屏風 江戸中期 藤崎三郎助氏寄贈
12. 朱衣達磨図 伊達綱宗画、木庵性瑯賛
寛文4年～延宝8年(1664～1680) 大内源太右衛門C
13. 西王母・松に藤・柳に素馨図 伊達綱宗筆 江戸前～中期
大内源太右衛門C
14. 十二月和歌手鑑 伊達吉村筆 江戸中期
大内源太右衛門C
15. 村子姫霊夢図 狩野古信筆 林信篤賛 江戸中期
館蔵
16. 武夷九曲棹歌図巻 佐久間洞巖筆 江戸中期
大内源太右衛門C
17. 牟礼高松図屏風 狩野梅笑筆 安永2年(1773)
星名四郎氏寄贈
18. 林和靖図 小池曲江筆 江戸後期 大内源太右衛門C
19. 芙蓉双鴨図 東東洋筆 江戸後期
三浦三吾氏・三浦良子氏寄贈
20. 龍図 東東洋筆 安永7年(1778) 東量三氏・東眞氏寄贈
21. 西行図 東東洋筆 伴蒿蹊・加茂季鷹賛 江戸後期
東量三氏・東眞氏寄贈
22. 草虫図巻 東東洋筆 天明元年(1781)
東量三氏・東眞氏寄贈
23. 許由・巢父図 東東洋筆 寛政2年(1790)
星智雄氏寄贈
24. 桃花流水図屏風 菅井梅関筆 天保9年(1838) 伊澤家C
25. 秋保蹴臨橋真景図 菅井梅関・高橋巴山合作
天保5年(1834) 大内源太右衛門C
26. 菅井梅関像 熊耳耕年筆 近代 西川瑞國C
27. 芦葉達磨図 菊田伊洲筆 江戸後期 門脇康氏寄贈
28. 秋草図屏風 菊田伊洲筆 江戸後期 藤崎三郎助氏寄贈
29. 群仙図模本 菊田伊洲筆 文政元年(1818) 模写
門脇康氏寄贈
30. 落葉蝸牛図 円山応挙落款 江戸中期 伊澤家C



28. 秋草図屏風(左隻)

31. 桃図 佐久間六所・晴岳筆 江戸後期 門脇康氏寄贈
32. 曲水宴・虫撰図屏風 遠藤速雄筆 近代 藤崎三郎助氏寄贈
33. 五月轡図 遠藤速雄筆 近代 大内源太右衛門C
34. 滝見観音図 橋本雅邦筆 明治29年(1896) 伊澤家C
35. 松島真景図 富岡鉄斎筆 大正13年(1924)
大内源太右衛門C
36. 秋色女図 熊耳耕年筆 近代 西村容太郎氏寄贈
37. 韓信股くぐり図 鈴木岳鼎筆 幕末～近代 門脇康氏寄贈
38. 旭光照波図 邨田丹陵筆 近代 伊澤家C
39. 柳桜に小禽図 小圃六一筆 近代 伊澤家C
40. 錦絵 北日本史 江戸後期～明治 大石昌氏寄贈
- ※No.10、12、22～24、27、30、33、38、39は前期展示。No.11、13、15、17、19～21、25、29、31、32、35～37は後期展示。

第2章 記録された仙台藩—絵図と古文書

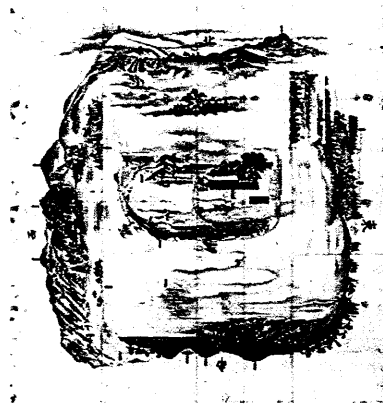
41. 小堀遠江守政一(小堀遠州)書状 松(平)陸奥守(伊達忠宗)宛(正保2年・1645)4月1日 大内源太右衛門C
42. 伊達綱村書状 豊前宛(年未詳)20日 大内源太右衛門C
43. 准胝観音菩薩坐像 江戸中期 館蔵
44. 伊達斉邦書状 奥宛(天保9年～11年・1838～40)
大内源太右衛門C
45. 伊達慶邦書状 西大条四郎平宛
(明治5年・1868)10月25日 大内源太右衛門C
46. 伊達安芸宗重書状 片倉小十郎(景長)宛
(年未詳)11月4日 大内源太右衛門C
47. 伊達遠江守宗興書状 多田左右衛門宛
(寛文8～11年・1668～1671)9月14日 大内源太右衛門C
48. 仙台領分名所手鑑 伊達宗村書、狩野典信画 江戸中期
中嶋成夫氏寄贈
49. 仙台藩領絵図 江戸後期～明治 大沼正寛氏寄贈
50. 金山要害図 江戸 金山要害主中嶋家資料



48. 仙台領分名所手鑑 山摺岡

51. 片倉家別荘之図 江戸後期～明治

報恩会



51. 片倉家別荘之図

52. 袖が崎八景図 江戸中～後期 館蔵
53. 松島紀行 伊達吉村筆 享保7年(1722)9月17日
大内源太右衛門C
54. 御道中御宿絵図 江戸中期 藤縄達夫氏寄贈
55. 仙台城破損箇所絵図綴 江戸中期 藤縄達夫氏寄贈
56. 江戸幕府老中奉書 伊達陸奥守(伊達吉村)宛
享保13年(1728)9月28日 藤縄達夫氏寄贈
57. 伊達忠宗鷹匠法度書 元和9年10月22日 目黒卓英氏寄贈
58. 高木善次郎書状 武市佐左衛門宛
(元和元年・1615カ)12月26日 武市通則氏寄贈
59. 鈴木利兵衛先祖書之覚 鈴木利兵衛筆 五島五左衛門・南平兵衛殿・木幡作左右衛門宛 延宝5年(1677)3月18日
松本昭彦氏寄贈
60. 御救助方万人講 天保7年(1836)9月 佐藤恒明氏寄贈
61. 谷風槐之助勝負付
安永8年(1779)著・文化10年(1813)写
報恩会
62. 海国兵談(稿本) 林子平著 天明7年(1787)10月跋 館蔵

63. 環海異聞(写本) 大槻玄沢・志村弘強著 原南嶺私註
天保4年(1833)4月 館蔵
64. 仙台名家墨跡 坤 江戸末期～明治 館蔵
65. 仙台方言全 櫻田周輔著・大槻文彦写
明治7年(1874)写 報恩会
- ※No.44、45は前期展示。No.46、47は後期展示。

第3章 武士のいでたち—武器武具の優品

66. 刀 銘「河内守藤原国次」 江戸前期 齊藤喜久氏寄贈
67. 火繩銃 銘「仙台住木田市郎右衛門作」、「天保二年」
天保2年(1831) 石垣喜嗣氏寄贈
68. 白糸威二枚胴具足 江戸中期 伊澤家C



68. 白糸威二枚胴具足

69. 黒漆鳩胸北斗七星文五枚胴具足 江戸後期 亀井重忠氏寄贈
70. 黒羅紗地井桁紋陣羽織 江戸後期 亀井重忠氏寄贈
71. 白地黒井桁紋旗 江戸 亀井重忠氏寄贈
72. 後三年合戦絵詞 江戸後期～明治 鈴木字C

第4章 手づくりの美—工芸の優品

73. 百万塔 奈良 藤縄達夫氏寄贈
74. 多彩軸線刻十文字文鉢 9～10C 鈴木字C
75. 色絵楼閣山水文皿 伊万里(古九谷様式)
江戸前期(17C中頃) 伊澤家C
76. 染錦唐花鳳凰文輪花鉢 伊万里(柿右衛門様式)
江戸中期(17C末～18C前半) 伊澤家C
77. ○後拾遺和歌集卷第十 中院切「いみにいもうとの」
伝源実朝筆 平安 島田平八氏寄贈
78. 竹花入 銘「達磨」 清水道看作、佐久間立徳画
安政2年(1855)以前作 島田平八氏寄贈
79. 染付牡丹蛸唐草文らっきょう徳利 切込焼
幕末～明治(19C) 伊澤家C
80. 灯籠型灯具 切込焼 幕末～明治(19C) 鈴木字C



80. 灯笼型灯具

81. 染付菊花図德利 切込焼 幕末～明治 (19C) 鈴木孚C
 82. 染付歳徳神名鉢 切込焼 幕末～明治 (19C) 近藤博則C
 83. 松図・梅図德利 三浦乾也作 明治 (19C) 猪苗代実氏寄贈
 84. 藍流水に紅葉棲文様紙布織袴 江戸後期 遠藤まし子氏寄贈
 85. 紫絹地縞袴長着 明治 佐伯睦子氏寄贈
 86. 茶絹地馬乗袴 仙台平 明治～大正 岸川正文氏寄贈
 87. 正藍染交織単衣 千葉あやの作 昭和 荒川浩和氏寄贈
 88. 螺細金箔散釣竿 江戸後期 杉村典子氏寄贈
 89. 染付孔雀羽文火鉢 切込焼 幕末～明治 (19C) 近藤博則C
 90. 播鉢 堤焼 幕末～明治 (19C) 菅野邦男氏寄贈
 91. 楼閣山水図硯箱 江戸後期 伊澤家C
 92. 牡丹獅子文書見台 明治 伊澤家C
 93. 秋草図扇 白極家伝来 江戸後期 高柳和枝氏寄贈
 94. 竹に雀牡丹紋紗綾形に橘蒔絵手拭掛 江戸後期 館蔵
 95. 琵琶 江戸後期 西川瑞國C
 96. 染付草文猪口 伊万里 「福」 江戸中期 西川瑞國C
 97. 染付竹に梅文猪口 伊万里 「大明年製」
 江戸中期 西川瑞國C
 98. 染付草花文猪口 伊万里 「福」 江戸中期 西川瑞國C
 99. 染付薄文猪口 伊万里 「福」 江戸中期 西川瑞國C
 100. 染付松竹草花文猪口 「大明化□」 江戸中期 西川瑞國C
 101. 布袋形水滴 堤焼 江戸後期 西川瑞國C
 102. 染付蜻唐草文瓶 伊万里 江戸後期 西川瑞國C
 103. 竹菱葵紋蒔絵籠調度 江戸後期 館蔵
 104. 御所人形 江戸後期 館蔵
 105. 埋木細工 手塩皿 天保15年 (弘化元年・1844) 館蔵
 106. 埋木細工 杓子・茶匙・スプーン 伊勢・二見 近代 館蔵
 107. 埋木細工 丸盆 五大堂 相沢玉堂作 近代 館蔵
 108. 埋木細工 鷹置物 近代 館蔵
 109. 埋木細工 変わり盆 近代 安齋博雄氏寄贈
 110. 埋木細工 二宮尊徳像 近代 安齋博雄氏寄贈
 111. 埋木細工 花入 近代 安齋博雄氏寄贈
 112. 埋木細工 鷹置物 平間金作 近代 鹿島ゆき子氏寄贈

113. 埋木細工 花入 平間金作 近代 鹿島ゆき子氏寄贈

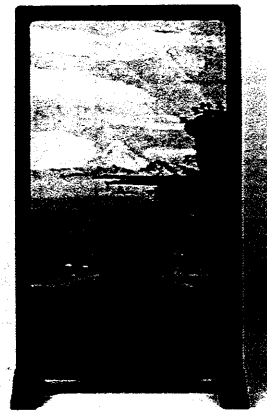
114. 埋木細工 鯛形盆 五大堂 平間金作 近代
 鹿島ゆき子氏寄贈

115. 埋木細工 「がっちゃ」入り茶托 平間金作 近代
 鹿島ゆき子氏寄贈

※No.84、87は前期展示。No.85、86は後期展示。

特集 資料の保存・展示活動

116. 江之島児淵眺望・金沢能見堂眺望図衝立 司馬江漢筆
 寛政年間 (1789～1801) 勝又紳一郎氏寄贈



116. 江之島稚児淵眺望・金沢能見堂眺望図衝立

関連展示

白象黒牛図屏風 (複製) 長沢芦雪筆 寛政年間
 (1789～1801) 京都文化協会寄贈
 エツコ&ジョー・プライスコレクション

東日本大震災復興祈念 特別展
「空海と高野山の至宝」

- 会 期 平成29年7月1日(土)～8月27日(日)
前期：7月1日(土)～7月30日(日)
後期：8月1日(火)～8月27日(日)
- 開催日数 51日間
- 観覧者数 71,920人(1日平均1,410人)
- 観 覧 料 一般1,500円(前売1,300円)、
大学生1,200円、小・中・高校生800円
※10名以上の団体各100円引き
- 主 催 「空海と高野山の至宝」実行委員会
(仙台市博物館、共同通信社、河北新報社、仙台放送)、
高野山真言宗総本山金剛峯寺、
(公財)高野山文化財保存会
- 特別協賛 杜の都信用金庫
- 協 賛 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、
大塚ホールディングス、大塚製薬工場、
大塚オーミ陶業、大和ハウス工業、
ライブアートブックス
- 協 力 西岡総合印刷、フジフォトハウス、
メットライフ生命保険、リコージャパン
- 後 援 文化庁、宮城県、宮城県教育委員会、
毎日新聞仙台支局、読売新聞東北総局、
産経新聞社東北総局、仙台リビング新聞社、
NHK仙台放送局、TBC東北放送、
ミヤギテレビ、KHB東日本放送、
エフエム仙台、ラジオ3 FM76.2、
福島テレビ、岩手めんこいテレビ、
さくらんぼテレビ

高野山は、日本における真言密教の祖・弘法大師空海によって約1,200年前に開創された。僧侶が修行し、世の平安を祈るための寺院として金剛峯寺を建立した空海は、その後奥の院において入定したとされる。高野山は以後の各時代を通じて信仰を集め、現在では奥の院を含む境内や山中の参詣道が、「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産に登録されている。

この展覧会は、東日本大震災からの復興を祈念し、高野山に伝わる空海ゆかりの宝物や密教美術の数々を展示するものであった。空海の実跡や中国からの請来品をはじめ、彫刻・絵画・工芸・考古といった

各分野にわたる至宝を展示することによって、現在まで続く高野山の歴史的・文化的背景について紹介した。

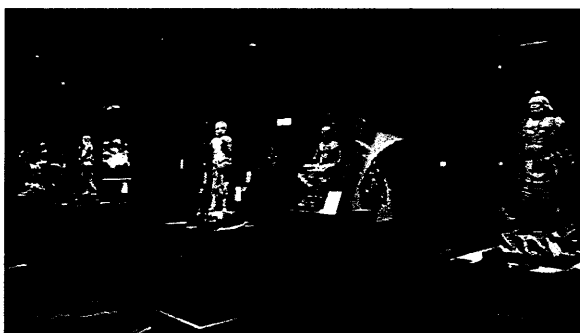
また、会期中には当館ギャラリーにおいて関連展示「金剛峯寺の文化財保存と複製制作」(入場無料)を開催した。

展示構成

- 第1章 弘法大師空海
第2章 空海の生涯と高野山
第3章 密教法具と経典
第4章 高野山と曼荼羅世界
第5章 密教の仏たち



開会式の様子



展示風景

印刷物

ポスター B 2判 1,750枚、B 3判 1,100枚

チラシ A 3ニツ折 130,000枚

図録 B 5判 184頁

割引券 155,200枚



チラシ A3ニツ折



ポスターB2判

関連行事

(1) 記念講演会①

「弘法大師空海の教え」

7月1日(土) 13:30~14:30

博物館ホール・ロビー 参加314人

講師：添田隆昭氏

(金剛峯寺執行長・高野山真言宗宗務総長)



記念講演会①

(2) 記念講演会②

「中世高野山の歴史と信仰」

7月15日(土) 13:30~15:00

博物館ホール・ロビー 参加271人

講師：山陰加春夫氏(高野山大学名誉教授)



記念講演会②

(3) 記念講演会③

「究極の聖地・高野山の神秘 ～真言密教の精神性を探る～」

7月29日(土) 13:30~15:00

博物館ホール・ロビー 参加277人

講師：山口文章氏(高野山真言宗宗務総長公室長・山林部長、高野山霊宝館館長)



記念講演会③

(4) しろ・まち講座

「展覧会のみどころ解説 一仏像・仏画を中心に」

7月22日(土) 13:30~15:00

博物館ホール・ロビー 参加227人

講師：酒井昌一郎・寺澤慎吾(当館学芸員)

(5) ミュージアムセミナー

7月8日(土)

参加67人(教職員65人、ボランティア2人)

- (6) 友の会広報セミナー
7月8日(土) 参加157人

- (7) 各種団体・学校等への展示解説
8件(市民センター等5件、学校3件)
参加440人



各種団体・学校等への展示解説

- (8) プレミアムミュージアムイベント
「書」に挑戦
参加3,509人(大人2,625人、子供884人)

- (9) レストラン三の丸 展覧会特別メニュー
「清涼和歌山御膳」

展示資料リスト

◎は国宝、◎は重要文化財、□は県指定文化財

1. 弘法大師坐像(萬日大師) 1軀 室町~桃山(16~17C)

金剛峯寺



1. 弘法大師坐像(萬日大師)

2. ◎金銅三鈷杵(飛行三鈷杵) 伝弘法大師所持 1口

唐または平安(9C)

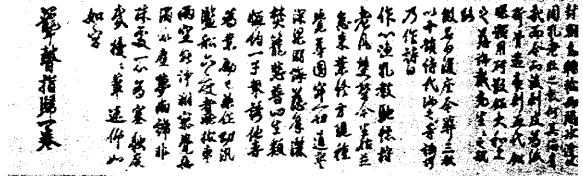
金剛峯寺

3. 金念珠 伝弘法大師所持 1連 唐(9C)

4. ◎雙臂指帰 下巻 弘法大師筆 2巻のうち1巻

平安(8~9C)

金剛峯寺



4. 雙臂指帰 下巻 弘法大師筆(部分)

5. 弘法大師入定図 1幅 室町~江戸(16~17C) 金剛峯寺

6. ◎高野大師行状図画 6巻のうち3巻 鎌倉(14C) 地藏院

7. ◎丹生明神像・狩場明神像 2幅 鎌倉(13C) 金剛峯寺

8. 弘法大師像・四社明神像 2幅 南北朝(14C) 金剛峯寺

9. 大和州益田池碑銘並序(複製) 1巻 原資料:平安(11C)

釈迦文院

10. ◎崔子玉座右銘断簡 伝弘法大師筆 1幅 平安(9C)

寶亀院

11. ◎即身成仏品 1巻 平安(9C)

金剛峯寺

12. 灌頂曆名写 1巻 室町 大永元年(1521)

金剛峯寺

13. ◎金剛峯寺根本縁起 1巻 南北朝 建武2年(1335)

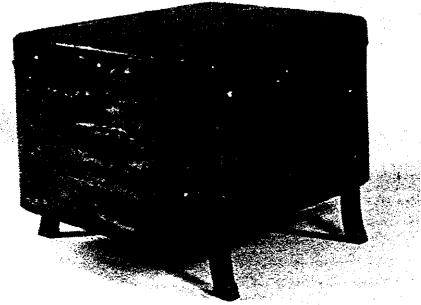
金剛峯寺

14. 金剛峯寺根本縁起(御手印縁起写) 1巻 江戸(17~19C)

金剛峯寺

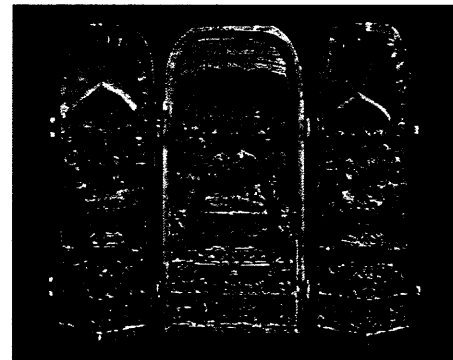
15. ◎又統宝簡集第三十 御室御所高野山御參籠日記 1帖
平安(12C) 金剛峯寺
16. ◎山水屏風 6曲1隻 鎌倉(13C) 金剛峯寺
17. 緑釉四足壺 真然大徳蔵骨器(複製) 1口
原資料:平安(9C) 金剛峯寺
18. ◎高野山奥之院出土品 比丘尼法葉経塚出土品
紺紙金銀字無量義経 1巻 永久2年(1114)埋納 金剛峯寺
19. ◎高野山奥之院出土品 比丘尼法葉経塚出土品
紺紙金字観普賢経 1巻 永久2年(1114)埋納 金剛峯寺
- 20-1. ◎高野山奥之院出土品 燈籠堂及び周辺出土品
白磁四耳壺 1口 南宋(12~13C) 金剛峯寺
- 20-2. ◎高野山奥之院出土品 燈籠堂及び周辺出土品
灰釉四耳壺 1口 鎌倉(12~14C) 金剛峯寺
- 20-3. ◎高野山奥之院出土品 燈籠堂及び周辺出土品 金銅光背
1面 飛鳥または鎌倉(7~8Cまたは12~13C) 金剛峯寺
- 20-4. ◎高野山奥之院出土品 燈籠堂及び周辺出土品 金銅基台
1基 平安~鎌倉(12~13C) 金剛峯寺
- 20-5. ◎高野山奥之院出土品 燈籠堂及び周辺出土品
金銅菩薩立像 1軀 飛鳥(7C) 金剛峯寺
- 20-6. ◎高野山奥之院出土品 御廟及び周辺出土品 青白磁花瓶
1口 宋(12C) 金剛峯寺
- 20-7. ◎高野山奥之院出土品 燈籠堂及び周辺出土品 胎釉壺
1口 鎌倉(13~14C) 金剛峯寺
- 20-8. ◎高野山奥之院出土品 燈籠堂及び周辺出土品 灰釉小壺
3口のうち2口 鎌倉~室町(13~16C) 金剛峯寺
- 20-9. ◎高野山奥之院出土品 燈籠堂及び周辺出土品 瓦製小壺
5口のうち2口 鎌倉~室町(13~16C) 金剛峯寺
21. ◎南保又二郎納骨遺品 阿弥陀三尊像 1面
奈良または鎌倉(8Cまたは13~14C) 金剛峯寺
22. ◎金銅独鈷杵 1口 唐または平安(9C) 金剛峯寺
23. ◎金銅三鈷杵 1口 平安(11C) 金剛峯寺
24. ◎金銅五鈷杵 1口 平安(12C) 金剛峯寺
25. ◎金銅四天王独鈷鈴 1口 唐(9C) 金剛峯寺
26. ◎金銅五鈷鈴 1口 平安(12C) 金剛峯寺
27. ◎紺紙金銀字一切経 華嚴経卷第10・卷第55、大般涅槃経
卷第13、摩訶般若波羅蜜経(小品経)卷第22 国宝4296巻
のうち3巻・華嚴経卷第10(未指定)1巻 平安(12C)、
華嚴経卷第十:永久5年(1117)、小品経卷第22:元永2年
(1119) 金剛峯寺
28. ◎紺紙金字一切経(荒川経) 小品般若経卷第5、仏説阿弥
陀経卷下 3575巻のうち2巻 平安(12C) 金剛峯寺
29. ◎板彫胎蔵曼荼羅 2面 唐(8C) 金剛峯寺
30. ◎板彫両界曼荼羅 2面 唐(8~9C) 金剛峯寺

31. ◎浮彫九尊像 1面 平安(10~11C) 金剛峯寺
32. ◎紙胎花蝶蒔絵念珠箱 1合・2連 平安(12C) 金剛峯寺
33. ◎澤千鳥螺鈿蒔絵小唐櫃 1合 平安(12C) 金剛峯寺



33. ◎澤千鳥螺鈿蒔絵小唐櫃

34. ◎成身会八葉蒔絵厨子 1基 鎌倉(13C) 金剛峯寺
35. ◎忍葛蒔絵螺鈿箱 1合 南北朝(14C) 金剛峯寺
36. ◎諸尊仏龕 1基 唐(7~8C) 金剛峯寺



36. ◎諸尊仏龕

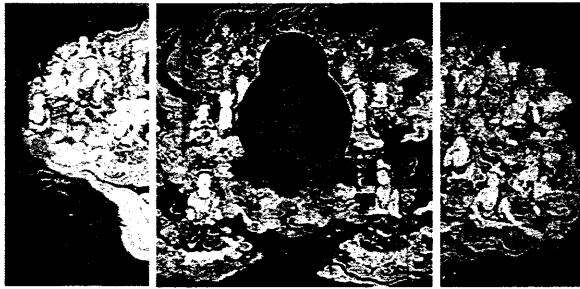
37. ◎勤操僧正像 1幅 平安(12C) 普門院
38. ◎惠果阿闍梨像 1幅 鎌倉(13C) 西生院
39. 真言八祖像のうち 弘法大師像 1幅 室町(15C) 金剛峯寺
40. ◎大日如来坐像 1軀 平安 仁和3年(887) 金剛峯寺
41. 両界曼荼羅図 2幅 桃山~江戸(16~17C) 金剛峯寺
42. 高野山壇上并寺中絵図 1幅 江戸 寛政5年(1793) 金剛峯寺
43. ◎大日如来像 1幅 鎌倉(13C) 金剛峯寺
44. ◎尊勝曼荼羅図 1幅 鎌倉(14C) 寶壽院
45. □不動明王二童子像 1幅 鎌倉(14C) 宝城院
46. ◎毘沙門天像 1幅 鎌倉(13C) 光台院
47. ◎両頭愛染曼荼羅図 1幅 鎌倉(14C) 金剛峯寺
48. ◎愛染明王像 1幅 鎌倉(13~14C) 金剛峯寺
49. 楊柳観音像 1幅 高麗(14C) 寶壽院

50. ◎地藏菩薩像 祐円筆 1幅 南北朝 至徳元年(1384)

寶壽院

51. ◎阿弥陀聖衆來迎図 3幅 平安(12C)

有志八幡講



51. ◎阿弥陀聖衆來迎図

52. ◎五大力菩薩像 金剛吼菩薩像、龍王吼菩薩像、

無畏十力吼菩薩像 3幅 平安(10~11C) 有志八幡講

53. ◎善女龍王像 定智筆 1幅 平安 久安元年(1145)

金剛峯寺

54. ◎薬師十二神將像 1幀 鎌倉(13C)

櫻池院

55. ◎四天王立像 4軀 平安(10C)

金剛峯寺

56. ◎天弓愛染明王坐像 1軀 平安(12C)

金剛峯寺

57. ◎毘沙門天立像 1軀 平安(11C)

普賢院

58. ◎不動明王坐像 1軀 鎌倉(13C)

金剛峯寺

59. ◎孔雀明王坐像 快慶作 1軀 鎌倉 正治2年(1200)

金剛峯寺

60-1. ◎八大童子立像 清浄比丘童子像 運慶作 1軀

鎌倉(12C)

金剛峯寺



60-1. ◎八大童子立像 清浄比丘童子像

60-2. ◎八大童子立像 制吒迦童子像 運慶作 1軀

鎌倉(12C)

金剛峯寺

60-3. ◎八大童子立像 惠喜童子像 運慶作 1軀

鎌倉(12C)

金剛峯寺

60-4. ◎八大童子立像 惠光童子像 運慶作 1軀

鎌倉(12C)

金剛峯寺



60-2. ◎八大童子立像 制吒迦童子像



60-3. ◎八大童子立像 惠喜童子像



60-4. ◎八大童子立像 惠光童子像

60-5. ◎八大童子立像 阿耨達童子像 1軀 南北朝(14C)

金剛峯寺

60-6. ◎八大童子立像 指徳童子像 1軀 南北朝(14C)

金剛峯寺

※No.3、7、13、15、18、32、35、38、43、45、47、50、51、59、
60-1、60-2は前期展示。

※No.4、8、14、16、19、33、34、37、44、46、48、49、53、54、
60-3、60-4は後期展示。

特別展

「伊達政宗 一生誕450年記念」

会 期 平成29年10月7日(土)～11月27日(月)

前期：10月7日(土)～10月29日(日)

後期：10月31日(火)～11月27日(月)

開催日数 46日間

観覧者数 42,525人(1日平均924人)

観覧料 一般1,200円、高校・大学生1,000円、
小・中学生800円

※10名以上の団体は各100円引

主 催 仙台市博物館

共 催 河北新報社

後 援 宮城県、宮城県教育委員会、毎日新聞仙台支局、朝日新聞社仙台総局、読売新聞社東北総局、産経新聞社東北総局、日本経済新聞社仙台支局、仙台リビング新聞社、NHK仙台放送局、TBC東北放送、仙台放送、ミヤギテレビ、KHB東日本放送、エフエム仙台、ラジオ3 FM76.2

平成29年は、東北地方を代表する戦国武将であり、初代仙台藩主である伊達政宗が生まれて450年となる節目の年である。

これを記念して開催する本展は、館蔵資料はもとより国内各地の多彩な関連資料から、現在の仙台・宮城の基礎を築いた伊達政宗の生涯や政治・外交・文化など様々な足跡について紹介し、動乱の時代を駆け抜け、泰平の世を生きた伊達政宗の人物像をより深く知る機会とした。

古文書類をはじめ、刀や甲冑・陣羽織などの武器・武具類、きらびやかな小袖や屏風、貴重な洋書・茶器など、政宗あるいは周辺武将ゆかりの資料を幅広く展示することができた。さらに当初の想定を上回る来場者を得て、大変好評をいただいた。

展示構成

プロローグ 描かれた「独眼竜」

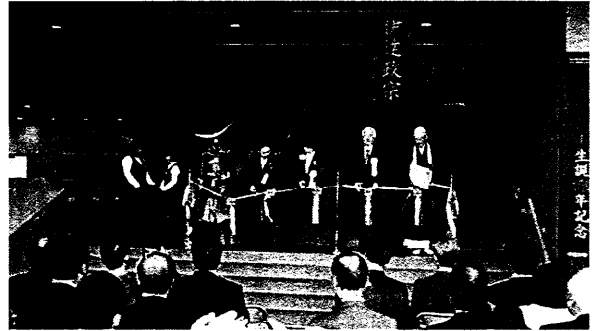
第1章 戦国武将 伊達政宗—1567～1600

第2章 政宗を取りまく人びと—家族と家臣たち

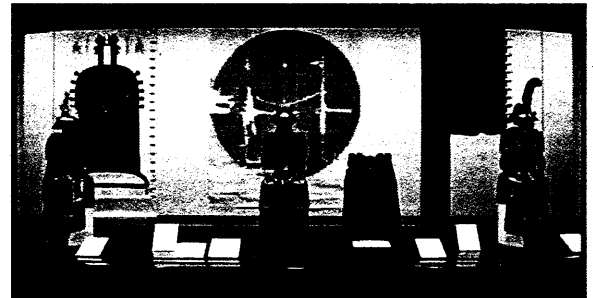
第3章 仙台藩主 伊達政宗—1601～1636

第4章 政宗の素顔—武芸・文芸・趣味・嗜好

エピローグ 政宗の死とその後



開会式



展示風景

特別展関連展示

パネル展「マンガ『独眼竜政宗』—^{うそまこと さかいめ}虚実の皮膜に一—」
会場 ギャラリー

河北新報で連載中だった千葉真弓氏のマンガ「独眼竜政宗」を電子原画、肉筆原画、舞台裏、ミニ動画で展開した。



関連展示

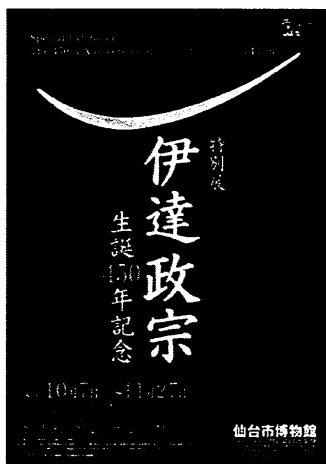
印刷物

ポスター B 2判1,500枚 B 3判 350枚

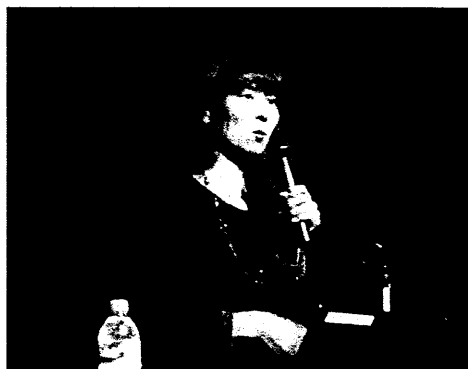
チラシ A 4判90,000枚

割引券 140,000枚

図録 A 4判 224頁 4,000部



A 4チラシ



記念講演会②

関連行事

(1) 記念講演会①

「伊達政宗と豊臣秀吉」

10月7日(土) 13:30~15:00

博物館ホール 参加242人

講師：池上裕子氏(成蹊大学名誉教授)



記念講演会①

(2) 記念講演会②

「伊達政宗とその親族」

講師：遠藤ゆり子氏(淑徳大学准教授)

「伊達政宗と奥羽の大名たち」

講師：高橋充氏(福島県立博物館学芸員)

10月28日(土) 13:30~16:00

博物館ホール 参加287人

(3) しろ・まち講座

「見どころ資料からみた伊達政宗」

講師：佐々木徹(当館学芸員)

「伊達政宗のファッション」

講師：高橋あけみ(当館学芸員)

11月11日(土) 13:30~16:00

博物館ホール 参加223人

(4) 博物館・伊達武将隊コラボイベント

11月5日(日) 9:30~12:30

博物館ホール・展示室 参加186人



博物館・伊達武将隊コラボイベント

(5) SMMA見験楽学ツアー9

「ミュージアム周遊 政宗バスツアー」

11月5日(日) 9:15~15:40

博物館・仙台北丸跡・瑞鳳殿・福島美術館

参加24人

講師：佐々木徹(当館学芸員)、渡部紀(仙台市文化財課仙台北丸跡調査室長)、加藤寛(瑞鳳殿学芸員)、尾暮まゆみ(福島美術館学芸員)



SMMA見験楽学ツアー9

(6) ミュージアムセミナー

10月14日(土)

参加67人(教職員58人、ボランティア9人)

(7) 友の会広報セミナー

10月16日(月) 参加160人

(8) 各種団体・学校等への展示解説

51件(市民センター等29件、学校22件)

参加2,531人

(9) プレイミュージアムイベント

「かぶとをデザインしよう!!」

参加1,035人(大人138人、子供897人)

(10) レストラン三の丸 展覧会特別メニュー

「政宗450周年洋風秋バージョン 伊達御膳」

展示資料目録

◎は国宝、○は重要文化財、○は重要美術品、□は県指定文化財、◇は市・町指定文化財

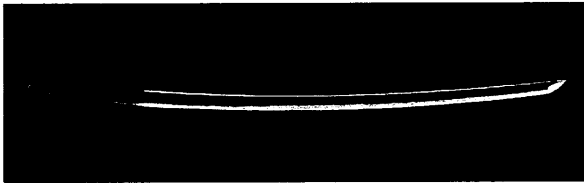
プロローグ 描かれた「独眼竜」

- ◇伊達政宗甲冑像 狩野探幽筆・伊達政宗和歌貼付
江戸初期(17C) 1幅 館蔵(伊文)
 - 伊達政宗夫妻像 狩野玄徳筆 雲居希膺賛 伝陽徳院施入
承応2年(1653)正月以前 1幅 京都・蟠桃院
 - 伊達政宗夫妻像 狩野玄徳筆 雲居希膺賛
慶安5年(1652)~万治2年(1659)頃 1幅 個人蔵
 - 伊達政宗画像 雲居希膺賛 江戸前期(17C) 1幅
京都・蟠桃院
 - ◇伊達政宗画像 雲居希膺賛 江戸前期(17C) 1幅
宮城・瑞巖寺
 - ◇伊達政宗画像 狩野安信筆 坂(酒)井伯元賛
延宝4年(1676)頃 1幅 館蔵(伊文)
 - 伊達政宗画像(伊達家歴代画真のうち) 長谷川養辰筆
享保9年(1724) 1面 館蔵(伊文)
 - 伊達政宗画像 土佐光貞筆 江戸中~後期(18~19C)
1幅 京都・霊源院
- ※No. 2、5は前期展示、No. 3、4は後期展示

第1章 戦国武将 伊達政宗—1567~1600

- ◇性山公治家記録 卷1 (永禄10年[1567] 8月3日条)
元禄16年(1703)編 1冊 館蔵(伊文)
- 西大条右兵衛覚書 (年未詳) 6月16日 1通 館蔵(伊文)
- ◇性山公治家記録 卷2 (元亀3年[1572] 7月7日条)
元禄16年(1703)編 1冊 館蔵(伊文)
- 当家系図 江戸前期(17C) 1巻 館蔵(伊文)
- 伊達輝宗書状 (小笠原)宗林斎宛
(天正7年・1579) 10月21日 1幅 館蔵
- ◇性山公治家記録 卷4 (天正9年[1581] 5月上旬条)
元禄16年(1703)編 1冊 館蔵(伊文)
- 正月仕置之事 受心(伊達輝宗)筆
天正12年(1584) 12月 1巻 館蔵(伊文)
- 祖先行軍之図 江戸(17~18C) 1幅 館蔵
- 伊達政宗書状 栖安(伊達実元)宛
(天正14年・1586) 9月25日 1通 伊達市教育委員会
- 伊達政宗書状 五郎(伊達成実)宛
(天正15年・1587) 5月9日 1通 伊達市教育委員会
- 伊達政宗書状 氏弾(氏家弾正忠吉継)宛
(天正16年・1588) 10月24日 1幅 館蔵
- 放駒の陣貝 桃山(16C) 1個 館蔵(伊文)

21. 紫糸威胴丸 伝伊達政宗所用 室町後期 (16C) 1領
館蔵 (湯村幹夫氏寄贈)
22. 伊達政宗書状 須田佐土 (渡) 守宛
(天正17年・1589) 6月5日 1幅 館蔵
23. 仙道之図 江戸 (17~18C) 1幅 館蔵 (伊文)
24. 太刀 鰐国行 豊臣秀吉所用 伊達政宗拝領
鎌倉中期 (13C) 1口 個人蔵



24. 太刀 鰐国行 豊臣秀吉所用 伊達政宗拝領

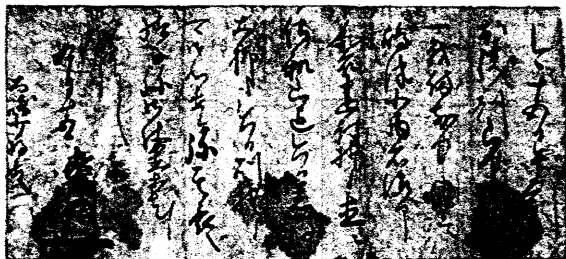


37. ◇色々威二枚胴具足 豊臣秀吉所用

25. 豊臣秀吉書状 伊達左京大夫 (政宗) 宛
(天正17年・1589) 6月9日 1通 館蔵 (伊文)
26. ●豊臣秀吉御内書 羽柴越後宰相中將 (上杉景勝) 宛
(天正17年・1589) 9月28日 1通 米沢市上杉博物館
27. ●伊達政宗書状 上杉殿 (景勝) 宛
(天正17年・1589) 10月6日 1通 米沢市上杉博物館
28. ●片倉景綱書状 府内 (上杉景勝) 宛
(天正17年・1589) 10月7日 1通 米沢市上杉博物館
29. 豊臣秀吉朱印状写 (宣戦布告状)
北条左京大夫 (氏直) 宛 天正17年 (1589) 11月24日
1通 館蔵 (伊文)
30. 豊臣秀吉小田原陣陣立書 (天正17年・1589) 11月20日
1幅 館蔵 (伊文)
31. ◇貞山公治家記録 卷13 (天正18年 [1590] 4月7日条)
元禄16年 (1703) 編 1冊 館蔵 (伊文)
32. 伊達政宗書状 五郎 (伊達成実) 宛
(天正18年・1590) 6月9日 1幅 宮城県図書館
33. 伊達政宗書状 宛所欠 (天正18年・1590) 6月14日
1幅 館蔵 (伊文)
34. 豊臣秀吉木像 桃山頃 (16C頃) 1軀 大阪城天守閣
35. 蜻蛉燕文様陣羽織 伝豊臣秀吉所用 桃山 (16C)
1領 大阪城天守閣
36. ◎銀伊予札白糸威胴丸具足 付属品共 豊臣秀吉所用
伊達政宗拝領 天正18年 (1590) 拝領 1領 館蔵 (伊文)
37. ◇色々威二枚胴具足 豊臣秀吉所用
桃山 (16C) 1領 名古屋市秀吉清正記念館
38. 豊臣秀吉朱印状 浅野弾正少弼 (長吉) 宛
(天正18年・1590) 10月7日 1幅 大阪城天守閣
39. 蒲生氏郷起請文 伊達左京大夫 (政宗) 宛
天正18年 (1590) 11月28日 1通 館蔵 (伊文)

40. ◎蒲生氏郷画像 逸伝賛 元和7年 (1621) 5月7日賛
1幅 福島・西光寺
41. 伊達政宗書状 浅弾 (浅野弾正少弼長吉) 宛
(天正19年・1591) 2月9日 1卷 館蔵 (伊文)
42. 岩出山要害絵図 江戸前~中期 (17~18C) 1鋪 館蔵 (伊文)
43. 伏見城下伊達政宗上屋敷跡出土遺物
桃山~江戸前期 (16~17C) 14点 京都市考古資料館
44. 伏見古図 (伊達政宗屋敷附近図) 阿形精一筆
明治頃 (19C頃) 1鋪 宮城県図書館
45. ◇貞山公治家記録 卷18上 (天正20年 [1592] 3月17日条)
元禄16年 (1703) 編 1冊 館蔵 (伊文)
46. 肥前名護屋城図 江戸前期 (17C) 1鋪 篠山市教育委員会
47. 伊達政宗書状 富近 (富塚近江守宗綱) 宛
(文禄2年・1593) 7月21日 1通 館蔵 (伊文)
48. 朱塗鳳龍獅子牡丹文金彩螺鈿鞍 (朝鮮鞍)
李氏朝鮮 (16C) 1背 伊達市教育委員会
49. ○吉野懐紙 3巻のうち上・中巻
文禄3年 (1594) 2月29日 2巻 館蔵
50. 吉野花見図屏風 江戸前期 (17C) 6曲1隻 名古屋博物館
51. 豊臣秀吉御誕覚書 (伊達政宗宛)
文禄4年 (1595) 8月24日 1通 館蔵 (伊文)
52. ○豊臣秀吉自筆辞世和歌詠草 桃山 (16C) 1幅 大阪城天守閣
53. ◎菊桐紋蒔絵二重短刀箱 桃山 (16C) 1具 本間美術館
54. 伊達政宗起請文 有馬中書 (中務則頼)・宗薫老
(今井宗薫) 宛 慶長4年 (1599) 4月5日 1幅 大阪歴史博物館
55. 北目城跡出土遺物 (朱鞘脇差、漆絵椀) 桃山 (16~17C)
3点 仙台市教委

56. 石川昭光・片倉景綱連署起請文 登坂式部少輔・
南右馬允宛 (慶長5年・1600) 7月25日 1通
館蔵 (片倉家資料)
57. 徳川家康領知覚書 (百万石のお墨付) 大崎少将
(伊達政宗) 宛 慶長5年 (1600) 8月22日 1卷
館蔵 (伊文)
58. 徳川家康書状 大崎少将 (伊達政宗) 宛 (慶長5年・1600)
9月15日 1通 天理大学附属天理図書館



58. 徳川家康書状 大崎少将 (伊達政宗) 宛

59. 徳川家康書状写 大崎少将 (伊達政宗) 宛
原資料は (慶長5年・1600) 9月15日 1通 館蔵 (伊文)
60. 伊達政宗書状 石和州 (石川大和守昭光)・
同中書 (石川中務義宗) 宛 (慶長5年・1600) 9月晦日
1幅 館蔵
61. ◎関ヶ原合戦図屏風 桃山 (17C) 8曲1双
大阪歴史博物館
62. ◎伊達政宗書状 伊上州 (伊達上野守政景) 宛
(慶長5年・1600) 9月26日 1通 奥州市
63. ◎伊達政宗書状 伊達上州 (上野守政景) 宛
(慶長5年・1600) 9月27日 1通 奥州市
64. □浅葱糸威黒鞆韋包板物二枚胴具足 伝上杉景勝所用
桃山 (16C) 1領 宮坂考古館
65. □浅葱糸威錆色塗切付札二枚胴具足 伝直江兼続所用
桃山 (16C) 1領 宮坂考古館
- ※No.26、32、38、40、61は前期展示。No27、28、33、37、39、
49、50、は後期展示。No.58は10/7～11/5、No.59は11/7
～11/27展示。

第2章 政宗を取りまく人びと一家族と家臣たち

66. ◎黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用 桃山 (16C) 1領
館蔵 (伊文)
67. ◇黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用 菅野重成拝領
桃山 (16～17C) 1領 館蔵 (菅野家資料)
68. 黒漆五枚胴具足 伝伊達政宗所用 桃山 (16C) 1領
岩手・駒形神社
69. ◎白地赤日の丸旗 桃山 (16～17C) 1旒 館蔵 (伊文)



66. ◎黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用

70. ◎山形文様陣羽織 伊達政宗所用 桃山 (16～17C)
1領 館蔵 (伊文)
71. 伊達輝宗画像 (伊達家歴代画真のうち) 長谷川養辰筆
享保9年 (1724) 1面 館蔵 (伊文)
72. 伊達輝宗書状 岩城殿 (常隆) 宛 (天正10年・1582)
6月5日 1幅 館蔵
73. 伊達輝宗書状・和歌 (伊達政宗宛) 1通・1枚・2点
館蔵 (伊文)
74. 小大納言書状 片倉小十郎 (景綱) 宛 (天正16年・1588)
7月6日 1通 (2枚) 館蔵 (伊文)
75. 伊達政宗書状 (最上氏義姫宛) 文禄2年 (1593)
7月24日 1卷 館蔵 (伊文)
76. 伊達政宗書状 資福寺 (虎哉宗乙) 宛 (天正16年・1588)
閏5月21日 1幅 館蔵
77. 虎哉宗乙書状 大有康甫宛 (文禄3年・1594) 11月27日
1通 館保管
78. 斑寅集 虎哉宗乙撰 元禄15年(1702) 5冊 宮城・覚範寺
79. 大有康甫像 熙春竜喜賛 天正8年 (1580) 賛 1幅
宮城・東昌寺
80. 陽徳院画像 江戸前期 (17C) 1幅 宮城・瑞巖寺
81. 伝伊達政宗書状 陽徳院 (愛姫) 所持 年月日未詳 1通
館蔵 (伊文)
82. 陽徳院消息 雲居和尚 (希膺) 宛 (慶安2年・1649)
10月14日 11幅 宮城・瑞巖寺
83. ◇禾目天目茶碗 伝陽徳院所用 南宋 (12～13C) 1口
宮城・瑞巖寺
84. ◇赤楽茶碗 伝陽徳院所用 江戸初期 (17C) 1口
宮城・瑞巖寺
85. 鶴蒔絵香合 室町 (16C) 1合 館蔵 (伊文)
86. 桐紋秋草蒔絵懸盤 伝飯坂局所用 桃山 (16～17C)
3基1組 宮城・天皇寺

87. 和歌詠草「末遙か」 伊達政宗筆 (寛永12年・1635) 1通
伊達市教育委員会

88. 黒漆五枚胴具足 伊達成実所用 桃山 (16~17C) 1領
伊達市教育委員会



88. 黒漆五枚胴具足 伊達成実所用

89. ○太刀 宇佐美長光 鎌倉中期 (13C) 1口
伊達市教育委員会

90. ◇勝色旗 江戸 (17~19C) 1旗 伊達市教育委員会

91. 桐紋菊萩蒔絵椽 桃山 (16~17C) 1合 伊達市教育委員会

92. 政宗公御軍記 伊達成実筆 江戸前期 (17C) 3冊
伊達市教育委員会

93. 伊達成実画像 江戸中期 (18C) カ 1幅 館蔵

94. 安孫子の陣貝 桃山 (16C) 1具 館蔵 (片倉家資料)

95. 片倉景綱書状 平田惣右衛門宛 (天正17年・1589)
6月9日 1幅 個人蔵

96. 七家抄・深薨抄 江戸初期 (17C) 各1冊
館蔵 (片倉家資料)

97. 片倉景綱画像 猪野謙山筆 明治 (19~20C) 1幅
館蔵 (片倉家資料)

98. 白地黒釣鐘旗 桃山 (16~17C) 1旗 館蔵 (片倉家資料)

99. 金九曜紋網代編軍配団扇 片倉重綱所用 江戸初期 (17C)
1握 館蔵 (片倉家資料)

100. 黒漆五枚胴具足 片倉重綱所用 桃山 (16~17C)
1領 館蔵 (片倉家資料)

101. 太刀 伝片倉景綱・重綱所用 南北朝 (14C) 1振
館蔵 (片倉家資料)

102. ◎小紋染胴服 伝豊臣秀吉所用 片倉重綱拝領 桃山 (16C)
1領 館蔵 (片倉家資料)

103. 黄緞地牡丹唐草文様陣羽織 伝豊臣秀吉所用 桃山 (16C)
1領 館蔵 (片倉家資料)

104. 茂庭綱元書状 奥山与一左衛門 (兼清) 宛
(慶長7年・1602) 9月27日 1通 館蔵



100. 黒漆五枚胴具足 片倉重綱所用

105. ◇桐紋秋草蒔絵唐櫃 伝香の前所用 桃山 (16~17C)
1合 登米市歴史博物館

106. 雪斎 (留守政景) 書状 宛所欠 (天正15年・1587)
5月11日 1通 館蔵

107. 留守政景及び殉死者像 虎哉宗乙賛 慶長15年 (1610) 賛
1幅 岩手・大安寺

108. 石川昭光画像 東東洋筆 天保8年 (1837) 1幅 個人蔵

109. ◇黒漆五枚胴具足 白石宗実所用 桃山 (16~17C) 1領
登米市教育委員会

110. 伊達政宗書状 伊達安芸守 (亙理定宗) 宛
(寛永6年・1629) 7月7日 1幅 宮城県図書館

111. 勝軍地藏菩薩坐像 伝濱田景隆所用 桃山 (16C) 1軀
館蔵 (濱田家資料)

112. 白天鷲絨地陣羽織 伝徳川家康所用 山岡重長拝領
桃山 (16~17C) 1領 館蔵 (岩出山伊達家資料)

113. 黒羅背板地胴服 伊達政宗所用 菅野重成拝領
江戸初期 (17C) 1領 館蔵 (菅野家資料)

114. 伊達秀宗書状 (伊達) 忠宗宛 (寛永11年・1634)
閏7月28日 1通 館蔵 (伊文)

115. 伊達忠宗書状 中島監物 (貞成) 宛 (寛永11年・1634)
11月21日 1通 館蔵 (伊文)

116. 伊達政宗書状 御ふり(振姫)宛 (元和6年・1620) 9月9日
1通 館蔵 (伊文)

117. 天麟院画像 江戸前期 (17C) 1幅 宮城・瑞巖寺

118. 伊達政宗書状 五 (五郎八姫) 宛 (年月未詳) 27日 1幅
館蔵 (太田道邦氏寄贈)

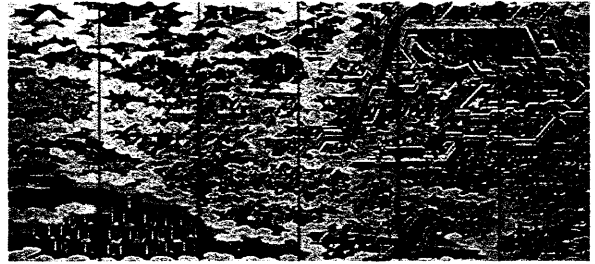
119. 伊達政宗書状 伊房州 (伊達安房守成実) 宛
(慶長19年・1614) 8月8日 1幅 館蔵

120. 松平忠輝書状 安藤帯刀 (直次) 宛 (元和元年・1615)
10月22日 1通 大阪城天守閣

121. 伊達政宗書状 むもし(牟宇姫)宛 (寛永11年・1634)
6月22日 1通 館蔵(坂元淑郎氏寄贈) 館蔵(伊文)
122. 妙法蓮華經 牟宇姫筆 延宝3年(1675)7月24日 8巻
宮城・瑞巖寺
123. 伊達政宗書状 伊河内守(伊達宗清)宛 (慶長18年・1613)
7月20日 1幅 館蔵
124. 伊達宗泰書状 菅野(勝三郎重成)宛 (年未詳)5月4日
1通 館蔵(菅野家資料)
125. 伊達宗高書状 殿(伊達政宗)宛 (元和6年・1620)
閏12月13日 1通 館蔵(伊文)
126. 伊達政宗書状 伊治部大輔(伊達宗実)宛
(寛永7年・1630)6月12日 1幅 館蔵
- ※No.68、74、77、94、113は前期展示。No.67、75、78、96、
102、103は後期展示。
- 第3章 仙台藩主 伊達政宗—1601~1636**
127. ◇貞山公治家記録 巻20下 (慶長5年〔1600〕12月24日条)
元禄16年(1703)編 1冊 館蔵(伊文)
128. 伊達政宗書状 宗薫老(今井宗薫)宛 (慶長6年・1601)
4月18日 1巻 大阪城天守閣
129. ◇伊達政宗和歌詠草「入そめて」江戸初期(17C)1幅
館蔵(伊文)
130. 国分千代御城之事 江戸(17~19C)1通
館蔵(千田家資料)
131. 三体詩鈔 二之上 雪隠素心著 寛永14年(1637)刊
1冊 館蔵
132. ◇仙台城及び江戸上屋敷主要建物姿絵図 江戸(17~19C)
1巻 館蔵(千田家資料)
133. □鳳凰図屏風 狩野左京筆 慶長15年(1610)4曲1隻
松島町
134. ◇菊桐紋釘隠・唐草文釘隠 江戸(17C前半)2個
館蔵(杉村豊太郎氏寄贈)
135. 仙台城本丸跡出土遺物 江戸(17C前半)47点
仙台市教育委員会
136. 仙台城三の丸跡出土遺物 江戸(17C前半)7点
仙台市教育委員会
137. ◇仙台橋(大橋)擬宝珠 慶長6年(1601)12月 11口
館蔵(報恩会)
138. 伊達政宗書状 片倉備中(景綱)宛 (慶長7年・1602)
12月晦日 1幅 館蔵(片倉家資料)
139. 白石城絵図 江戸前~中期(17~18C)1鋪 館蔵(伊文)
140. 伊達政宗書状 伊安房守(伊達成実)宛 (慶長7年・1602)
12月晦日 1通 伊達市教育委員会
141. 亙理要害絵図 江戸前~中期(17~18C)1鋪 館蔵(伊文)
142. 伊達政宗給米渡方黒印状 柴田之内小和泉肝煎太郎左衛門
宛 慶長7年(1602)3月4日 1通 天理大学附属天理図書館
143. 伊達政宗書状 茂石見(茂庭石見守綱元)宛
慶長8年(1603)12月25日 1巻 館蔵
144. 伊達政宗書状 茂石(茂庭石見守綱元)宛 (年未詳)
7月5日 1巻 館蔵
145. 伊達政宗伝馬黒印状 慶長15年(1610)正月15日 1通
館蔵(片倉家資料)
146. 小笠原直吉等三名連署状 山岡志摩守(重長)等六名宛
(年未詳)6月11日 1通 館蔵(伊文)
147. 伊達政宗桑植付等黒印条目 安部勝(正)左衛門宛
元和4年(1618)6月24日 1通 天理大学附属天理図書館
148. 伊達政宗江戸廻米渡方黒印状 御蔵所三組之御算用衆宛
寛永11年(1634)12月5日 1通 天理大学附属天理図書館
149. ◇愛宕神社棟札 慶長8年(1603)8月24日 1枚
宮城・愛宕神社
150. 塩竈神社本殿御鑰 慶長年間(1596~1615)カ 1箇
鹽竈神社博物館
151. 塩竈神社社殿棟札写 元禄13年(1700)写 1冊
鹽竈神社博物館
152. ◎大崎八幡宮棟札 慶長12年(1607)8月12日 1枚
宮城・大崎八幡宮
153. 大崎八幡来由記 松原探水画・実政泰音書 享保元年
(1716)1巻 宮城・大崎八幡宮
154. ◎国分寺薬師堂棟札 慶長12年(1607)10月24日 1枚
宮城・陸奥国分寺
155. ◎松孔雀図襖 狩野左京筆 元和8年(1622)4面
宮城・瑞巖寺
156. ◎ユネスコ記憶遺産・国宝 支倉常長像
クロード・デリュエ画 1615年頃 1面 館蔵(慶長遣欧使節関係資料)
157. ◎ユネスコ記憶遺産・国宝 ◎ローマ教皇パウロ五世像
17C初期 1面 館蔵(慶長遣欧使節関係資料)
158. ◎ユネスコ記憶遺産・国宝 ローマ市公民権証書
支倉六右衛門宛 1615年11月 1通 館蔵(慶長遣欧使節関係資料)
159. 伊達政宗遣使録 ドイツ語版 シピオーネ・アマーティ著
1617年 1冊 館蔵
160. 御物之帳 慶長6年(1601)頃 1冊 館蔵(伊文)
161. 豊臣秀頼画像 江戸(17C)1幅 東京藝術大学



159. 伊達政宗遣使録 ドイツ語版(部分)



177-1. 江戸図屏風

162. 一行書「龍虎梅竹」 豊臣秀頼筆 江戸(17C) 1幅
大阪歴史博物館
163. 黒漆塗床几 伝豊臣秀頼所用 慶長16年(1611) 1基
大阪城天守閣
164. 秀頼様御祝言御呉服之帳 慶長10年(1605) 6月12日
1冊 館蔵(伊文)
165. 大坂冬の陣図屏風 江戸後期(19C) 6曲1双
東京国立博物館
166. 大坂夏の陣図屏風(複製) 原本:江戸前期(17C)
6曲1双 大阪城天守閣
167. 片倉重綱書状 針生民部(盛信)宛 (慶長20年・1615)
5月14日 1幅 館蔵
168. 高台院書状 大崎少将(伊達政宗)宛 (慶長20年〔1615〕
5月) 19日 1通 館蔵(伊文)
169. 大坂夏の陣道明寺合戦首帳 (慶長20年〔1615〕 5月)
1冊 館蔵(菅野家資料)
170. 日月竜文蒔絵仏胴具足 後藤基次所用 桃山(16~17C)
1領 大阪城天守閣
171. 熊毛植黒糸威具足 徳川家康所用 桃山(16~17C) 1領
徳川美術館
172. ◎染分絹地斜縞銀杏葉雪輪散胴服 徳川家康所用
吉岡隼人拝領 桃山(16~17C) 1領 東京国立博物館
173. ◎白絹地竹模様小袖 徳川家康所用 鷲政次拝領
桃山(16~17C) 1領 東京国立博物館
174. 浅葱絹地葵紋付具足下着 徳川家康所用 榊原康政拝領
桃山(16~17C) 1領 東京国立博物館
175. 徳川家康画像 幸田良恭筆 天明元年(1781) 1幅 館蔵
176. 伊達政宗書状 伊達安房守(成実)宛 (元和2年・1616)
4月20日 1通 伊達市教育委員会
- 177-1. 江戸図屏風 江戸前期(17C) 6曲1双
国立歴史民俗博物館

- 177-2. 江戸図屏風(複製) (原本)江戸前期(17C) 6曲1双
国立歴史民俗博物館
178. 洛中洛外図屏風(歴博D本) 江戸前期(17C) 6曲1双
国立歴史民俗博物館
179. 洛中洛外図屏風(歴博F本) 江戸前~中期(17~18C)
6曲1双 国立歴史民俗博物館
180. 伊達忠宗入国出迎覚書 (寛永2年・1625) 5月14日 1通
館蔵(伊文)
181. 江戸幕府老中奉書 仙台中納言(伊達政宗)宛 寛永4年
(1627) 2月23日 1通 天理大学附属天理図書館
182. ◇貞山公治家記録 卷33 (寛永4年〔1627〕 2月23日条)
元禄16年(1703) 編 1冊 館蔵(伊文)
183. 御修復帳 江戸後期(18~19C) 1冊
東北大学大学院工学研究科
184. ○萩に鹿図屏風 伊達政宗詩歌書込 寛永5年(1628)
4曲1双 館蔵
185. 徳川家光領知判物 仙台中納言(伊達政宗)宛 寛永11年
(1634) 8月4日 1巻 館蔵(伊文)
186. 近江領知行目録写 松平陸奥守(伊達政宗)宛
寛永11年(1634) 8月17日 1通 館蔵(伊文)
- ※No.131、138、139、143、145、148、161、166、167、173、
177-1、179、182は前期展示。No.130、140、141、142、144、
147、168、169、172、177-2、178、181は後期展示。No.170は
10/24~11/27、No.171は10/7~10/22展示。
- 第4章 政宗の素顔—武芸・文芸・趣味・嗜好
187. 鷹碟 伊達政宗所用 菅野重成拝領 江戸初期(17C)
1指 館蔵(伊文)
188. 鷹碟 伊達政宗所用 菅野重成拝領 江戸初期(17C)
1指 館蔵(菅野家資料)
189. 鼈甲製口葉入・水牛製胴乱 伊達政宗所用 菅野重成拝領
江戸初期(17C) 2具 館蔵(菅野家資料)
190. 伊達政宗書状 菅勝三(菅野勝三郎重成)宛 (年月未詳)
19日 1幅 館蔵(菅野家資料)
191. 伊達政宗書状 伊房州(伊達安房守成実)宛
(元和4年・1618) 7月7日 1幅 館蔵

192. 一行書「十畧岷山葛」 伊達政宗筆 江戸(17C) 1幅
東京国立博物館
193. 伊達政宗漢詩「春雪」 伊達政宗筆 寛永4年(1627)
正月17日 1幅 館蔵(伊文)
194. 伊達政宗書状 一風和尚(大有康甫)宛(元和4年・
1618ヵ)8月28日 1幅 宮城・東昌寺
195. 高野切 なつとあきと 伝紀貫之筆 伊達政宗所持ヵ
平安(11C) 1幅 三井記念美術館
196. 小倉色紙 うかりける 藤原定家筆 伊達政宗所持
鎌倉(13C) 1幅 三井記念美術館
197. 小倉百人一首 伊達政宗筆 慶長12年(1607)5月5日
1冊 館蔵(伊文)
198. 松之図 伊達政宗和歌書込 江戸前期(17C) 1幅
宮城・覚範寺
199. 道の記 伊達政宗筆(慶長20年・1615) 1巻
館蔵(伊文)
200. 扇面和歌 伊達政宗筆 江戸前期(17C) 1扇 館蔵
201. 和歌詠草「梅」 伊達政宗筆 江戸初期(17C) 1幅
個人蔵
202. ◇和歌懐紙「咲時ハ」 伊達政宗筆 狩野探幽画
江戸前期(17C) 1幅 登米市教育委員会
203. 鈴木新兵衛書状 石母田(景頼)宛(天正19年・1591)
2月29日 1通 館蔵(伊文)
204. 古田織部書状 松奥州(伊達政宗)宛(年未詳)正月29日
1幅 館蔵(伊文)
205. 小堀遠州書状 道閑老(清水道閑)宛(寛永12年〔1635〕
正月)28日 1幅 館蔵
206. ○唐物肩衝茶入 山井 大名物 徳川家康所持
伊達政宗拝領 中国・南宋～元(13～14C) 1口
静嘉堂文庫美術館
207. ○唐物茶入 小肩衝 大名物 徳川家康所持
伊達政宗拝領 中国・南宋～元(13～14C) 1口
静嘉堂文庫美術館
208. 青磁鯨耳花入 千利休・伊達政宗所持
中国・南宋～元(13～14C) 1口 静嘉堂文庫美術館
209. 無地刷毛目茶碗 千鳥 伊達政宗所持 李氏朝鮮(16C)
1口 個人蔵
210. ◇茶杓 伊達政宗作 山岸右近献上 桃山(16～17C)
1本 館蔵(伊文)
211. ◇茶杓 伊達政宗作 小嶋立宅献上 桃山(16～17C)
1本 館蔵(伊文)
212. 伊達政宗書状 松越前守(伊達忠宗)宛(寛永3年・1626)
12月1日 1幅 個人蔵
213. 香木 銘 柴舟 五郎八姫施入 江戸前期(17C) 1点
宮城・瑞巖寺
214. 近衛信尋書状 仙中納言(伊達政宗)宛(寛永11年〔1634〕
8月)即刻 1幅 館蔵
215. 謡本 三輪 伊達政宗筆 江戸初期(17C) 1冊
鹽竈神社博物館
216. 古八右衛門様大坂御陳并勤功書 桜井安澄筆 寛文8年
(1668)3月 1冊 宮城県図書館
217. □光悦謡本 一百番 江戸初期(17C) 5冊 宮城県図書館
218. 蔓草蒔絵太鼓胴 江戸初期(17C) 1口 館蔵(伊文)
219. 梨子地菊蒔絵藁箆筥 高屋松庵拝領 桃山(16～17C)
1基 個人蔵
220. 伊達政宗書状(高屋)松庵宛(年月未詳)3日 1幅
館蔵
221. 伊達政宗書状 只野作十郎(勝吉)宛(年未詳)正月9日
1幅 館蔵
222. 伊達政宗書状 柳生但州(但馬守宗矩)宛(寛永10年・
1633)3月23日 1幅 館蔵
223. 伊達政宗書状 茂石(茂庭石見守綱元)宛(年未詳)
10月1日 1幅 館蔵(三原良吉C)
224. 伊達政宗自筆相伴衆書付(年月日未詳) 1幅
館蔵(遠藤一雄氏寄贈)
225. 伊達政宗自筆献立(年月未詳)15日朝 1幅 個人蔵
226. 木村宇右衛門覚書 下巻 慶安5年(1652)頃 1冊
館蔵(伊文)
- エピローグ 政宗の死とその後
227. ◇貞山公治家記録 卷39上(寛永13年〔1636〕4月18日条)
元禄16年(1703)編 1冊 館蔵(伊文)
228. ◇貞山公治家記録 卷39下(寛永13年〔1636〕5月24日条)
元禄16年(1703)編 1冊 館蔵(伊文)
229. 菅野勝左衛門重成辞世和歌詠草 けふはかり 菅野重成筆
寛永13年(1636)5月29日 1幅 館蔵(菅野家資料)
230. 伊達政宗葬礼次第書 寛永13年(1636)6月21日 1通
館蔵(伊文)
231. 九曜紋金具 江戸初期(17C) 1枚 館蔵(濱田史氏寄贈)
232. ◇瑞鳳殿発掘資料 江戸初期(17C) 10点
館蔵(伊達貞宗氏寄贈)
233. □大脇差 富田大和守安定作 明暦元年(1655)
5月24日奉納 1口 宮城・瑞巖寺
234. 政宗君記録引証記 江戸(18～19C) 2冊 館蔵(報恩会)
235. 蒲生記 江戸(17～19C) 2冊 福島県立博物館
236. 魁題百撰相 伊達少将政宗 月岡芳年画 明治元年(1868)
1面 館蔵(大宮司C)

2. 資料の収集保管

受贈資料

平成29年度は14の個人から217件235点（概数）の資料の寄贈を受けた。

※寄贈者（敬称略）／資料名／数量の順に記載

佐藤並子／絹地竹に雀図胴着／1件1点
宮沢里美／伊達綱村和歌「このこまの」ほか／10件10点
庄子幾子／文政三年 仙台城下図／1件1点
後藤久幸／御鈴緒／1件1点
佐々木源一郎／和歌巻物「深山風」／1件1点
佐藤徳太郎／羅浮皓月図襖ほか／2件5点
及川雅子／伊達政宗書状ほか／1件1点
渡辺昭／仙台藩士成田家文書ほか／28件34点
宇壽山和／山水図屏風／1件1点
千葉雅正／太刀 銘則光ほか／7件16点
田村政孝／仙台釣竿 磯竿ほか／5件5点
清水ますみ／羈窓日録ほか／4件4点
半澤まき子／鷹匠半澤家資料／150件150点
清野ひさ子／清野家家系図ほか／5件5点

なお平成27年度に寄贈をうけた財団法人斎藤報恩会から寄付金を受領し、斎藤報恩会寄贈資料について以下のとおり保存、公開に関わる事業を行った。

(1) 資料修理

仙台市指定文化財 奥州仙台城絵図（正保2年）
1 鋪（裏打ち・継ぎ目修理）、戊辰戦争庄内戦争図 2 枚（台紙貼り修理）

(2) 資料保存

大型絵図保存用中性紙箱の製作

(3) 撮影

大型絵図等のスキャン53件

購入資料

本年度は1件1点の資料を購入した。

※資料名／数量の順に記載

アマーティ『伊達政宗遣使録』ドイツ語版／1冊

寄託資料

平成29年度、当館では122人7,358件の寄託を受け付けた。

資料修理

平成29年度は44点の修理を行なった（財団法人斎藤報恩会寄付金による修理を含む）。

(1) 裏打ち・継ぎ目修理

仙台市指定文化財 奥州仙台城絵図（正保2年）
1 鋪 計1点

(2) 欠損・裏打ち修理

仙台城下絵図（文政3年頃） 1 鋪 計1点

(3) 襖本紙剥がし・裏打ち修理

羅浮皓月図襖 梅関落款 4 面 計4点

(4) 台紙貼り修理

戊辰戦争庄内戦争図 2 枚 計2点

(5) 糊剥がれ修理

玉虫誼茂上書ほか 22通 計22点

(6) 浮世絵台紙貼り修理

浮世絵 歌川国芳画など 1 枚物14枚 計14点

資料保存

市民の貴重な財産である文化財を保存し、次の世代に継承するため当館では収蔵庫及び展示室においては適切な温度と湿度を保ち、紫外線をカットした蛍光灯およびLEDを使用している。

また虫菌害への対策として、下記のとおり(1)加害生物及び浮遊菌調査、(2)くん蒸庫におけるくん蒸を実施し、資料の殺虫・殺菌処理を行った。

(1) 加害生物及び浮遊菌調査

目的：歩行性昆虫の種類と侵入経路の特定

塵埃・浮遊菌の数量把握

実施日：①平成29年11月12日～11月26日

②平成30年1月24日～2月6日

方法：粘着トラップで歩行性昆虫を捕獲。

菌類はエアースンプラーによる採集と培養による属名同定。

調査場所：展示室・収蔵庫など館内226箇所
に粘着トラップを設置。同じく22箇所においてエアースンプラーを採取。

効果：調査結果をうけ加害生物の侵入を防ぐため

の対策を講じた。昆虫の侵入が認められた箇所を含む整理整頓と清掃を行い、さらに侵入経路の遮断を行った。また上記期間以外にも数箇所に粘着トラップを設置し、継続的に侵入状況を観察した。

(2) くん蒸庫におけるくん蒸

目的：新規収蔵資料や一時預り資料、借用資料等のうち虫菌害を及ぼす恐れのある資料の殺虫・殺菌。

実施日：①平成29年7月29日～8月3日
②平成29年9月26日～10月1日
③平成30年1月22日～26日
④平成30年3月12日～16日

方法：すべてエキヒュームS（酸化エチレン製剤）ガス投薬による密閉くん蒸。

効果：供試虫・供試菌はいずれも殺滅され、殺虫・殺菌効果は100パーセントと判定された。

その他：各回とも環境への影響に配慮し、使用ガスの屋外排気にあたっては活性炭に有害物質を吸着させて排気を行った。

資料の貸出

平成29年度は14施設に32件40点の資料貸出を行った。

※貸出先／目的／資料名／期間の順に記載

東京都江戸東京博物館・京都府京都文化博物館／特別展「戦国時代展」／塵芥集猪熊本等3件3点／平成28年11月10日～平成29年4月21日

米沢市上杉博物館／特別展「戦国時代展」／三方荒神形兜等3件3点／平成29年4月21日～6月21日

東京藝術大学大学美術館・MIHO MUSEUM／特別展「雪村－奇想の誕生－」／「茅濛図」雪村周継筆等2件7点／平成29年2月15日～9月15日

栃木県立博物館／開館35周年記念特別企画展「中世宇都宮氏－頼朝・尊氏・秀吉を支えた名族－」／重要文化財 金地卍文軍配団扇等8件8点／平成29年8月31日～11月4日

株式会社浄法寺漆産業／シンポジウム「漆DAYS いわて～岩手から漆文化と漆の魅力を発信～」／鳥獣花木図屏風レプリカ6曲1双／平成29年11月10日～11月21日

宮城県公文書館／宮城県公文書館企画展「昔の絵図・地図を見てみよう！」／展示用パネル名取郡北方山

田村絵図（文政4年）等2件2点／平成29年8月30日～平成30年3月8日

多賀城市教育委員会多賀城市埋蔵文化財調査センター／第28回企画展「多賀国府－古代の多賀城から中世の府中へ－」／奥州余目記録等2件2点／平成29年9月21日～12月20日

秋田市立佐竹史料館／企画展「東北の大名 佐竹氏と伊達氏」／蘆名盛氏書状・人取橋観音堂御合戦絵図等6件6点／平成29年9月15日～12月6日

村田町歴史みらい館／伊達政宗生誕450年記念「村田町の伊達政宗書状」／（寛永3年）閏4月21日付伊達宗高宛伊達政宗書状1幅／平成29年10月10日～11月8日

登米市歴史博物館／企画展「伊達政宗と登米地方」／豊田秀吉朱印状ほか3件3点／平成29年10月19日～平成30年1月30日

仙台市教育委員会文化財課／「第67回文化財展 伊達政宗公生誕450年記念－政宗と発掘調査－」／元禄12年奥州仙台領絵図複製床面大型シート1件3枚／平成29年11月21日～12月19日

写真資料の貸出・利用

当館では写真資料の貸出と利用に応じている。利用の申込は256件757点であった。

特に平成29年度は、伊達政宗生誕450年という節目の年であったため、伊達政宗関係の写真利用が多く、「重要文化財 黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用」はのべ34回、「国宝・ユネスコ記憶遺産 支倉常長像」はのべ27回の利用があった。



重要文化財 黒漆五枚胴具足
伊達政宗所用



国宝・ユネスコ記憶遺産
支倉常長像

表2 当館収蔵指定文化財一覧

平成30年3月31日現在

国指定文化財(国宝)

項目	資料名	員数	指定年月日
歴史資料	慶長遣欧使節関係資料	47点	平成13年6月22日

※慶長遣欧使節関係資料のうちローマ市公民権証書・支倉常長像・ローマ教皇パウロ五世像の3点はユネスコ記憶遺産(平成25年6月19日登録)

国指定文化財(重要文化財)

項目	資料名	員数	指定年月日
工芸品	小紋染胴服	1領	昭和53年6月15日
工芸品	黒漆五枚胴具足 兜・小具足付(伊達政宗所用) 附 黒羅紗地裾緋羅紗山形文陣羽織 1領 旗 1旒	1領	昭和54年6月6日
工芸品	銀伊予札白糸威胴丸具足 兜・小具足付 附 兜巾 1頭 頭巾 1頭 団扇 3握 軍扇 2握	1領	昭和54年6月6日
工芸品	帯(三沢初子所用) 附 総鹿子裂 2枚 入日記(正徳2年4月) 1通	12条	平成3年6月21日
書跡	塵芥集	1冊	平成15年5月29日

宮城県指定文化財

項目	資料名	員数	指定年月日
絵画	仙台城本丸大広間障壁画扇面図	6曲1双 2曲1双	平成5年12月24日
考古資料	土偶/鍛冶沢遺跡出土	1箇	平成24年5月1日
歴史資料	国絵図 正保年間奥州仙台領絵図(写)	1軸	平成20年5月2日

仙台市指定文化財

項目	資料名	員数	指定年月日
絵画	紙本著色伊達政宗画像(狩野探幽筆・伊達政宗筆和歌短冊貼込)	1幅	昭和44年7月31日
絵画	菊絵和歌屏風	2隻	昭和51年7月1日
絵画	躑躅ヶ岡花見図屏風	6曲半双	昭和51年7月1日
絵画	菅井梅園 水亭午翠図	1幅	昭和51年7月1日
絵画	仙台城旧本丸及二ノ丸御殿障壁画 紙本著色葵図(2曲屏風) 紙本金地著色花木図 紙本金地著色松に山鳥図(東東洋筆)	1双 6面 4面	昭和60年9月4日
絵画	仙台藩歴代藩主及夫人肖像画	31幅2面	昭和60年9月4日
絵画	絹本著色靈昭女、牡丹、芙蓉図(伊達綱宗筆)	3幅	昭和60年9月4日
絵画	紙本著色河図之図(東東洋筆)	1幅	昭和60年9月4日
絵画	銅板油彩悲しみのマリア像	1面	昭和60年9月4日
絵画	瀟湘八景図(雪村周継筆)	6幅	平成7年3月23日
工芸品	仙台藩歴代藩主所用具足	11領	昭和60年9月4日
工芸品	服飾類(伊達政宗所用) 白綾地竜胆立涌浮模様狩衣 白絹地小袖 藍平絹地直垂 紫羅背板地五色水玉模様陣羽織 表袴 大口袴 錦織唐草文竹に雀紋入野袴 白綾地鶴印金帯	1具 1領 1領 1領 1腰 1腰 1腰 1条	昭和60年9月4日
工芸品	孔雀羽根織込陣羽織(伊達重村所用)	1領	昭和60年9月4日
工芸品	茶杓 仙台藩歴代藩主作 伊達政宗作 2箇 伊達忠宗作 2箇 伊達綱宗作 6箇 伊達綱村作 7箇 伊達吉村作 36箇 仙台藩主作 7箇 (以上茶杓筆筒入) 伊達忠宗作 1箇	61箇	昭和60年9月4日

項目	資料名	員数	指定年月日
工芸品	仙台城旧本丸御殿金具 魚々子地菊桐紋釘隠 魚々子地唐草文釘隠	1個 1個	昭和60年9月4日
工芸品	花鳥山水文孔雀羽雪薄紋散蒔絵十三弦琴 「元禄貳己巳年石村近江守忠貞二月吉日」の銘がある 附 黒漆松竹梅鶴亀蒔絵琴箱 1合	1面	昭和60年9月4日
工芸品	黒漆五枚胴具足(伊達政宗所用・菅野正左衛門重成拝領)	1領	平成20年3月24日
工芸品	朱髹漆六枚胴具足 三宝荒神形兜付(伝上杉謙信所用)	1領	平成20年3月24日
工芸品	脇差 附 金梨地葵紋拵	1口	平成20年3月24日
工芸品	葵紋菊蒔絵耳盪	1具	平成24年12月21日
工芸品	竹菱梅葵紋蒔絵女乗物	1挺	平成26年7月31日
古文書	晴宗公采地下賜録	2冊	昭和51年7月1日
古文書	印章(仙台藩歴代藩主所用)	227顆	昭和60年9月4日
古文書	伊達治家記録(仙台市博物館本)	696冊	昭和60年9月4日
古文書	伊達世家譜及統編(仙台市博物館本)	268冊	昭和60年9月4日
古文書	伊達出自正統世次考(仙台市博物館本) 伊達出自正統世次考首巻 伊達出自世次考 伊達正統世次考 伊達出自正統世次考系図 附 御代々考考證 遊佐好生筆 10冊	1冊 9巻9冊 10巻14冊 1冊	昭和60年9月4日
古文書	林子平自筆写本絵図分類 附 六無斎遺詠 1冊	8枚	昭和60年9月4日
古文書	支倉家文書	一括	昭和60年9月4日
考古資料	伊達政宗墓所出土品 糸巻太刀刀身 1口 糸巻太刀拵 1腰 黒漆葛蒔絵文箱 1合 青龍付文鎮(文箱内容品) 1点 墨(文箱内容品) 1挺 黒漆白梅蒔絵箱 1合 梨地菊蒔絵箱 1合 黒漆鉄線蒔絵香合 1合 梨地梅笹蒔絵硯箱 1合 筆入(硯箱内容品) 1点 墨(硯箱内容品) 1挺 硯(硯箱内容品) 1面 水滴(硯箱内容品) 1点 梨地煙管箱 1合 煙管羅字(煙管箱内容品) 2点 梨地菊蒔絵印籠 1具 皮袋 1点 慶長1分金(皮袋内容品) 3枚 携帯用磁石(皮袋内容品) 1点 金製ブローチ(皮袋内容品) 1点 練玉(皮袋緒締) 1点 銀製服飾品 1点 円鏡 1点 毛抜 2点 雲母製菜板 5枚 葵紋金製菜板 1枚 金具 一括 残欠類 一括	一括 一括	昭和60年9月4日
歴史資料	仙台城及び江戸上屋敷主要建物姿絵図	1巻	平成11年2月1日
歴史資料	玉蟲左太夫「航米日録」及び関係資料	48件	平成11年3月23日
歴史資料	奥州仙台城絵図(推定正保2~3年)	1鋪	平成12年4月28日
歴史資料	仙台城下五釐卦絵図(推定元禄4~5年)	4鋪	平成12年4月28日
歴史資料	仙台城下絵図(推定天明6~寛政元年)	1鋪	平成12年4月28日
歴史資料	仙台城下絵図(文久2年)	1幅	平成12年4月28日
歴史資料	明治元年現状仙台城市之図	1面	平成12年4月28日
歴史資料	伊達政宗和歌詠草「入そめて」 附 春慶塗印籠蓋造箱 1合	1幅	平成13年3月22日
歴史資料	旧大橋の擬宝珠	1口	平成13年3月22日

表3 収蔵資料一覧

平成30年3月31日現在

伊達家寄贈文化財	古文書、絵画、工芸等	22,054
慶長遣欧使節関係資料	支倉常長像、ローマ教皇パウロ五世像等	52
瑞鳳殿発掘資料	糸巻太刀、黒漆地葛蒔絵文箱等	21
青木家資料	具足、旗、刀剣、古文書等	13
安久津成清関係資料	教育、ギリシャ正教・自由民権運動関係文書	446
浅尾哲次関係資料	古文書、書簡、写真、法服	30
足立孔コレクション	古堤人形、古三春人形、古相良人形、古花巻人形等	3,367
阿部次郎コレクション	絵画、浮世絵、古書籍、古文書	3,286
伊澤家コレクション	絵画、古書籍、具足、刀剣、工芸等	1,231
石橋幸作コレクション	飴売り風俗人形、駄菓子模型	501
石原謙太郎コレクション	絵画、書跡、屏風	84
石母田家資料	古文書等	83
板橋次郎関係資料	近代資料等	724
和泉幸一郎コレクション	浮世糸会、陶磁器等	708
大内源太右衛門コレクション	絵画、歴史資料等	90
大久保良雄コレクション	書跡	1,136
岡家資料	古文書等	11,000◇
小野家資料	古文書、古記録、古写真等	791
小野台蔵コレクション	土人形、郷土玩具等	1,826
片倉家資料	小紋染胴服、陣羽織、書状等	487
金子家資料	古文書、古記録	46
亀田孜コレクション	拓本、写真等	537◇
亀田兵治コレクション	絵画、開成丸関係資料	103
菅野家資料	具足、工芸、服飾、古文書等	247
菊田定郷コレクション	書籍、絵画等	340◇
甲田コレクション	仙台平袴、裂地、絵画、陶磁器、刀剣等	522
古賀孝コレクション	切込焼、東北の陶磁器	178
国分家資料	古文書等	60
小関家・新井奥達関係資料	古文書、書跡、古写真	91
ゴトウコレクション	絵画、工芸、書跡	256
小松家資料	仙台平等裂地	10
斎藤報恩会寄贈資料	絵図、古文書、古記録等	3,000◇
佐藤明コレクション	絵画、書跡、土人形	122
佐藤家資料	古文書、古記録、自由民権運動関係資料	301
佐藤宗鶴コレクション	茶道具等	520
佐藤半兵衛コレクション	古銭、中国絵画	3,291
尚文館コレクション	古書籍、古記録等	3,052
鈴木家資料	具足、古文書等	134
大宮司雅之輔コレクション	浮世絵	3,079◇
武田家資料	古文書、古記録、服飾等	192
武市家資料	古文書、古記録、具足	293
千田家資料	古文書等	405
角懸家資料	古文書、絵画、具足、刀剣等	407
中村徳重郎コレクション	林子平関係資料、古文書、古記録	432
新井田コレクション	陶器、絵画等	250
新津宗助コレクション	絵画、書跡、刀剣	114
西川瑞國コレクション	陶磁器等	518
濱田家資料	古文書、古記録、濱田景隆遺品	157
林家・大槻家関係資料	古文書、絵画、肖像写真	94
林信夫コレクション	浮世絵、近世絵画	196
藤塚家資料	藤塚知明、林子平関係資料等	343◇
朴沢家資料	古文書、古記録、絵画	539
本出保治郎コレクション	古堤人形、古三界人形、古花巻人形、古相良人形等	3,416
松川家資料	古文書、古記録、絵画等	245◇
三原良吉コレクション	古文書、古書籍、古写真、絵画、玩具等	4,856
横山文夫コレクション	東北の陶磁器	25
仙岳院関係資料	古文書、輿、絵画等	(一括)
書跡	書跡、文芸等	461
工芸・彫刻	埋木細工、服飾、刀剣、具足、陶磁器、古土人形、独楽等	2,774
絵画	絵画	1,085
考古資料	土器、石器等	414
歴史資料	古文書、古書籍、古記録、絵図、地図、貨幣、地券状、写真、近代資料等	16,628

総計 97,663点

(新規収蔵資料236点。整理完了分含む。ただし仙岳院関係資料を除く)

点数は資料整理状況により、前年と著しく異なっている場合がある。

◇整理中の資料群のうち整理が完了した点数、または概数を記載。

3. 教育・普及

講座・イベント

1. リピーター勧誘イベント

「よろいのシールをあつめよう！」

シール・台紙配布 平成29年4月1日～ 継続中

配布場所 情報資料センター

表4 よろいシール参加状況

年度	新規参加者	特典進呈
H29	318人	14人

歴代仙台藩主のよろいシールを作成し、希望があれば常設展観覧者1名につき、シール1枚を配布するキャンペーンを継続。

シールを全種類集めた参加者には特典（政宗のよろいクリアファイル）を進呈した。

変身タイムなどの博物館主催イベント参加者に對し、シールを2枚渡すなどのキャンペーンを実施した。



2. 博物館七夕飾り

平成29年7月4日（火）～8月20日（日）

エントランスホール

柳生地区（仙台市太白区）に伝承されてきた柳生和紙を使用し、七夕の竹飾りを飾った。吹き流しを中心に、仙台七夕の七つ道具（吹き流し・短冊・紙衣・千羽鶴・巾着・投網・屑籠）を作り、展示した。

短冊は、事前にプレイミュージアムにて来館者に願いを書いてもらったものを使用した。



3. 仙台っ子歴史探検隊

仙台っ子歴史探検隊「伊達政宗を探検しよう！」

平成29年8月19日（土） 13:30～15:00

講習室・常設展示室 参加 16人

小学4年生から6年生を対象に、博物館資料を見学したり、体験活動をしたりしながら、仙台の歴史や文化について学ぶイベント。平成29年度は、まず展示室でグループごとに「クイズラリー」と「政宗のよろい調べ」を行ったあと、クイズの答え合せを交えながら学習プログラム「伊達政宗と仙台」を全員で行った。

平成26年度から博物館実習の期間中に実施し、教育普及の実践的な実習として、館職員の指導のもと、実習生が「クイズラリー」の運営に関わっている。

子どもたちを4つのグループに分け、博物館実習生を補助員としてそれぞれに配置した。「クイズラリー」では、メンバーと話し合ったり、実習生に相談したりしながら、問題を解決していく姿が見られた。また、「よろい調べ」では実際によろいに触れながら気が付いたことを話し合うなど、楽しそうに学びを深めていた。



展示室でのクイズラリーの様子



よろい調べてかぶとの重さを体験

4. 親子体験イベント

夏休み工作教室

「土人形をつくろう」

平成29年7月23日(日) 10:00~12:00

講習室 参加43人(子供23人、大人20人)

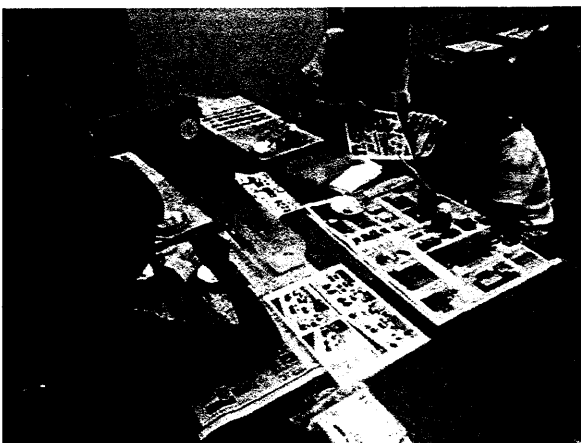
小中学生を対象とした夏休みの工作教室を行った。今年度は前半に20種類ほど用意した土人形の型から好きなものを選んで型抜きする活動を行い、後半に芥子雛の人形に絵付けをする体験を行った。

どの親子も談笑しながら楽しく製作する姿が見られた。また、活動の初めに埴人形の説明もおこなったことで、教室が終わった後も親子で展示室の人形に興味深く見学する様子が見られた。

なお、当日のイベントスタッフとして、キャンパスメンバーズ所属校の大学生5人が、博物館サポーターとして参加している。



親子で土人形の説明を聞く



土人形の絵付けの様子

5. しろ・まち講座30~33

仙台城と城下町仙台についての理解を一層深めたり、展覧会の見どころについて紹介したりするために講座を実施した。例年、しろ・まち講座は申込不要としていたが、今年度伊達政宗連続講座を兼ねたNo.31とNo.33は事前申込制とした。時間はNo.30~No.32が13:30~15:00、No.33のみ13:30~16:00でおこなった。会場は博物館ホールで開催した。

表5 平成29年度 しろ・まち講座

NO.	月日	講師 ・ 演題	参加者
30	4/29 (土)	高橋あけみ(当館主幹) 樋口智之 (当館学芸企画室室長) 明石治郎(当館職員) 「伊達な優品勢ぞろいPart II -この10年の新収蔵品- 展覧会の見どころ紹介」	125人
31	6/4 (日)	佐々木徹(当館学芸員) 明石治郎(当館職員) 「伊達政宗の生涯」	194人
32	7/22 (土)	酒井昌一郎(当館学芸員) 寺澤慎吾(当館学芸員) 「特別展 空海と高野山の至宝の見どころ解説 -仏像・仏画を中心に」	227人
33	11/11 (土)	高橋あけみ(当館主幹) 佐々木徹(当館学芸員) 「特別展 伊達政宗-生誕 450年記念の見どころ資料から みたら伊達政宗」 「伊達政宗のファッション」	223人



しろ・まち講座33

6. まちなか博物館講座 3、4

平成28年度より東北工業大学との連携事業として、歴史や美術に関する講座を実施している。平成29年度は伊達政宗生誕450年にちなみ、政宗が取り組んだ仙台藩の国づくりの歴史をテーマとし、第3回は寺社政策、第4回は城下建設に関する内容の講座を行った。各回とも、映像中継用の別室を設けるほどの盛況ぶりであった。いずれも時間は13:30~15:00、会場は東北工業大学一番町ロビーで開催した。

表6 平成29年度 まちなか博物館講座

N0.	月日	講師・演題	参加者
3	8/20 (日)	菅野正道 (当館主幹兼学芸普及室長) 「政宗の国づくりと寺社政策」	161人
4	9/24 (日)	水野沙織(当館学芸員) 「政宗の城下建設～政宗書状や記録から見る～」	164人



政宗の寺社政策についての講座(第3回)



別室での映像中継の様子

7. 生涯学習推進(館内講師・館外講師派遣)

団体・機関などからの依頼を受けて、学芸員等の館職員が講話を行った。依頼により、館内で行う場合と館外で行う場合とがあった。

下表は、当館で受理された「講師派遣申込書(館内・館外)」を基に作成した講師派遣状況である。なお、ここでは、一般を対象とした講師派遣状況についてのみ記載し、小・中・高等学校・大学・特別支援学校を対象とした講師派遣状況(館内・館外)については、「学校教育との連携」の頁に記載している。

表7 平成29年度館内外講師派遣状況

講師派遣(館内・館外)	件数	対象人数
館内講師 ○企画展、特別展の解説等	44件	1,659人
館外講師	33件	2,403人
合計	77件	4,062人

プレイミュージアム

プレイミュージアムは、「博物館を存分に楽しんでもらいたい」という意図のもとに命名された展示室である。当室には歴史や文化を体験できる様々な資料が展示されており、利用者はそれを手に取って自由に遊ぶことができる。「遊びの素材」の中から取捨選択し、面白さを発見するのは幅広い年齢層の利用者である。この部屋のミュージアム・アシスタント（1名）と解説ボランティアがその手伝いをしている。

プレイミュージアムで提供している遊びには、常時利用できる物（常設展示）と、時期を限って利用できる特定のテーマをもった物（イベント）の2種類がある。



1. 常設展示

当室では、通常、利用者の行動を「観る・動かす・音を出す・うつしとる・変身する・はかる・織る・編む・考える・学ぶ」の10に分類している。

表8 平成29年度主な常設展示資料

観る	輪島塗蒔絵工程見本／板木の見本／錦絵（東海道五十三次）／絵巻物の複製ミニ版（鳥獣人物戯画ほか）／和綴じの昔の絵本（まるづくしほか）／縄文土器（複製）／土人形（つつみ・相良ほか）／木地玩具（江戸独楽・木下駒・八幡馬・三春駒ほか）／張子（仙台・三春ほか）／凧／紙芝居	
動かす	手毬／お手玉／紙風船／けん玉／羽子板／郷土玩具（江戸独楽・べたくた・藍づきお蔵・餅つき兎・牛若と弁慶・浜北風車・お化けの金太・鳩車・米つき鼠・かっぱのすいか喰らい・ずぼんほか）／茶運び人形／日立風流物操り人形	
音を出す	箏／法螺貝／銅鐸／神楽鈴／五鈴鈴／拍子木／びんざさら／擬音（雨うちわ・各種鳥笛ほか）／郷土玩具（犬山でんでん太鼓・庄内板獅子・巴波の鯨・土佐の鳴子・土鈴類ほか）／手作り楽器	
写し取る	平面	収蔵品の透過写真や複製版の浮世絵（トレーシングペーパーを使用）
	立体	複製の縄文土器（型取器を使用）
はかる	長さ	物差し（曲尺・鯨尺ほか）／ウォーキングメジャー
	量	枡（一升・五合・一合）／軽量カップ
	重さ	ヘルスメーター／台秤
織る	平織機（カラコ）	編む 百足編み
	織りの組織見本	花結び

変身する	複製や復元品	政宗具足／政宗かぶと／秀吉具足／山形文様陣羽織／常長の衣装／桃山時代様式の打掛・小袖
	その他	十二単着せ替え人形／草鞋／お面（仙台張子）／手拭
考える	からくりの復元	二挺天府式和時計
	アイ・トリック	ゆがみ絵／トロンブルイユ（だまし絵）／ゾートロップ／反射式覗き眼鏡／世界七不思議アナモルフォーシス／鞘絵／立体眼鏡／万華鏡類
	ゲーム	投扇興／盤双六／貝合せ／投壺／絵双六／将棋／碁／カルタ
	パズル	組木パズル／大型パズル／伊達政宗ジグソーパズル／戦国時代パズル／草木染さいころパズル／清少納言の智恵の板／マグネット式政宗具足シート／触覚パズル／ピクチャパズル日本地図
学ぶ	来館者用情報提供システム／各種図書	

以上は、購入、委託製作、当室製作からなる

(1) 入場者数

平成29年度 26,690人

(2) 配布物

配布物	H29
①よろいのワークシート	1,236人
②トレーシングペーパー	783人
③折紙	34人
④テキスト	16人

※②展示物の透過写真等を写しとるため

※④イベントで配布したものを除いたもの

(3) 破損、修理状況

状況	展示資料管理状況（点）	H29
破損	破損や汚れのための撤去	48
	紛失	9
対応	修理による復帰	41
	同種の展示資料と交換	14
	別種の展示資料に変更	1
	修理不能、または汚損・劣化による廃棄	4

資料を大切に扱っていただくことの啓発を兼ねて、

簡単な修理はできるだけ利用者の前で行った。

(4) デジタルデータの活用

システム名	H29
来館者用情報提供システム	3,718

来館者用情報提供システムとは、Q&A形式で歴史や文化に関わる様々なトピックを紹介しているシステムである。より多くの来館者に利用してもらう目的で、同システムは情報資料センターにも設置されている。

2. イベント

よろいや小袖などを着用して変身するイベント。以下の内容で例年、年3回実施している。平成29年度は、例年2月に実施している第3回「桃山時代のお姫様や支倉常長に変身！」が休館期間中であったため、年2回の実施となった。

(1) 館内での変身タイム

第1回「政宗・秀吉のよろいを着てみよう！」

- ・伊達政宗所用黒漆五枚胴具足（重文）の複製
- ・豊臣秀吉所用銀伊予札白糸威胴丸具足（重文）の複製

平成29年6月10日（土）13：30～15：00



第2回「政宗のよろいと陣羽織を着てみよう！」

- ・伊達政宗所用黒漆五枚胴具足（重文）の複製
- ・伊達政宗所用山形文様陣羽織（重文）の複製（一部復元）

平成29年12月2日（土）13：30～15：00



表9 参加数(人) (子供は中学生以下)

	回	募集	応募	参加内訳			聴講者
				大人	子供	合計	
H29	1	12	12	4	7	11	19
	2	10	14	3	7	10	21
	計	22	26	7	14	21	30

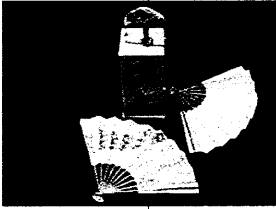


3. 特別イベント


特別イベントを企画する際の原則は以下の通りである。

- (1) 入室には常設観覧料を必要とするため、イベント参加を目的に訪れる利用者に配慮し、材料費無料とし、用具などの必要なものはすべて用意する。
- (2) 表示やテキストを見ながら、できるだけ自分でできる内容とする。
- (3) 内容は以下に分類されるものを取り上げる。

- 常設展示資料に焦点をあてたもの
- 年中行事や季節にあわせたもの
- ◎特別展や企画展にちなんだもの

表10 平成29年度特別イベント一覧

期間	参加人数	内 容
●挑戦しよう！投扇興		
4/1(土) ～4/20(木) 17日間	大人 149人 子供 136人 計 285人	投扇興は、中国から渡来した投壺という遊びを参考に創案されたと伝えられ、枕の上においた的をめかけ、開いた扇を投げ打つ遊びである。今回のイベントではプレイミュージアム流の遊戯方法や得点法で楽しんでもらった。
		
◎ミニ屏風をつくろう		
4/21(金) ～6/4(日) 40日間	大人 186人 子供 152人 計 338人	厚紙や和紙を使って、春の企画展にも出品された「榴ヶ岡花見図屏風」のミニチュアを作るイベント。屏風の仕組みを確かめながら、製作活動を楽しむことで、企画展や屏風作品への関心を高めてもらった。
		
○短冊に願いを...		
7/4(火) ～8/20(日) 43日間	594枚	和紙で短冊を作りながら、七夕を迎える楽しさを味わってもらおうイベント。柳生和紙の短冊を用意し、筆ペンで願い事を書き、室内にある笹竹(造花)に結んでもらった。
		

◎“書”に挑戦		
7/1(土) ～8/27(日) 51日間	大人 2,625人 子供 884人 計 3,509人	特別展に展示されている弘法大師筆「聾瞽指帰」を手本として、ハガキに筆と墨を使って漢字を書いたり、仏像の絵を描いたりするイベント。体験を通して、展示資料への興味を高めてもらった。初心者の方にも楽しんでもらえるように、図柄が薄く印刷されたハガキを数種類用意し、自分の書きたいものを選んでもらうようにした。
		
◎かぶとをデザインしよう		
10/7(金) ～11/27(月) 46日間	大人 138人 子供 897人 計 1,035人	特別展「伊達政宗－生誕450年記念」に関連したイベント。博物館キャラクターのまーくんの顔が印刷してある紙にカラーペンや色鉛筆でオリジナルの兜をデザインしてもらった。戦国武将の変わり兜のデザイン性に着目しながら、製作活動を楽しむことで展示資料への関心を高めてもらった。
		

情報資料センター

博物館には、資料の収集および調査・研究に伴って膨大な情報が蓄積される。その提供手段は主に展示活動であるが、それを補足するため、図書などの二次資料で提供している。また、歴史的分野の生涯学習支援は、博物館の教育普及活動の要素であり、当センターを実践の場と位置付けている。

更に、利用者のニーズにも対応できるよう運営している。ミュージアムアシスタント2人（うち司書1人）が、利用案内と質問の受付にあたり、専門的な回答を要するものについては、各担当学芸員に引き継いでいる（利用状況は表11参照）。

今年度の取り組み作業として、年度末の長期休館を利用し、年々増加する蔵書の整理や配架内容の見直しを行った。また、前年度にあらたに書架4本を導入したことにより、センター内に配架できる図書の冊数が増えたため、より多様な図書を自由閲覧に供することができるよう、配架全体の見直しを行った。

提供資料

1. 図書資料

図書は自由閲覧とし、センター内書架に配している蔵書以外にも要望により閲覧に供しているが、全て貸し出しには応じていない。

内容的には、仙台を中心とする東北地方の地方史文献、通史及び分野別の全集、美術全集、百科事典及び分野別の辞典類、古典文学、などである。今年度の受入図書は1,666冊で、図書整理を行った結果、蔵書数は86,110冊となった。このうちセンターで自由閲覧できる図書は5,553冊である。

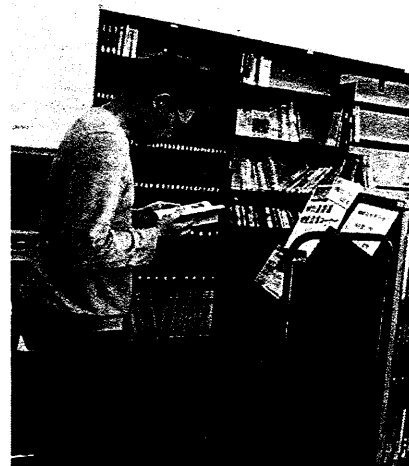
また、センター内の企画として、特別展・企画展に関連した特設図書コーナーを設け、ポップなどをつけて利用者の注目を集める工夫をした。特別展伊達政宗展開催時には、常設の書架にも伊達政宗関連図書を配架し、会期終了後も「伊達政宗コーナー」として継続している。さらに、ギャラリーでの関連展示で好評を得た、マンガ「独眼竜政宗」のコピーを作者千葉真弓氏の了承を得て、会期終了後も情報資料センターで閲覧可能とした。特設図書コーナーは今年度3回設置し、設置冊数は延べ47冊であった。



特別展「空海と高野山の至宝」関連
特設図書コーナー



特別展「伊達政宗」関連特設図書コーナー



特設図書コーナー利用の様子

2. 収蔵資料閲覧カード

伊達家文書を中心に、絵巻物・浮世絵等の写真を添付したカードを整冊し、開架書架に配している。

3. マイクロフィルム

伊達家文書を中心にマイクロフィルム化を進めている。マイクロリーダープリンター1台を設置しており、利用は申込み制としている。また複写プリントのサービスを有料で行っている（利用件数は表11参照）。

フィルムの資料は伊達治家記録や、三原良吉コレクション（一部）などが閲覧可能である。

4. 映像資料

申込み制の利用とし、主に館内講演会などの記録映像を中心にモニターで提供している。

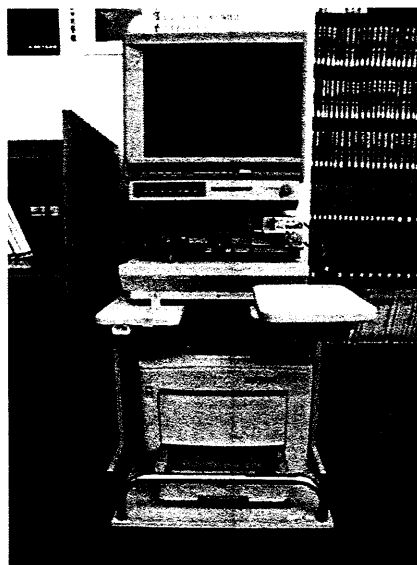
5. 周辺情報・他館情報の提供

仙台市と近郊の博物館・美術館など文化施設の利用案内や展示・行事の情報、また全国の博物館・美術館から送られてくるポスター、リーフレット、館だより等についても当センターで取り扱っている。

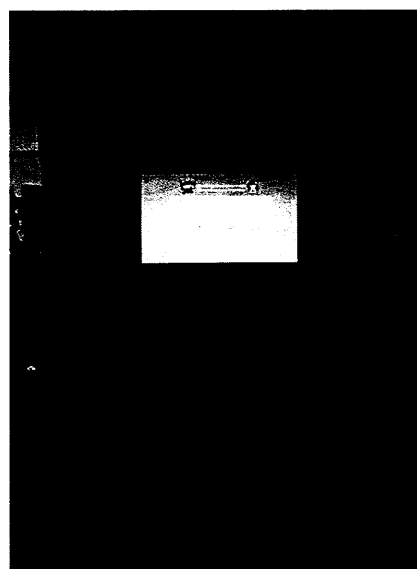
6. デジタルデータの活用

総合展示室（5台）に設置された情報提供システムと同様のものが1台設置されている。総合展示室のものと異なる主な点として、収蔵品・関係施設を検索しやすいキーワード検索機能を備えている（同プレイミュージアム）。

今年度のアクセス数は、総合展示室20,820件、プレイミュージアム3,718件、当センターでは855件であった。



マイクロリーダープリンター



デジタルデータ活用
※タッチパネル式

表11 平成29年度情報資料センター利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数(人)	437	554	443	720	947	338	637	704	280	—	—	20	5,080
相談質問(件)	20	62	35	29	71	40	48	62	30	10	9	15	431
外線問合せ(件)	329	363	542	597	605	323	429	399	218	124	190	220	4,339
映像利用	利用数	0	0	0	0	0	1	1	0	—	—	0	2
	利用者	0	0	0	0	0	1	2	0	—	—	0	3
図書複写利用	利用(件)	37	36	51	56	97	50	47	55	32	—	3	464
	複写(枚)	240	454	723	439	1,239	600	439	628	327	—	11	5,100
マイクロフィルム利用	利用(件)	2	2	2	1	4	3	5	1	0	—	0	20
	複写(枚)	11	237	19	389	112	94	113	63	0	—	0	1,038
画像提供装置利用者数(情報資料センター調べ)	44	17	13	42	36	40	28	26	6	—	—	0	252
収蔵資料検索アクセス数	90	89	76	100	185	72	96	86	61	—	—	0	855

※ 平成29年12月28日～平成30年3月30日まで館内設備改修工事のため休館（外線問合せは継続）

学校教育との連携

1. 学校の博物館利用状況

表12から分かるように、平成29年度の学校の博物館の総利用状況は509件・12,492人（前年度比件数19件減・1342人減）であった。平成29年度は館内工事による臨時休館（平成29年12月28日から平成30年3月30日まで）があり、開館期間が通常より約3か月短いことは前年度と同様であるが、利用件数、来館人数ともに、前年度より若干減少した。

市内学校の利用状況は117件・3,989人（前年度比6件減・975人減）であった。市内の小学校の来館件数は年間を通して45件であり、市内公立小学校（124校）の約36%にあたる。市内の中学校の来館件数は年間を通して11件であり、市内公立中学校（66校）の約16%にあたる。平成27年12月の仙台市地下鉄東西線の開業により、交通手段として地下鉄を利用する場合も増えてきており、今後も市内の小・中学校の学習利用を更に促進していきたい。

市外学校の来館件数は392件・8,503人（前年度比13件減・367人減）であった。特に4月から6月にかけて隣県の小・中学校の利用が多い。

博物館来館時の学習形態を見ると、児童・生徒がグループごとに学習計画を立て、各施設等を見学する学習形態が多い。仙台市内の小・中学校では、社会科や総合的な学習の時間に位置づけ、グループでの利用ではなく児童・生徒がまとまって入館し、博

物館の学習プログラム（講話、体験等）を利用する学校も少なくない。

表13 来館児童生徒数

	H27	H28	H29
小学校	6,063	5,229	4,814
中学校	5,443	5,982	5,722
高校・大学等	2,056	2,623	1,956
合計者数	13,562	13,834	12,492

平成29年度 学校における博物館利用状況

表14 概況（上段：平成29年度 下段：平成28年度）

利用数	内 訳		件 数		人 数	
	市 内	市 外				
利用数	市 内		117		3,989	
			123		4,964	
	市 外		392		8,503	
学習形態数	合 計		509		12,492	
			528		13,834	
	一 斉		170			
学習形態数	グ ル ー プ		174			
			339			
			354			
	合 計		509			
			528			
利用目的数	常 設 展		250		4,783	
			353		7,645	
	企 画 展		178		5,029	
			54		1,908	
	特 別 展		87		2,680	
利用目的数	合 計		515		12,492	
			568		13,834	

※ 複数の利用目的があった学校があるため、「利用件数」計と「利用目的件数」計は一致しない。

表12 月別状況（上段：平成29年度 下段：平成28年度）

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合 計					
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数		
仙台市内	小		4	261	4	278	5	268	2	103	0	0	3	76	8	298	12	639	7	357	0	0	0	0	0	0	0	0	45	2,280
	中		5	401	5	300	2	133	3	213	0	0	7	322	7	389	8	484	8	470	0	0	0	0	0	0	0	0	45	2,712
	高		0	0	3	63	0	0	2	126	0	0	0	0	1	7	4	169	1	21	0	0	0	0	0	0	0	0	11	386
	大		0	0	1	42	1	33	2	19	0	0	3	31	1	7	9	341	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	18	480
	他		0	0	3	61	0	0	8	141	1	27	2	19	1	18	1	101	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	367
	小計		1	37	8	345	5	162	1	10	0	0	0	1	7	2	39	2	61	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	661
	大		2	109	5	102	6	85	3	42	0	0	2	36	4	151	6	198	3	71	0	0	0	0	0	0	0	0	31	794
	他		2	77	9	196	6	121	1	16	0	0	1	6	4	151	3	67	4	92	0	0	0	0	0	0	0	0	30	726
	小計		1	21	1	1	0	0	2	20	2	40	3	40	1	1	3	28	1	11	0	0	0	0	0	0	0	0	14	162
	他		0	0	2	169	2	21	0	0	1	9	1	33	3	151	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
小計		7	391	16	505	11	353	17	432	3	67	10	171	15	475	26	1,135	12	460	0	0	0	0	0	0	0	0	117	3,989	
小計		8	515	25	1,052	16	470	7	258	1	9	12	392	16	705	23	933	15	630	0	0	0	0	0	0	0	0	123	4,964	
小		3	38	15	146	102	1,262	6	138	2	18	24	380	7	123	7	412	1	17	0	0	0	0	0	0	0	0	167	2,534	
中		4	88	17	155	106	1,497	9	100	1	6	26	315	8	106	7	250	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	178	2,517	
高		54	1,493	81	2,338	14	775	10	196	1	25	15	253	5	80	12	176	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	192	5,336	
大		55	1,700	87	2,392	8	222	12	301	5	179	16	408	12	153	5	124	1	23	0	0	0	0	0	0	0	0	201	5,502	
他		1	6	0	0	2	17	0	0	8	208	1	37	5	129	3	41	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	438	
小計		1	262	2	66	2	21	0	7	1	7	1	48	4	218	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	629	
大		0	0	1	55	1	21	0	0	0	0	1	16	0	0	1	15	1	8	0	0	0	0	0	0	0	0	5	115	
他		0	0	0	0	0	0	0	0	3	31	4	77	1	14	1	51	1	10	0	0	0	0	0	0	0	0	10	183	
小計		0	0	1	12	0	0	1	8	2	32	2	6	0	0	1	6	1	16	0	0	0	0	0	0	0	0	8	80	
他		0	0	0	0	2	19	2	18	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	39	
小計		58	1,537	98	2,551	119	2,075	17	342	13	283	43	692	17	332	24	650	3	41	0	0	0	0	0	0	0	0	392	8,503	
小計		60	2,050	106	2,613	118	1,759	23	426	10	223	48	850	25	491	13	425	2	33	0	0	0	0	0	0	0	0	405	8,870	
合計		65	1,928	114	3,056	130	2,428	34	774	16	350	53	863	32	807	50	1,785	15	501	0	0	0	0	0	0	0	0	509	12,492	
合計		68	2,565	131	3,665	134	2,229	30	684	11	232	60	1,242	41	1,196	36	1,358	17	663	0	0	0	0	0	0	0	0	528	13,834	

※1 館内工事により平成28年12月28日～平成29年3月31日までと平成29年12月28日～平成30年3月30日までの期間は休館。
 ※2 人数は、園児・児童・生徒・学生の数である。（引率者の数は除外してある。）
 ※3 仙台市内は、入館料減免（事前申込）による来館者数及び当日来館者（どこでもパスポート利用含む）数から作成した。
 ※4 仙台市外は、来館者数（当日申込含）から作成した。
 ※5 大学と高等専門学校は、平成27年度まで「他」の枠組みで集計していたが、平成28年度より「大学等」の枠を設けて別に集計を行った。
 ※6 他は、小中一貫校、幼稚園、特別支援学校、院内学級、児童相談所、社のひろば、放課後等デイサービス事業所等とした。

2. 学校向け広報

学校による博物館活用の機会を広げるため、博物館のホームページに「学校の先生方へ」という項目を設け、展示見学、職場訪問、貸出教材リスト、出前授業、教員向け研修などの最新情報を提供している。各種申込用紙のダウンロードも可能である。

また、教員が新年度の学習計画や研修計画を立てる際の参考資料になるよう、学校向けプログラムの紹介や館内の行事日程などを掲載したリーフレットを、宮城県内の各学校に送付している。

3. 学校教員対象講座

(1) ミュージアムセミナー

特別展と企画展毎に県内の教員を対象に行うセミナーで、授業作りや博物館学習に役立ててもらうことを目的としている。学芸員が展示の見所を解説した後、展示室の自由観覧とした。教員対象のセミナーであるが、平成26年度から博物館ボランティアの参加も可能としている。

・企画展

「伊達な優品勢ぞろい Part II」 参加者：26人
日 時：平成29年4月29日（土）10：00～11：30

・特別展

「空海と高野山の至宝」 参加者：68人
日 時：平成29年7月8日（土）10：00～11：30

・特別展

「伊達政宗 - 生誕450年記念」 参加者：67人
日 時：平成29年10月14日（土）10：00～11：30

(2) 博物館活用研修会

日 時：平成29年8月3日（木）9：45～16：30
参加者：教職員46人

社会科、図工・美術科を中心とした博物館学習に関する講話、「ミニするめてんばたをつくろう」の体験、博物館活用のヒントになるような研修の場を提供した。

また、学芸員による特別展の解説を行い、博物館見学への意識付けを図った。今回は「空海と高野山の至宝」の後期展示開始のタイミングと重なったこともあり、後期の展示について解説を聞きたいと多くの参加者が集まった。

(3) 学校・各種教育機関との連携研修

以下のように学校や教育機関と連携し、研修会を開催した。主に博物館指導主事、学芸員が講師となり講座や体験実習を行った。各研修会の事後アンケートからは、博物館を利用した学習プログラムや貸出教材を活用した授業づくりに対する関心の高まりが見られた。学校教育における博物館の活用を促す機会として、今後も充実させていきたい。

・市小学校教育研究会社会科部会

（於：仙台市立長命ヶ丘小学校）

日 時：平成29年6月14日（水）14：40～15：40

内 容：講話「お手軽博物館利用術」

参加者：市内小学校教育教諭約60人

・社会教育施設連携研修

日 時：平成29年6月28日（水）15：00～16：30

平成29年8月2日（水）9：30～16：30

内 容：1日目 オリエンテーション

2日目 博物館の活用について

参加者：市内小・中学校教諭19人

・仙台市教育センター 社会科研修

日 時：平成29年9月14日（木）13：00～17：00

内 容：講話「博物館を活用した学習」他

参加者：市内小・中学校教諭など111人

・県中学校社会科研修会

（於：県総合教育センター）

日 時：平成29年10月12日（木）9：50～16：00

内 容：講話「地域資料の活用法と展開例」

参加者：県内中学校教諭14人

4. 展示見学におけるボランティアとの連携

常設展示室で児童生徒から出される質問や資料解説について、ボランティアが主に対応した。特にスタディシートを利用しながら、分からないところをボランティアに質問するという利用の仕方が多く見られた。見学の際にボランティアの対応で、疑問を解決することができている。

5. 職場体験

キャリア教育の浸透にともない、職場訪問や学芸員の仕事に関する問合せが増加している。今年度は中学校の職場体験を5校、17人を受け入れた。いずれも歴史資料の取扱い体験、館内学習の補助、接客対応等、3日間の体験プログラムを通して博物館の仕事について学んだ。他に県内外の小・中学生の来館時に、職業に関する質問等に随時対応した。

6. 博物館教材の貸出

平成29年度の博物館教材の貸出件数は、12件(29点)であった。最も件数の多かった貸出教材「楽山公行列図巻」(6件)で、他には縄文土器や石包丁の複製、「支倉常長像」のパネル等の貸出があった。

7. 館内講師・館外講師派遣

学校や市民センター、一般団体からの要望に応じて館職員が館内外で講話を行っている。中でも児童・生徒が博物館を見学する際には、より楽しく見学できるように、「学習プログラム」を利用してほしいと考えている。

館内講師については、特に小・中学校で、社会科プログラム「伊達政宗と仙台」の利用が多い。特に平成29年度は伊達政宗生誕450年に関連させて、特別展の展示資料の紹介や解説も取り入れたことで、学校への特別展解説の件数が増えている。

大学からの依頼では、特別展・企画展の展示解説のほか、文化財保護や博物館の概要や活用といった内容の希望が多い。

また図工・美術科の体験プログラムを利用する学校としては小学校が多く、特別支援学校や福祉施設等の利用も増えてきている。「土人形って何だろう」では、絵付けを楽しんだ後に、展示室で埴人形などの表情をじっくり見学する様子が見られた。

館外講師については、件数は少ないが主に小学校で出前授業を行った。図工・美術科プログラムの「もんきりがたで遊ぼう」では、学年を問わず手軽に体験できることから、好評を得ている。

表15 学習プログラム一覧

	プログラム名	内容
社会科	伊達政宗と仙台	伊達政宗の生涯をたどり、まちづくりの特徴を学ぶ
	慶長遣欧使節と支倉常長	慶長遣欧使節の目的や支倉常長の功績について学ぶ
	仙台藩の参勤交代を調べよう	オリジナル教材を使い、参勤交代の様子について学ぶ
	政宗のよろいを調べよう	体験用よろいを使い、よろいの材質や構造について学ぶ
図工・美術科	もんきりがたで遊ぼう	江戸時代から伝わる型を使った切り紙を体験する
	ミニするめてんばたをつくろう	凧作りをとおして仙台地方に伝わる凧の由来について学ぶ
	土人形って何だろう	絵付けをとおして埴人形の歴史や特徴を学ぶ
	ようこそ屏風絵の世界へ	鑑賞をとおして屏風の歴史や構造を学ぶ

表16は、当館で受理された「講師派遣依頼(館内・館外)」の中から、学校関係を選び作成した講師派遣状況である。(学校関係以外への対応は、「講座・イベント」の頁を参照)

表16 講師派遣一覧(学校関係)

講師派遣(館内・館外)	件数※	対象人数※
館内講師	74件	3,077人
(内訳)○特別展・企画展の解説	23件	1,255人
○社会科プログラム	40件	1,844人
○図工・美術科プログラム	19件	547人
○その他の講話・講義	12件	384人
館外講師	6件	673人
(内訳)○小学校(出前授業)	5件	573人
○中学校(出前授業)	1件	100人
合計	80件	3,750人

※1校で複数のプログラムを行うことがあるため、館内講師件数の総数、対象人数の総数と、それぞれの内訳の合計は一致しない。

8. 博物館実習

学芸員資格取得を目指す学生を対象に、実習生の受け入れをしている。平成29年度は18人の実習生を受け入れた。実習日程については2グループに分け、前期、後期それぞれ5日間（合同実習1日、グループ別実習4日）で、歴史・美術に関する講話及び実技を中心に実習した。

合同実習 平成29年8月10日(木)9:00~16:00

前期実習 平成29年8月16日(水)~19日(土)

後期実習 8月23日(水)~26日(土)

※前期、後期ともに時間は9:00から16:00まで。

9. キャンパスメンバーズ制度

平成25年4月1日から開始したキャンパスメンバーズ制度の加入校は、平成29年度3月現在で18校となった。キャンパスメンバーズ加入校との連携事業としては、今年度で3年目となる館内イベントへの学生サポーターの活用のほか、東北福祉大学と行っている、教員免許の取得を目指す大学生を対象とした博物館活用研修や、昨年度から開始した東北工業大学とのまちなか博物館講座（詳しくは「講座・イベント」の頁を参照）がある。今後も加入校と話し合いながら更に連携を深めていきたい。

・博物館活用研修（大学生対象）

日時：平成29年10月4日（水）10:30~13:40

対象：東北福祉大学 教育学部教育学科

リエゾンゼミ42人

内容：講話「社会科における博物館の活用」

講話「ワークシートの作り方」など

平成29年度 加入校一覧（五十音順）

尚絅学院大学／聖和学園短期大学／仙台高等専門学校／仙台白百合女子大学／仙台青葉学院短期大学／東北医科薬科大学／東北学院大学／東北工業大学／東北生活文化大学／東北生活文化大学短期大学部／東北大学／東北福祉大学／東北文化学園専門学校／東北文化学園大学／放送大学 宮城学習センター／宮城学院女子大学／宮城教育大学／宮城大学

生涯学習施設との連携

SMMA（仙台・宮城ミュージアムアライアンス）

SMMAは、仙台・宮城地域における豊かな学習環境を整備し、人々の知的活動の活性化及び地域づくりに資するため、仙台・宮城地域の多様な館種の博物館施設が集合し、大学機関や図書館などと連携してネットワークを形成することにより、知的資源や人材の相互活用とそれぞれが持つ機能の融合を図り、博物館機能の高度化と地域を活性化させる新たな知の集積の形成を目的として平成21年度に設立された。事務局がせんだいメディアテークに置かれている。

参加機関

社会福祉法人共生福祉会 福島美術館／仙台市科学館／仙台うみの杜水族館／せんだい3.11メモリアル交流館／仙台市縄文の森広場／仙台市天文台／仙台市富沢遺跡保存館／仙台市博物館／仙台市八木山動物公園／仙台市歴史民俗資料館／仙台文学館／せんだいメディアテーク／東北学院大学博物館／東北大学総合学術博物館／東北福祉大学富沢銈介美術工芸館／東北福祉大学・鉄道交流ステーション／仙台市教育委員会（生涯学習部）

1. ミュージアムユニバース～すてき・ふしぎ・おもしろい～

開催日時：平成29年12月15日(金)19:00~20:30

16日(土)10:00~17:00

17日(日)10:00~16:00

参加者数：2,389名（3日間）

会場：せんだいメディアテーク1階オープンスクエア

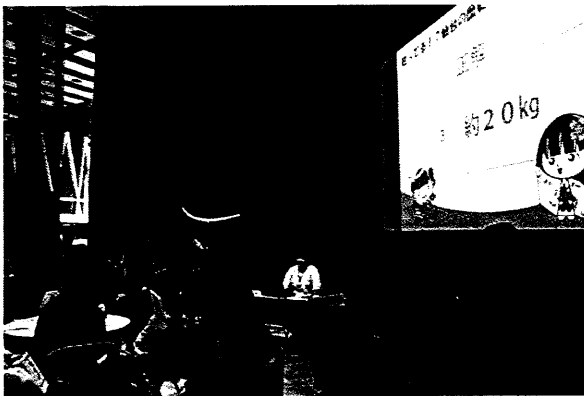
ミュージアムの魅力や新しい楽しみ方を伝え、体感してもらうことを目的に、SMMA参加館が一堂に集まり実施したイベント。参加館の職員によるトークやクイズを行う「トークとイベントの広場」、ものづくりや実演などによって味わうことができる「体験の広場」、ミュージアムを楽しむための情報が集まった「展示の広場」、各館のオリジナルグッズを集めた「ミュージアムグッズショップ」を展開した。

「トークとイベントの広場」では、歴ネット（仙台歴史ミュージアムネットワーク）と博物館の共同企画によるクイズ「知ってる!? 仙台の歴史」を実

施した。博物館を含む歴ネット各施設の職員が、施設や展示に関するクイズを出題し、仙台の歴史についてクイズを織り交ぜながら紹介した。

SMMA企画の「ミュゼバトル4～私のイチ押しミュージアムはコレよ！～」では、博物館学芸員が他館学芸員と共に、世界中の様々な博物館の中からおすすめの博物館を紹介し合った。

また、「展示の広場」では、伊達政宗についての基礎知識を紹介するパネル展示を行ったほか、政宗の兜をかぶる体験コーナーを設けた。



クイズ「知ってる!?仙台の歴史」

2. SMMA各館の交流

SMMA参加館の職員を対象とした研修会は、ミュージアムの分野を超えて日常業務の中で同じような悩みや課題を抱える職員のために、意見・情報交換、ワークショップ、外部講師を招いて講習会等を実施するものである。

平成28年度に引き続き29年度も博物館がSMMAの研修・交流企画部会の担当となり、SMMA各館からの研修・交流等についての要望を受けて実施した。

・第1回SMMA研修会

日時：平成30年2月7日（水）14：00～16：30

会場：仙台市博物館

内容：「襖と屏風の構造を知ろう」

講師：般若堂 小林嵩氏・小林倫明氏・安達清氏

参加者：32名

・第2回SMMA研修会

日時：平成30年3月10日（土）14：30～17：00

会場：仙台市科学館

内容：「こども向けイベントの手法について」

参加者：16名

この他、実行委員会、幹事会、運営会議や交流会を通して、SMMAの運営について協議するとともに、各館の情報交換を行った。

仙台歴史ミュージアムネットワーク

仙台の歴史や文化についての幅広い関心に応えるため、市内8つの歴史・文化施設が連携して平成21年度に結成した。歴ネットと略称。事務局は当館に置かれている。

参加施設

- ・地底の森ミュージアム
- ・仙台市縄文の森広場
- ・仙台市博物館
- ・仙台城見聞館
- ・瑞鳳殿
- ・仙台市歴史民俗資料館
- ・仙台文学館
- ・仙台市戦災復興記念館

1 連携事業の実施

(1) 歴ネットクイズラリー

※SMMAクロスイベントとして実施

平成29年9月1日から平成29年12月27日まで開催した。各館のオリジナルクイズに答え各館を巡り、参加者が各館を回遊しながら仙台の歴史・文化を学ぶことができる。今年度は福島美術館も参加して9館で実施。また、全館達成者プレゼントのひとつとしてオリジナル缶バッジを作製した。参加者にとってクイズラリーは、他施設を巡るきっかけとなっている。また、クイズの解答を考える際に、展示物を深く観察したり、親子で話し合ったり、クイズを楽しんでいる様子が見られた。

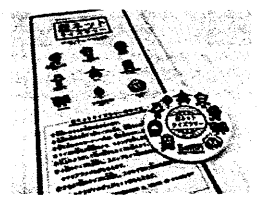
期間：平成29年9月1日

～平成29年12月27日

台紙配布数：9,060枚

4館達成者：131人

全館達成者：30人



スタンプ台紙と缶バッジ

(2) SMMAミュージアムユニバースへの参加

平成27年度からこのイベントに歴ネットとして参加している。平成29年度は「トークとイベントの広場」とミュージアムインフォメーションに参加し、特に、クイズ&トーク「知ってる!?仙台の歴史」は、親子での参加者が多く、賑やかで楽しいものになった。イベントを通じて、ミュージアムへの親しみを持ってもらえることができたと思われる。

(3) 仙台の伝統門松復元事業

※SMMAクロスイベントとして実施

かつて、仙台やその周辺で飾られていた仙台の伝統的な門松を泉区根白石で昔ながらの門松を受け継いでいる旧家の方の協力を得て再現、展示した。博物館は休館中のため、片平丁小学校に樹脂製レプリカを貸出して展示。伝統門松の展示は市民に仙台の伝統や歴史に触れてもらう機会となった。平成28年度に引き続き、門松に取り付けるしめ縄を担当者が中心となって作成した。

展示期間：平成29年11月18日～平成30年4月15日

※各施設で展示期間を設定

展示会場：地底の森ミュージアム／仙台市縄文の森
広場／瑞鳳殿／仙台市歴史民俗資料館／
仙台文学館／仙台市戦災復興記念館

研 修

日 時：平成29年11月29日（水）13：30～16：30

会 場：仙台市縄文の森広場 活動室及び工房

内 容：「しめ縄作り」

参加者：歴ネット職員、SMMA事務局職員、
生涯学習課職員



研修「しめ縄作り」

2. 広報・その他

(1) 歴ネット会議

平成29年度は5回の会議を設け、連携事業についての検討や情報交換を行った。

(2) 歴ネットシートの作成・配布

参加8館が統一規格のシートを用いて、各館ごとに仙台の歴史や文化について紹介した。

・平成29年度参加8館によるシート配布総数
：約86,278枚

※仙台市博物館分・7種作成 約32,000枚配付

(3) 連携事業の広報

連携事業についてはチラシを作成し、各館で配布した。また、SMMAウェブサイト「見験楽学」にて、情報発信を行った。

また、SMMA専用パンフレットラックを活用し、SMMAおよびSMMA参加館の活動を広く周知し、相互の広報に役立てた。

広報

博物館で随時開催する展覧会やイベントなどの各種行事に来館・参加いただくためには、周知・広報業務も重要であり、博物館の普及活動の一環として位置づけられている。

広報にも様々な方法・媒体があり、どの媒体をどのように使うか個別に判断・選択が必要となるが、基本としては以下のような広報活動を行っている。また、最近は学校を通じての児童・生徒への広報活動にも力を入れているが、このことについては別項「学校教育との連携」を参照されたい。

そのほか展覧会や市史講座など、内容によっては定例的な広報手段のほかにも単発で取材依頼や個別発送なども行った。

また、平成27年12月から開始した「仙台市博物館ツイッター」の運用も継続して行っており、館ホームページとSNSの両面からインターネット上の広報を実施している。

平成29年は伊達政宗生誕450年の記念の年であることから、年間を通じて伊達政宗に関する情報や、当館開催の記念特別展の広報を積極的に行った。その結果、政宗に関するテレビ取材や雑誌等、メディアで取り上げられる機会が増加した。

なお、伊達政宗生誕450年に関する広報については、別章「6. 伊達政宗生誕450年記念事業」においても個別事例を挙げて記載している。

1. 広報用印刷物

最も基本的な広報資料として、以下2種類の印刷物を発行・配布した。PDFファイルによるホームページへの掲載も継続し、いつでもどこからでも自由に閲覧できるようにしている。

- (1) 博物館だより(隔月発行) No.180~184
225×420mm 四つ折り 観音開き
各15,000部発行
- (2) 展覧会案内(平成30年度版)
225×420mm 四つ折り 観音開き
80,000部発行



広報用印刷物(博物館だより・展覧会案内)

2. 広報資料発送及び記事校正依頼への対応

マスコミをはじめとする広報関係機関への情報提供として、上記広報用印刷物やイベントのチラシ、概要資料などの広報資料を定期的に送付している。今年度は、マスコミ各社(テレビ局、ラジオ局、新聞社、雑誌・フリーペーパー等出版社など)約130社あてに発送した。

また、個別に送付される掲載依頼やイベント情報などに関する照会・回答などにはその都度対応しているほか、実際に掲載される原稿に誤りがないかの校正依頼や広報用の写真貸出などもあり、29年度は約220件となった。

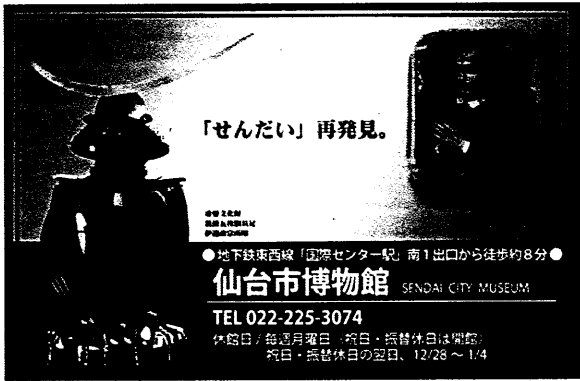
件数の増加は、雑誌等において伊達政宗生誕450年記念関係の記事が多く取り上げられたためと考えられる。

3. 「国際センター」への広告掲出について

平成27年の仙台市地下鉄東西線開業により、JR仙台駅から博物館へのアクセス手段が地下鉄東西線中心となったため、東西線の開業時より当館の最寄駅である「国際センター駅」ホーム内に電照広告を掲出している。

駅の近隣施設である国際センターでは、学会等大規模な催しが頻繁に開催されていること、同じく近隣の青葉山交流広場や東北大学でも東西線の開通により多くの催しが行われているため、それらの利用者へのPR手段として、継続して掲出を行っている。

また、同駅内「インフォメーションコーナー」においても、コーナー管理者の協力を得て、展覧会チラシ・ポスター設置に加え、デジタルサイネージによる広告掲出を行っている。



地下鉄東西線「国際センター駅」内電照広告

のこぼれ話などもツイートすることで博物館により興味をもってもらうためのPRを行っている。

フォロワー数は、29年度末時点で約2,600人となっている。特別展「伊達政宗一生誕450年記念」の開催告知等の影響もあり、平成28年度末から約900人増加した。特別展の終了後も、期間限定で展示される資料の広報等を積極的に行うなど、継続的なフォロワー獲得に努めてきた。

今後も、利用者の興味関心に訴える情報や、発信の方法を検討しながらインターネット上での広報に力を入れていきたい。

4. インターネット広報

(1) ホームページ

博物館ホームページは、博物館案内や展覧会・イベント情報、英語による博物館情報（展覧会案内含む）などのほか、主な収蔵品50件の情報を閲覧できるコーナーや伊達政宗・支倉常長コーナー、調べ学習にも活用できるキッズコーナーなどを充実させている。

そのほか、常設展見学をより楽しむための情報を集めた「常設展を楽しむために」、学校の流れや手続き・博物館学習のプログラムなどを取り上げた「学校の先生方へ」などのコーナーもあり、見学をより充実したものとしていただくための情報提供にも努めている。

ホームページの情報更新は毎月5回を目安に随時行っており、平成29年度の当館ホームページのトップページのアクセス数は、267,638件であった。

(なお、仙台市ホームページのリニューアルによりアクセス数のカウント方法が変更となったため、平成28年度以降はトップページへのアクセス数を指標としている。)

特別展・企画展会期中は例年どおりアクセス数が増加し、展覧会広報におけるインターネット上の情報提供が求められている。

(2) ツイッター

平成27年12月5日から運用を開始した「仙台市博物館公式ツイッター」では、SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）の特徴である即時性・拡散性を活かし、特別展の混雑状況やイベント募集情報等を発信するほか、歴史や伊達政宗等に関心の高いフォロワーが多いため、展示中の資料紹介や歴史



博物館ホームページ

刊行物・グッズ等

平成29年度は、下記のとおり5種の刊行物を発行した。(市史活用推進事業で作成された刊行物については、「5. 市史活用推進事業」参照)

伊達政宗生誕450年記念事業の一つとして、伊達政宗の功績や成し遂げた事業を広く市民、特に子どもたちに理解してもらい、地域への関心を高めることを目的に、「よくわかる!伊達政宗」を作成した。

オリジナルグッズもこれまで同様大変好評をいただき、29年度は、伊達政宗生誕450年にちなみ、オリジナルシールNo.1(伊達政宗)の追加製作を行った。その際解説をリニューアルし、英文を補って増刷した。

1. 刊行物

- (1) 「仙台市博物館年報」第44号
平成29年6月30日発行 A4判 96頁
500部発行
- (2) 「仙台市博物館調査研究報告」第38号
平成30年3月27日発行 B5判 101頁
700部発行
- (3) 特別展図録「空海と高野山の至宝」
平成29年7月1日発行 B5判 184頁
※特別展実行委員会で発行
- (4) 特別展図録「伊達政宗-生誕450年記念」
平成29年10月7日発行 A4判 240頁
4,000部発行
- (5) よくわかる!伊達政宗
平成29年7月1日発行 A4判 18頁
22,000部発行

仙台市博物館年報
第44号

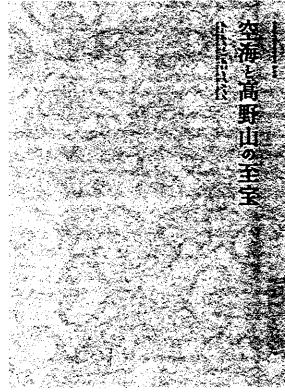
平成29年度

年報

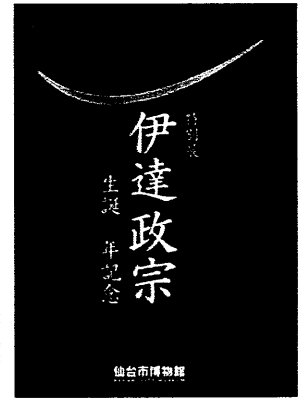
仙台市博物館調査研究報告
第38号

平成30年度

調査研究報告



特別展図録
「空海と高野山の至宝」



特別展図録
「伊達政宗一生誕450年記念」

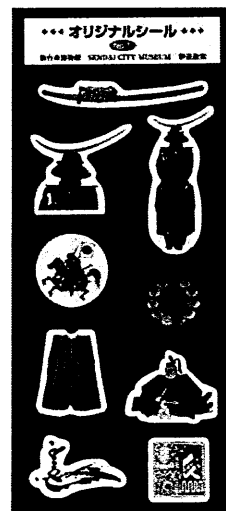


「よくわかる!伊達政宗」

2. オリジナルグッズ

平成29年度追加製作は以下のとおり。

- (1) オリジナルシールNo.1 伊達政宗 (250円)



オリジナルシールNo.1

4. 調査・研究

平成29年度『仙台市博物館調査研究報告』38号には、以下の論文を掲載した。(掲載順)

秋田蘭画再考—実景との関わりを中心に—

内山 淳一

秋田蘭画を主導した秋田藩士小野田直武は『解体新書』の挿図等、諸作品の画家として著名だが、秋田蘭画の画家としての活躍期は驚くほど短い。これまでの研究により、直武が制作した風景画の一部は実景にもとづくことが指摘されているが、少数を除き、描かれた景観が本画に活かされた例は報告されていない。また、秋田藩主佐竹曙山の作品群にも同様の例は認められていない。そこで本稿では、直武と曙山の作例から、実景を導入した可能性とその制作背景について考察した。

仙台藩の贈答—江戸中・後期を中心に—

菅原 美咲

仙台藩では、年中行事や儀礼・行事において、幕府に様々な物を献上しているが、献上物の特徴や内容、献上先など、明らかにすべき課題が多い。そこで、本稿では仙台藩が通例的に幕府へ献上していたものに重点をおきながら、江戸中・後期の仙台藩の贈答について、対幕府との関係を中心に幕藩関係の一端を検討した。

伊達政宗関係文書にみえる切封の折紙書状について

明石 治郎

切封の折紙書状とは、見返しの奥が表に出るよう折りに畳み、料紙の端の折り目から切り込みを入れて紐を作り、紐を巻いてから上書きを記すものである。仙台市博物館には100点を超える切封の折紙書状の伊達政宗関係文書が存在する。本稿では、それらを一覧によって紹介するとともに、見解を述べる。

資料紹介

戦国期伊達氏関連未紹介資料

菅野 正道

仙台市史編さんに関わる資料調査の中で、戦国期の伊達氏に関する資料に遭遇することがある。そのほとんどは自治体史などで、すでに紹介されたものが多いが、新たに発見される場合もあった。また、仙台市博物館で所蔵している資料の中にも、展示では用いられたが活字化されていない戦国期の文書が若干存在する。本稿では、これらの文書21点を紹介する。

◇平成30年度研究テーマ◇

平成30年度の仙台市博物館学芸員の研究テーマは以下のとおりである。

近世の伊達家と仙台藩の研究	菅原 美咲
中世・近世の庶民信仰美術の研究	寺澤 慎吾
近世・近代の都市仙台の研究	水野 沙織
古代中世東北史および近世前期の伊達家・仙台藩の研究	佐々木 徹
日本中近世絵画史の研究	樋口 智之
中世・近世の絵画および東北の工芸について	小田嶋なつみ
中世・近世の領主権力の研究	黒田 風花
社会科における博物館の活用について	片寄 角洋
博物館におけるものづくり体験について	齋藤 大祐

表17 仙台市博物館調査研究報告書一覧

	所 収 タ イ ト ル	執 筆 者	発行年・頒価等
No.1	仙台における明治20年代の自由民権思想－雑誌「通信演説」と「東北評論」から－ 仙台北丸の障壁画をめぐって 大槻磐溪書翰集について 伊達政宗の印章・印影について 博物館を市民のものとするために	佐藤憲一 濱田直嗣 鶴飼幸子 嘉藤美代子 佐藤泰	昭和56年3月 完売
No.2	養賢堂の学制改革について－桜田欽斎、志村篤治の反論を中心に－ 仙台の書肆について－西村治郎兵衛、西村治右衛門、伊勢屋半右衛門、伊勢屋安右衛門－ 伊達家旧蔵の印章について (史料紹介)宮城県の自由民権運動に関する新史料 名取市熊野神社蔵 木造狛犬調査報告	鶴飼幸子 小井川百合子 嘉藤美代子 佐藤憲一 佐藤泰	昭和57年3月 完売
No.3	角懸鹿谷の美術 正保年間製作「奥州仙台領絵図」について 大槻俊斎の書状について 伊達家旧蔵の印章について・補遺	濱田直嗣 佐藤憲一 鶴飼幸子 嘉藤美代子	昭和58年3月 完売
No.4	仙台藩寛永期検地帳について－「伊具郡東根之内小斎村御検地帳」の分析－ 堤人形と信仰－照徳寺内地蔵堂の例－ 伊達政宗・伊達忠宗所用宛の銘について 旧支倉家関係資料について	鶴飼幸子 小井川百合子 嘉藤美代子 濱田直嗣	昭和59年3月 完売
No.5	仙台市博物館蔵ブルーノ・タウト指導照明器具4点の復元研究報告ならびに修理報告	庄子晃子・ 鈴木治平	昭和60年3月 完売
No.6	仙台北館および周辺建築復元考	佐藤巧	昭和61年3月(平成10年3月増刷) 完売
No.7	円山応挙試論 伊達の黒箱文書について もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(一) 善応寺横穴墓群、法領塚古墳出土鉄・銅製品整理報告	内山淳一 鶴飼幸子 小井川百合子 田中則和	昭和62年3月 完売
No.8	ローマ、ボルゲーゼ宮「支倉常長」像の作者について 江戸時代における古瓦の認識－宮城県域を中心に－ 「支倉常長追放文書」の年代について 菅野壽雄氏寄贈資料について－染織資料を中心に－ もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(二)	田中英道 佐々木和博 佐藤憲一 嘉藤美代子 小井川百合子	昭和63年3月 完売
No.9	新博物館への一考察－反省と展望－ 学校教育における博物館利用学習 もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(三) 仙台藩関係の婚礼調度について 慈光明院蔵 種子華鬘について 柴田町金谷貝塚出土の權状木製品 支倉常長の法王使節団に関する諸問題 伊達政宗の「鉛筆」調査報告 I～V	佐藤泰 佐藤佳彦 小井川百合子 嘉藤美代子 高橋あけみ 田中則和 P.コッラディーニ・ 芳野明 訳 内藤俊彦・西本 洋二・村山斌夫・ 小井川百合子	平成元年3月 完売
No.10	東北地方における山伏笈 「仙台領奥州街道絵図」の基礎的検討 白雲の研究－未紹介の真景帖を中心に－ もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(四) 館蔵考古資料の紹介 I トチの実を食す	高橋あけみ 佐々木和博 内山淳一 小井川百合子 結城慎一 結城慎一	平成2年3月 完売
No.11	「宗久・宗易道具書立」を含む伊達政宗伝授書群について もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(五) 館蔵考古資料の紹介 II－佐藤半兵衛コレクションに見る中国古銭－ 宮城県における古代火山灰の年代観について	高橋あけみ 小井川百合子 結城慎一 結城慎一	平成3年3月 1,870円
No.12	戦国期奥羽の在家をめぐって 伊達政宗と医事・医学－高屋家文書の紹介を兼ねて－ 朱黻漆糸素懸威具足・三宝荒神形兜付について もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(六) 画像情報提供装置の導入について 赤焼土器についての覚書－宮城県とその近県－ 仙台北丸跡出土漆器資料の製作技法	菅野正道 佐藤憲一 嘉藤美代子 小井川百合子 阿部秀夫 結城慎一 北野信彦	平成4年3月 完売
No.13	東洋におけるキリスト教伝道の歴史的証言－クイリナーレ宮殿のサーラ・レージアの肖像画について－ 宮城県大和町西風所在の五輪塔－支倉常成・常長との関わりの可能性－ 財団法人斎藤報恩会所蔵 「遠藤山城文書」について もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(七)	K.H.フィオーレ・ 小関史絵 訳 佐々木和博 明石治郎 小井川百合子	平成5年3月 完売

	所 収 タ イ ト ル	執 筆 者	発 行 年 ・ 頒 価 等
No.14	観瀾閣宝物目録について－仙台伊達家における什器保存の試み 孫太郎虫と仙台藩主－江戸後期博物趣味の一断面－ 東京国立博物館所蔵の「小袖図」（伊達家旧蔵）などについて 重要文化財・慶長遣欧使節関係資料のうちローマ市民権証書の修理 について 洋式帆船開成丸について	小井川百合子 内山淳一 嘉藤美代子 高橋あけみ 荒井聡	平成6年3月 完売
No.15	『伊達支族伝引証記』所収の石田文書 「支倉六右衛門遺物」と写真－明治時代前期の動向を中心に－ 観瀾閣宝物目録について(二)－仙台伊達家における什器保存の試み(補遺) 伊達政宗の母・義姫の出奔の時期について－新出の虎哉和尚の手紙から－ 『松島風土記』所載の「坪碑文図」－多賀城碑に関する新資料－ 仙台座『目論見書』について－芝居小屋経営の視点から－ 宮城県における岩版・土版について	菅野正道 濱田直嗣 小井川百合子 佐藤憲一 佐々木和博 佐藤理香 原河英二	平成7年3月 完売
No.16	「スタディ・シート」の十年－博物館ワーク・シートの構想と実践－ 観瀾閣宝物目録について(三)－仙台伊達家における什器保存の試み(補遺二) 「古川状」について 情報資料センターの展望と課題－10年目をむかえて－ 伊達政宗の使節団(1614年)	佐々木和博 小井川百合子 伊藤信 郷湖理香 J.C.R.フラード・ 今江克彦 訳	平成8年3月 2,460円
No.17	博物館の「利用」から「活用」へ－仙台市博物館での実践を通して－ 「宗久・宗易道具書立」を含む佐藤家本四冊について 天正十七年の伊達氏の正月行事－「茶湯客座亭座人数書」と「矢日記」 ・「玉日記」の再検討－ 宮城県蔵王町鍛冶沢遺跡出土の土偶について 宮城県仙台市青山二丁目B遺跡出土の石器について	布施勝久 高橋あけみ 菅野正道 相原淳一 原河英二	平成9年3月 完売
No.18	円爾弁円最晩年の頂相著賛について－我が国への頂相文化定着の一局面－ 仙台藩の小人について 文倉常長将来の刀剣に関する基礎的研究	樋口智之 齋藤潤 佐々木和博	平成10年3月 1,710円
No.19	伊達家の家紋に関する一考察－家紋の覚書と美術資料にみる伊達家の 家紋およびその変遷－ 資料紹介 戦国期伊達領における馬術・伯楽関係資料－館蔵の新資料から－ 資料紹介 仙台市博物館所蔵『年中行事絵巻模本』十八巻 中部バヌアツ・エファテ島東海岸における考古学的踏査	高橋あけみ 菅野正道 樋口智之 相原淳一・中野 拓大・磯目隆夫・ 篠遠喜彦	平成11年3月 完売
No.20	新収資料・国分家資料について 伊達家文書の形成過程(一) 朝鮮出兵時における伊達政宗の足跡をたどる－大韓民国倭城等調査報告－ 中国に「仙台」を訪ねて－仙台開府四百年記念特別展・中国調査の報告－ 近年における仙台市博物館の入館者動向－98・99年実施の面接調査お よびアンケート調査から－	齋藤潤 菅野正道 濱田直嗣・ 齋藤潤 樋口智之 相原淳一	平成12年3月 900円
No.21	百富士画をめぐる－江戸時代後期の風景趣味と絵画－ 「秀頼様御祝言御呉服之帳」・「万渡方帳」・「御物之帳」について 資料紹介 仙台市博物館所蔵の伊達氏古系図四種	内山淳一 高橋あけみ 羽下徳彦	平成13年3月 2,460円
No.22	仙台市内出土の陶磁器集成－近世－ 仙台市博物館における学校教育との連携－社会科・総合的な学習の時 間における博物館利用の報告－ 仙台市博物館におけるマルチメディア博物館実証実験について ローマ教皇パウロ5世宛伊達政宗ラテン語書状について－西洋古典文 献学の立場から－ 佐藤家本について(補遺)	佐藤洋 高倉祐一 荒井聡 石田啓 高橋あけみ	平成14年3月 1,260円
No.23	陸奥国分寺の不動明王・毘沙門天・十二神将 竹菱梅葵紋蒔絵女乗物について 調査報告 大崎八幡宮石の間天井画について 仙台市博物館における広報活動について 仙台市博物館利用者アンケート調査報告－平成12・13・14年度の調査から－	酒井昌一郎 高橋あけみ 樋口智之 佐藤美香 高倉祐一	平成15年3月 1,330円
No.24	仙台画壇の黎明期－寛政・文化期の画譜と書画会を中心に－ もう一つの伊達綱村茶会記「学憲茶湯志」	内山淳一 小井川百合子	平成16年3月 2,180円
No.25	絵師徳心・貞綱の肖像画制作について－瑞巖寺僧関係作品を中心に－ 伊達氏における印判状の成立 資料紹介 佐々木閑心覚書－伊達氏系譜の異伝資料－	樋口智之 菅野正道 羽下徳彦	平成17年3月 完売
No.26	ベネチア・佐賀・仙台に在る竹に雀雪薄紋桜折枝蒔絵三糊について－黒糊 (ベネチア東洋美術館蔵)・厨子糊(鍋島報効会蔵)・書糊(仙台市博物館蔵)－ 伊達家文書の形成過程(二) 資料紹介 文化三年御屏風本帳附渡帳 資料紹介 尚文館コレクションの「西洋式軍鼓」免許巻	高橋あけみ 菅野正道 樋口智之・ 齋藤潤 船渡崇	平成18年3月 完売

	所 取 タ イ ト ル	執 筆 者	発 行 年 ・ 頒 価 等
No.27	陸奥国分寺の仏像―主に表面仕上げに関するデータから― 仙台市博物館ボランティア「三の丸会」活動紹介―10周年を迎えて― 仙台市博物館友の会活動35年の総括と今後の課題	酒井昌一郎 高橋綾子 小井川百合子・ 大友まさ子	平成19年 3月 900円
No.28	支倉常長像の模写と写真―大泉光一氏「支倉常長像の加筆・改作」説 の検証を兼ねて― 柳宗悦と東北―昭和九年～昭和十五年― 資料紹介 御証文方御本牒手控―仙台藩における資料管理の一側面―	濱田直嗣 小井川百合子 齋藤潤	平成20年 3月 900円
No.29	1. 失われたみちのく図巻―谷元旦・大野文泉の東北地方写生図をめ ぐって― 2. 伊達政宗公三百年祭について	内山 淳一 水野 沙織	平成21年 3月 900円
No.30	1. 史料紹介「領内境日記」―伊達吉村の軍制整備との関係から― 2. 小田原参陣における伊達領の警固体制 3. 十八夜観世音堂立像に使用された木材の樹種 〈付論〉十八夜観世音堂菩薩立像の樹種同定結果を受けて	坂田美咲 菅野正道 大山幹成 星野安治 鈴木三男 酒井昌一郎	平成22年 3月 900円
No.31	1. 奥の正法寺と偽繪旨 2. 資料紹介「伊達の黒箱」文書について (一) 3. 新「スタディシート」の一年―その構成と活用方法を中心に― 4. 仙台市博物館リニューアルにおける情報提供システムの導入について	佐々木徹 坂田美咲 岩瀬利宏 押野良美	平成23年 3月 900円
No.32 ・ 33 合併号	1. 「御奥方格式」について―美術工芸的アプローチ― 2. 安政六年武市九郎三郎通達の蝦夷地警固日記 3. 「葦名鞠負戌辰記事」に関する一考察 4. 花嶽神社安置の不動明王二童子像について 5. 蔵王町下別当遺跡の「人面装飾土器」―特に著保内野遺跡出土国 宝「土偶」との比較から―	高橋あけみ 水野沙織 栗原伸一郎 酒井昌一郎 竹田幸司・安倍 千春・西脇対名 夫	平成25年 3月 1,200円
No.34	1. 屏風のなかの動物たち―伊藤若冲とその周辺作品をめぐって― 2. 資料紹介―「伊達の黒箱」文書について (二)― 3. 慶長遣欧使節をめぐる諸問題―大使支倉の名乗りと「震災復興派 遺説」について―	内山淳一 菅原美咲 佐々木徹	平成26年 3月 900円
No.35	1. 中尊寺蔵「平泉諸寺参詣曼荼羅」について 2. 登米市懐古館所蔵資料 伊達政宗筆 古歌「咲時ハ」(一幅)につ いて―その成立事情と伝来の経緯― 3. 史料紹介『成宗公御上洛之日記写』に関する一考察 4. 藤塚知明旧蔵の西洋奇図について (上)	寺澤慎吾 佐藤憲一 星川礼応 松田清	平成27年 3月 900円
No.36	1. 伊達家文書に遺る「小文の礼紙」についての調査報告 2. 「伊達家文書」所収「岩城親隆書状」の再検討 3. 戦国時代後期における宮城郡・黒川郡の交通について 4. 藤塚知明旧蔵の西洋奇図について (下)	明石治郎 泉田邦彦・星川 礼応 三好俊文 松田清	平成28年 3月 900円
No.37	1. 支倉常長の将来品「合羽と前蓑」再考 2. 狩野古信筆「村子姫霊夢図」について ―制作背景の考察と絵師・狩野古信の事績を中心に― 3. 資料紹介 仙台藩士猪狩家伝来の戦国・江戸初期文書 4. 資料紹介 「小松家記録」 ―仙台藩御織物師の家の江戸から昭和の記録―	的場節子 寺澤慎吾 菅野正道 鈴木かおる	平成29年 3月 900円
No.38	1. 秋田蘭画再考―実景との関わりを中心に― 2. 仙台藩の贈答―江戸中・後期を中心に― 3. 伊達政宗関係文書にみえる切封の折紙書状について 4. 資料紹介 戦国期伊達氏関連未紹介資料	内山淳一 菅原美咲 明石治郎 菅野正道	平成30年 3月 900円

(価格および内容については平成30年4月1日現在、以下続刊)

5. 仙台市史活用推進事業

仙台市制百周年記念事業の一つとして昭和61年から開始された市史編さん事業は、平成2年度からは当館が事業を所管し、館内に設置された市史編さん室が事務局となって平成26年度までに通史編9巻、資料編13巻、特別編9巻、年表・索引1巻の合計32巻を刊行するとともに、関連資料の調査・収集や、普及事業を展開してきた。

平成27年2月に最終巻となる『年表・索引』が刊行されたことで市史編さん事業は終了し、事務局として実務を担ってきた市史編さん室は廃止となった。

平成27年度からは、市史編さん事業で蓄積された多くの成果の活用を図るとともに、市域の歴史に関する調査や資料収集を行う「仙台市史活用推進事業」が新たに開始され、市史編さん事業の残務処理を含めて、組織改正によって設置された学芸普及室がその担当となった。

「仙台市史活用推進事業」の3年目となる平成29年度の業務としては、前年度から引き続いて、市民向けの普及書作成や他機関との連携を含めた普及事業の開催、収集した資料の整理、東日本大震災に対応した資料保全活動と震災アーカイブ事業に取り組んだ。

1. 講座等

(1) 仙台市史講座

仙台市史講座は、市史編さん事業成果の地域還元と『仙台市史』の読者層の拡大を目的に市内59カ所に設置されている市民センターとの共催で、年2回程度実施してきたものである。講演のテーマは、市史編さん事業で得られた調査研究成果のなかから、開催場所に即したものを選択してきた。平成29年度については、伊達政宗生誕450年記念事業の1つである伊達政宗連続講座として仙台商工会議所文化観光部会との共催で下記の通り実施した。

第35回仙台市史講座

テーマ：「伊達政宗の国づくりに学ぶ」

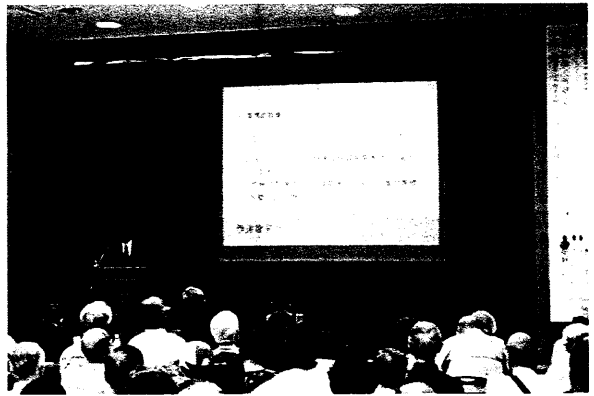
講師：菅原美咲（当館学芸員）

籠橋俊光氏（東北大学准教授）

日時：平成29年7月17日(月) 13:30～16:00

会場：仙台商工会議所大会議室

参加者：137人



市史講座の開催状況

(2) くずし字講座

古文書やくずし字の読解に関する初心者向け講座を平成24年度から東北大学上廣歴史資料学部門との共催で実施してきた。平成29年度は前年度に引き続き、東北大学を会場に戊辰戦争に関する風刺画などを題材として、連続2回（全4週）の講座を実施した。

○「はじめての『くずし字』」

日時：①平成30年1月15日(月)、22日(月)、

②平成30年1月29日(月)、2月5日(月)

(連続2回 毎回13:00～14:30)

会場：東北大学川内北キャンパス内講義室

受講者：①75人、②65人

講師：友田昌宏氏（東北大学助教）

(3) 図書館連携講座

平成27年度から仙台市図書館と連携し、各市民図書館を会場に実施している。平成29年度は、前期「エピソードからみた政宗の人物像」、後期「はじめて知る戊辰戦争—仙台藩と会津藩を中心に—」をテーマとし、伊達政宗・戊辰戦争に関する小説や映画などを紹介するブックトーク（図書館担当）と、その題材となった歴史実証の紹介（博物館担当）を組み合わせる形で実施した。

テーマ：「エピソードからみた政宗の人物像」

当館担当：菅野正道（当館主幹兼学芸普及室長）

開催日：①平成29年7月20日（木）

②平成29年7月26日（水）

会場：①せんだいメディアテーク

②泉図書館

受講者：①109人、②59人

テーマ：「はじめて知る戊辰戦争—仙台藩と会津藩を中心に—」

当館担当：水野沙織（当館学芸員）

開催日：①平成30年1月31日（水）

②平成30年2月2日（金）

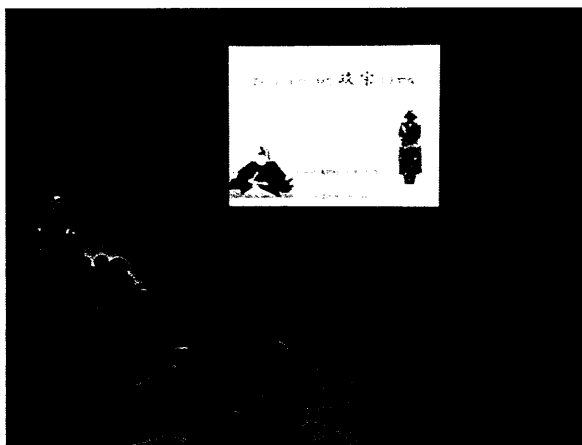
③平成30年2月8日（木）

会場：①若林図書館

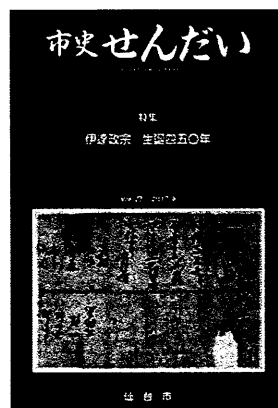
②広瀬図書館

③太白図書館

受講者：①83人、②56人、③91人



「エピソードからみた政宗の人物像」の開催状況



『市史せんだい Vol.27』



『仙台市史』活用資料集vol.4 宮城野区の歴史探し』

2. 刊行物

前年度に引き続き、『市史せんだい』および『『仙台市史』活用資料集』を発行した。

(1) 『市史せんだい Vol.27』 1,000部発行

平成29年9月30日発行 A5判 128ページ

特集「伊達政宗 生誕四五〇年」

論文 伊達政宗と母義姫—毒殺未遂事件と弟殺害について—（佐藤憲一）

論文 『伊達天正日記』所収「野臥日記」の一考察—政宗による民衆の軍事動員を考ふるために—（遠藤ゆり子）

論文 伊達政宗の顕彰と青葉神社（栗原伸一郎）

研究ノート 伊達政宗の茶畑（菅野正道）

史料紹介 伊達政宗文書・補遺（十一）

(2) 『『仙台市史』活用資料集vol.4 宮城野区の歴史探し』 900部発行

平成29年7月31日発行 A4判 16ページ

(3) 『『仙台市史』活用資料集vol.5 太白区の歴史探し—西部—』 900部発行

平成30年2月28日発行 A4判 16ページ



『仙台市史』活用資料集vol.5 太白区の歴史探し—西部—』

市史編さん事業の成果を広く市民に周知し、地域の歴史や文化に対する関心を高めることと、『仙台市史』の販売促進を目的に、さまざまな広報事業に取り組んでいる。

(1) 仙台商工会議所機関誌『飛翔』での連載

『飛翔』には『仙台市史』の広報事業の一貫として平成21年から連載記事を掲載してきたが、平成29年度は、伊達政宗の生誕450年にあわせ「伊

達政宗の生涯をたずねて」と題して普及室および企画室の職員が執筆を担当した。平成30年1月からは、伊達政宗以降の藩主の人物像を紹介することを目的として「仙台藩 歴代藩主の横顔」を開始した。内容、執筆者は次の通り。

- 平成29年1月号「政宗のプロフィール」(菅野正道)
2月号「政宗と長男秀宗・次男忠宗」
(佐藤健治)
3月号「政宗の家臣たち」(菅野正道)
4月号「伊達政宗の書状」(明石治郎)
5月号「具足をめぐる政宗の言葉」
(酒井昌一郎)
6月号「伊達政宗のまちづくり」
(水野沙織)
7月号「伊達政宗と領内の寺社・信仰」
(佐々木徹)
8月号「伊達政宗の呼び名と天下人」
(明石治郎)
9月号「伊達政宗のファッション」
(高橋あけみ)
10月号「伊達政宗と鷹」(菅原美咲)
11月号「慶長遣欧使節の派遣」(佐々木徹)
12月号「伊達政宗騎馬像」(二上玲子)
平成30年1月号「二代藩主 伊達忠宗」(菅野正道)
2月号「三代藩主 伊達綱宗」(菅原美咲)
3月号「四代藩主 伊達綱村」(明石治郎)

(2) タウン誌『Kappo』での連載

仙台を代表するタウン誌(隔月発行)の一つである『Kappo』に、平成29年度から「歴史のさんぽ道・人物編」を連載している。各号の内容は以下の通り。

- 2017年5月号「仙台藩五代藩主 伊達吉村」
7月号「日本銀行第二代総裁 富田鉄之助」
9月号「仙台藩奉行 但木土佐」
11月号「石母田宗頼」
2018年1月号「横綱2代目 谷風梶之助」
3月号「仙台藩養賢堂指南統取 玉蟲左太夫」

4. 調査・資料収集

市域に関連する歴史資料の調査や収集については、仙台市史編さん委員会から仙台市長あてに平成25年8月に提出された提言書で、事業終了後も市域に関連する歴史資料の調査や収集を継続的に実施するこ

とが要望されたことを受けて、仙台市史活用推進事業の中で継続的に行っている。調査資料については、デジタルカメラ等を用いた撮影や目録作成などを行っている。また、市史編さん事業で調査・収集した資料のデータベース作成、デジタル化の作業も継続実施した。

(1) 主な調査先・資料群

仙台市／雷神社
福聚院
名取郡北方大肝入佐藤家文書
村田町／村田町歴史みらい館
東京都／東京大学史料編纂所
太陽コレクション

(2) 購入資料

・仙台藩士若生家資料 一括

5. 資料保全・震災アーカイブ活動

平成28年度に引き続き、東日本大震災で被害を受けた歴史資料を対象に資料レスキュー活動(整理・保全など)を行い、整理が終了した資料については、所蔵者の意向を踏まえながら、順次返却を行っている。

今年度は仙台市内で開催された世界防災フォーラムに合わせ、当館が行ってきた資料レスキュー活動を紹介するパネルの展示を行うとともに、震災関連パネルの貸し出しの周知のため、仙台市教育センターに於いて、教職員向けに授業での活用を目的としたパネルの展示を行っている。

〔活動状況〕

平成29年

6月21日 宮城資料ネットの歴史資料保全ボランティアに参加(於：東北大学災害科学国際研究所)

11月21日～28日 パネル展「東日本大震災と資料レスキュー活動 The Great East Japan Earthquake and Salvation Historical Materials」

平成30年

1月11日 「平成29年度東日本大震災アーカイブシンポジウム 被災県が実施する震災アーカイブの意義」参加

2月1日～28日 パネル展「歴史地震パネル展」
(会場：仙台市教育センター)

6. 伊達政宗生誕450年 記念事業

平成29年（2017）は伊達政宗生誕450年となることから、当館では様々な記念事業を実施した。この章はこれらの事業をまとめ一覧にしたものである。項目ごとに事業報告が掲載されている章・項目を示したので、詳細は該当箇所を参照されたい。

特別展「伊達政宗一生誕450年記念」

- ・会期：10月7日（土）～11月27日（月）
- ・開催日数：46日
- ・観覧者数：42,525人

開催前からインターネット等で話題になっていたこともあり、特別展には市内・県内をはじめ他県からも多くの人々が訪れ盛況となった。特別展の入館者数は4万人を超え、当初の予想を大きく上回る結果となった。特別展図録の売れ行きも好調で、当館では異例ともいえる会期中の増刷を行った。

※「2. 展示 特別展『伊達政宗一生誕450年記念』（33頁）」を参照。

常設展での伊達政宗特集展示

常設展においても、秋の特別展に向けて機運を高めるため、季節ごとに伊達政宗関連のテーマを設定し、特集展示を行った。

- (1) 旬の常設展2018春「伊達政宗文書特集」
期間：4月1日（土）～6月18日（日）
- (2) 旬の常設展2018夏「伊達政宗と城」
期間：6月20日（火）～9月10日（日）
- (3) 旬の常設展2018秋冬「伊達政宗と家臣たち」
期間：9月12日（火）～12月27日（水）

※展示資料等の詳細は「2. 展示 常設展展示資料目録（4頁以降）」を参照。

伊達政宗に関する講座の開催

記念事業の一つとして、市民を対象にさまざまな形で伊達政宗を紹介する全7回の連続講座を実施した。

下記連続講座のほかにも、市民センターなどの社会教育施設や市民団体の要望などに対応して、伊達政宗に関する講座を博物館内外で多数実施した。

(1) 伊達政宗連続講座

第1回（参加者194人）

しろ・まち講座 「伊達政宗の生涯」
日時 6月4日（日） 13：30～16：00
講師 佐々木徹（当館学芸員）
明石治郎（当館職員）

会場 博物館ホール

第2回（参加者137人）

仙台商工会議所との共催事業
第35回せんだい市史講座「伊達政宗の国づくりに学ぶ」

日時 7月17日（月） 13：30～16：00

講師 「伊達政宗と百姓・村」
籠橋俊光氏（東北大学准教授）

「仙台藩の家臣団」

菅原美咲（当館学芸員）

会場 仙台商工会議所

第3回（参加者161人）

東北工業大学との連携事業
まちなか博物館講座「伊達政宗の領国支配と寺社政策」

日時 8月20日（日） 13：30～15：00

講師 菅野正道（当館主幹兼学芸普及室長）

会場 東北工業大学一番町ロビー

第4回（参加者164人）

東北工業大学との連携事業
まちなか博物館講座「政宗の城下町建設」

日時 9月24日（日） 13：30～15：00

講師 水野沙織（当館学芸員）

会場 東北工業大学一番町ロビー

第5回（参加者242人）

特別展記念講演会①「伊達政宗と豊臣秀吉」

日時 10月7日（土） 13：30～15：00

講師 池上裕子氏（成蹊大学名誉教授）

会場 博物館ホール及び1階ロビー

第6回（参加者287人）

特別展記念講演会②

日時 10月28日（土） 13：30～16：00

講師 「伊達政宗とその親族」

遠藤ゆり子氏（淑徳大学准教授）

「伊達政宗と奥羽の大名たち」

高橋充氏（福島県立博物館学芸員）

会場 博物館ホール及び1階ロビー

第7回(参加者223人)

特別展関連 しろ・まち講座

日時 11月11日(土) 13:30~16:00

講師 「見どころ資料からみた伊達政宗」

佐々木徹(当館学芸員)

「伊達政宗のファッション」

高橋あけみ(当館主幹)

会場 博物館ホール及び1階ロビー

(2) 連続講座以外の講座

連続講座以外に実施した講座等について、当館で主催・共催したものは下記の通り。

・仙台市博物館・仙台市民図書館連携講座

「エピソードからみた政宗の人物像」

日時 ①7月20日(木) 18:00~19:45

②7月26日(水) 14:00~15:45

講師 星博之氏(仙台市民図書館司書)

菅野正道(当館主幹兼学芸普及室長)

会場 ①せんだいメディアテーク、②泉図書館

参加者 ①109人 ②59人

・仙台っ子歴史探検隊(小学生向け体験学習)

日時 8月19日(土) 13:30~15:00

会場 仙台市博物館 参加者 16人

※「3. 教育・普及」(47頁)及び「5. 仙台市史活用推進事業」(68頁)参照

子ども向け冊子の発行及び配布

伊達政宗の功績や成し遂げた事業を広く市民、特に子供たちに理解してもらい、地域への関心を高めるため、子供向けに内容を平易にまとめた冊子「よくわかる!伊達政宗」を発行した。(発行部数20,000部、増刷2,000部)

この冊子は市内小学校を通じて小学5・6年生全員に配布したほか、市内図書館などの市民利用施設へも配布し、ミュージアムショップにおいても販売している。

※「3. 教育・普及 刊行物・グッズ等」(63頁)参照



「よくわかる!伊達政宗」

オリジナルグッズの増刷

博物館オリジナルグッズのうち「オリジナルシールNo.1伊達政宗」を2,000部増刷した。

※「3. 教育・普及 刊行物・グッズ等」(63頁)参照

広報

特別展及び記念事業をPRするため、博物館からの情報発信に加え、市関係部署との連携や各マスコミ・出版社への取材協力などを積極的に行った。主なものは下記のとおり。

(1) JR東日本発行「トランヴェール」への広告掲載

市観光課と連携し、JR東日本が発行する新幹線車内サービス誌「トランヴェール」2017年8月号に生誕450年記念及び特別展関連の広告掲載を行い、首都圏向けにPRを行った。(当館担当箇所は記事執筆及び画像提供)



「トランヴェール」
掲載広告

(2) 仙台商工会議所会報

「飛翔」での連載

仙台商工会議所の発行する会報「飛翔」において、当館職員が連載記事を執筆しているが、平成29年度は「生誕450年 伊達政宗の生涯をたずねて」というテーマで全12回の連載を行った。

※各回のタイトルは「5. 仙台市史活用推進事業」(69頁)参照

(3) 伊達武将隊との連携

全国的に観光PR活動を行っている奥州・仙台おもてなし集団「伊達武将隊」と連携し、情報発信やイベントを行った。

・伊達政宗誕生日ミニイベント

日時 8月3日(木) 9:30~10:00

会場 博物館正面玄関前

旧暦の政宗の誕生日である8月3日に伊達武将隊(伊達政宗、片倉景綱、支倉常長の3名)が来館者を出迎え、写真撮影会などを実施した。また、この日来館した小学生以下の子どもに博物館オリジナルグッズ「まーくんLEDライト」を配布した。

・特別展コラボイベント「伊達政宗生誕450年!」

特別展を巡るクイズラリーと、武将隊のステージイベントを開催した。

日時 11月5日(日) 9:30~12:30

会場 博物館ホール・特別展展示室

参加者 186人

・情報誌「伊達武将隊かわら版」の取材協力ほか

7. ボランティア

仙台市博物館では「仙台市博物館ボランティア(三の丸会)」が展示解説をボランティアで行っている。平成9年に組織されたこの団体は平成29年で21年目を迎え、平成29年度の登録者は122人であった。

ボランティア活動は「活動班」(各班10人～11人の12班編成)に分かれ、2週間に1回程度活動している。活動内容は常設展示室での資料解説が主で、他にもプレイミュージアムでの活動補助、平成22年度からは館庭(三の丸跡)案内をしている。

会の運営や情報交換は月1回の役員会で行われる。役員会は会長、副会長、会計、監事、各部長、班長及び担当職員からなる。会全体の活動方針に関わる事項は年1回の総会で決定している。

また、ボランティアの任期については平成19年度より5年任期制を導入している。しかし市民からボランティア活動への要望が高まり、新規ボランティアの採用の仕方について見直しを図る必要が出てきたことから、平成27年度、任期についての見直しを行った。その結果、5年任期後の再応募は妨げないが連続した活動は10年までとすること、10年活動後は一度退会することが役員会等を通して了承された。また、今年度より5年以上活動をした退会者には登録・更新式において感謝状を贈呈した。

1. 新規会員の募集・養成講座等

新規ボランティア募集に28名の応募があり、抽選の結果13名を採用した。新規採用者13名は、以下のボランティア養成講座(2日間・10講座)を受講することによって会員として登録された。他に、5年の任期を終えての再応募者を17名採用し、所属班の変更を行っている。



ボランティア養成講座

- ・1日目：博物館の概要(教育普及・プレイミュージアム)／ボランティア活動について／三の丸会の紹介／歴史部門の展示説明／美術部門の展示説明
- ・2日目：歴史部門展示の説明／美術部門の展示説明

※6月に行った登録・更新式で新規会員に対して登録証を交付した。

2. 解説活動

平成29年度の年間活動日数は234日、ボランティアののべ活動人数は2,002人であった。展示解説件数は11,938件、観覧者25,112人に対応した。小・中学生の見学への対応の他、市民センターや老荘大学など、一般団体向けの解説依頼に多数対応した。

また、三の丸会の発案により平成27年度から二つのコースガイドを設置した。平成29年度は「伊達政宗コース」が74件、286人、「支倉常長コース」は51件、146人に対応した。仙台城ガイダンス機能を拡充させる目的でスタートした館庭案内は1日1回、4月から11月末日まで行い、実施日数が168日(中止43日)、795人を案内した。四季を通じて楽しめる三の丸館庭は、来館者にとって魅力的なエリアになっており、解説に力を入れている。

また予約による英語解説も受け付けており、海外からの来館者や留学生を始め、要望があった際には三の丸会英語部(後述)が中心となって対応した(9件148名)。常設展の展示解説の他、プレイミュージアムで日本の文化に触れてもらうなど、海外からの来館者に好評を得ている。



海外からの来館者と(英語部)

3. 博物館主催による主な研修

○ギャラリートーク(春の展示)

日時：4月19日(水) 9:15~9:45

会場：博物館展示室

講師：高橋あけみ、佐々木 徹

○ギャラリートーク(夏の展示)

日時：6月21日(水) 9:15~9:45

会場：博物館展示室

講師：菅原美咲、中武敏彦

○ギャラリートーク(秋・冬の展示)

日時：9月13日(水) 9:15~9:45

会場：博物館展示室

講師：水野沙織、菅原美咲



ギャラリートーク

○館外研修(消防訓練実施後)

日時：平成29年6月12日(月) 11:00~12:00

会場：東北学院大学博物館

講師：東北学院大学博物館職員

内容：展示室の展示解説

参加者：28名



東北学院大学博物館展示室見学

○接遇研修(第1回) ※生涯学習課、科学館と共催

日時：平成29年9月9日(土) 13:00~15:00

会場：博物館講習室

講師：仙台市健康福祉局障害企画課 小幡 拓氏

宮城県視覚支援学校

千葉 康彦氏

大和田 奈央氏

内容：講話「障害を理由とする差別をなくす条例について」

講話・実技「視覚障害者において思うこと」

参加者：18名(博物館14名、天文台2名、歴史民俗資料館1名、縄文の森広場1名)



接遇研修

4. ボランティアと博物館との懇談会

日時：平成29年12月13日(水) 15:00~16:00

場所：博物館講習室

参加者：ボランティア32名、博物館職員15人

より多くの方々に喜ばれる博物館にするため、ボランティアと職員の情報交換を兼ねた懇談会を行った。館側からは平成30年度の主な展示内容についての説明等を行っている。ボランティアからは展示室を中心に、日頃の活動を通して気づいたことなどが出され、博物館職員と意見を交換することができた。



懇談会の様子

5. ボランティア新規会員との懇談会

日時：平成29年10月1日(日) 10:00~11:00

会場：博物館講習室

参加者：新規ボランティア4名、博物館職員2名
新たに博物館ボランティアとなった会員と職員と

で、活動の感想や意見の交流をすることで、今後の活動に役立てもらおうと、平成28年度より開催することになった。日々の活動で困っていることや、ガイドのポイントなどについて、活発に意見交流が行われた。

6. 博物館ボランティア新規募集説明会

日 時：平成30年3月17日(土) 10:30~11:30

場 所：史跡陸奥国分寺・尼寺ガイダンス施設

内 容：講話「仙台市のボランティア事情」
「ボランティア活動について」
「ボランティア活動の実際」

講 師：仙台市生涯学習支援センター

安倍 豊氏

ボランティア担当職員

三の丸会21期生 茂木淳一氏

参加者：15名

仙台市生涯学習支援センターの安倍氏からは仙台市のボランティア事情やボランティアの心構えについて、三の丸会の茂木氏からは実際の活動について体験談を交えた話があり、新たに博物館でのボランティア活動を始めたい参加者にとって、有意義なものになった。

7. 部会活動

ボランティアは活動班の他に、5つの部会のいずれかに属し活動している。

表18 三の丸会の部会

部会	活動内容
運営部	会の運営に関する事務全般を担当し、会則の改正や総会の準備、議事録作成等を行う。
研修部	会員の研究発表会、学習会、講演会、館外研修会などの企画・運営を担当する。
会報部	三の丸会会報を発行。博物館情報、会員による寄稿文、勉強会報告などが掲載され、情報共有化の大切な手段となっている。
英語部	海外からの観覧者に英語で解説する。予約による英語解説も行っている。部会では勉強会の他、英語ガイド実例集を作成。
資料部	観覧者からの質問と回答をまとめた「尋解集」の作成や、各種資料の収集・保管を担当。古文書講読会を月に1度実施。

〈三の丸会部会主催による主な研修〉

○館外研修（ボランティア三の丸会研修旅行）

日 時：平成29年10月29日(日) 8:30~17:00

テーマ：「伊達家を支えた重臣たち」

— 角田・亶理を訪ねて —

参加者：ボランティア44人、館職員1人

講 師：角田市郷土資料館調査員 濱須保雄氏

亶理町郷土資料館学芸員 菅野達雄氏

主な訪問先：角田市郷土資料館、長泉寺、亶理町郷土資料館、大雄寺



大雄寺にて

○研修部主催・教養講座

日 時：平成29年12月19日(火) 10:00~11:00

会 場：博物館講習室

講 師：中武敏彦

内 容：講話「幕末から明治の仙台」

参加者：40名

また、20周年を記念して下記の事業を行った。

○記念誌の発行（5月）

○ボランティア三の丸会創立20周年記念講演会

日 時：平成29年4月22日(土) 13:30~15:00

場 所：博物館ホール

講 師：堀野宗俊氏

（瑞巖寺宝物館学芸顧問・葦航寺住職）

内 容：演題「瑞巖寺の歴史と平成の大修理」

参加者：181名（三の丸会会員、会員OB・OG、交流のある他ボランティア団体の会員）



堀野宗俊氏の講演

8. 友の会

仙台市博物館友の会は、博物館活動を愛好する市民によって昭和47年に結成され、本年度で創立45周年を迎えた。博物館を中心として歴史・芸術・民俗などに関する知識を深めながら会員相互の親睦をはかり、かつ博物館活動の支援を目的として、その普及発展に寄与してきた。

会員は賛助会員（年会費 1 口 5,000円）・普通会員（年会費 3,000円）・学生会員（年会費 2,000円）人であった。すべての会員構成は、別表の通りである。

友の会の企画運営は、役員で構成される役員会において決定されており、本年度の役員会は12回開催された。また役員は会報を編集する編集委員会、研修会を企画・立案する研修委員会、講演会の司会や受付などを担当する講座委員会に属し、それぞれ積極的に活動を行った。各事業には友の会サポーターにも協力をいただいた。

会の事業実績は、右記のとおりである。広報セミナー 3 回、日帰り研修会 2 回、古文書講読会 1 回、館外研修会 1 回に加え、本年度は友の会創立45周年記念講演会を実施し、いずれも多くの会員の参加を得ることができた。

表19 平成29年度会員内訳

	性別	年代	人数	
賛助会員			21	21
普通会員	男	10 代	0	312
		20 代	3	
		30 代	3	
		40 代	17	
		50 代	32	
		60 代	99	
		70 代	90	
		80 代	35	
		90 代	5	
	不明	28		
	女性	10 代	0	300
		20 代	1	
		30 代	20	
		40 代	32	
		50 代	39	
		60 代	89	
		70 代	58	
		80 代	18	
90 代		0		
不明	43			
学生会員			12	12
計			645	

平成29年度友の会事業実績

1. 総会

4 / 24 博物館ホール 参加81人

2. 事業

(1) 会報発行

6 / 1 179号、9 / 1 180号、12 / 1 181号、
3 / 1 182号

(2) 行事

4 / 24 企画展広報セミナー

「伊達な優品勢ぞろいPart II—この10年の新収藏品—」

講師 鈴木かおる学芸員 参加81人

5 / 31 日帰り研修会 山形県村山方面

同行 水野沙織学芸員 参加42人

7 / 3 特別展広報セミナー

「空海と高野山の至宝展」

講師 酒井昌一郎学芸員 参加157人

9 / 16 友の会45周年記念事業 参加119人

「伊達政宗と家臣

一片倉景綱・伊達成実・茂庭綱元—」

講師 佐藤憲一氏（元仙台市博物館館長）

「友の会のあゆみ」

講師 濱田直嗣氏（元仙台市博物館館長）

講師 金ヶ崎伸二氏（友の会発起人）

10 / 16 特別展広報セミナー

「伊達政宗—生誕450年記念」

講師 佐々木徹学芸員 参加160人

10 / 25 日帰り研修会 福島県伊達市方面

同行 酒井昌一郎学芸員 参加40人

12 / 23 古文書講読会

「天下人と伊達氏

—戦国武将の書状を読む—」

講師 長澤伸樹嘱託 参加161人

2 / 17 館外研修会 史跡陸奥国分寺跡等

同行 高橋あけみ主幹

寺澤慎吾学芸員 参加72人

9. 博物館改修工事について

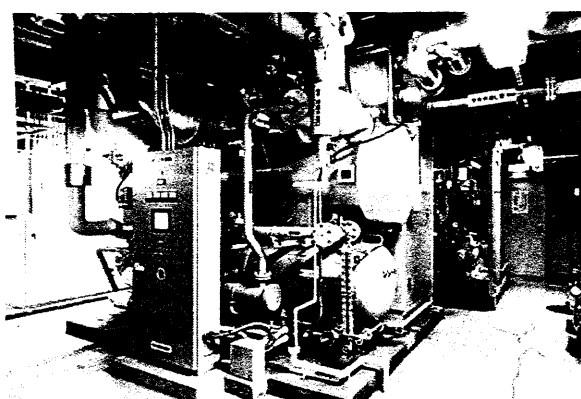
空調設備改修工事（第2期）

平成30年1月～3月の休館期間に、空調設備の改修工事（ヒートポンプ交換・第2期）を行った。

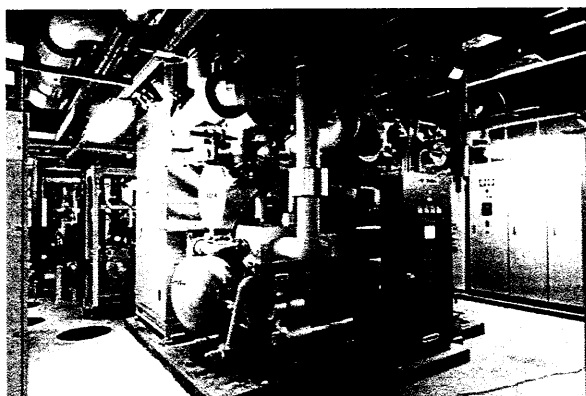
第2期分の費用（工事監理委託・工事費含む）は、106,656千円。



空調設備改修工事（搬入時）



空調設備改修工事（改修後の写真1）



空調設備改修工事（改修後の写真2）

エレベーター更新工事

空調設備改修工事実施期間（平成30年1月～3月）とあわせて、利用者の安全確保のために、来館者用エレベーターの更新工事を行った。これにより、安全面だけでなく、表示なども分かりやすくなり利便性が向上した。

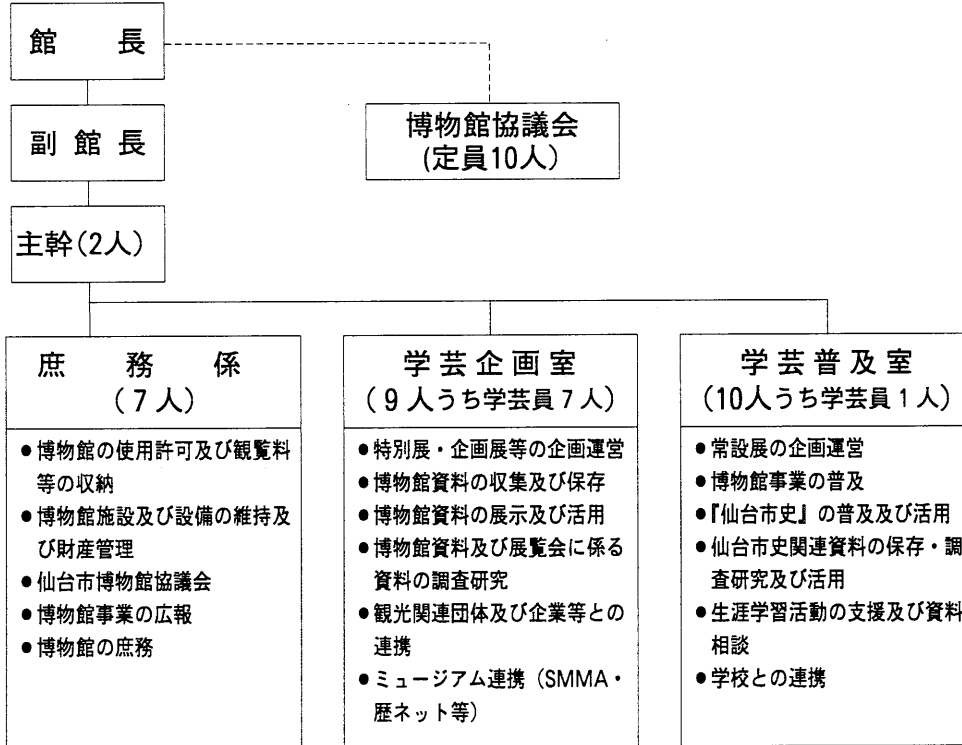
工事費用は、15,120千円であった。



来館者用エレベーター

10. 組織・予算・運営

組織・事務分掌（平成29年4月1日現在）



予算概要

表20 平成29年度予算概要

(単位：千円)

費目	当初予算額	摘要
1 運営管理費	(1) 光熱水費	54,541 電気、上・下水道、ガス使用料
	(2) 管理運営委託費	110,191 警備、清掃、電気機械設備運転保守、観覧料収納・案内、看板・演示具製作、展示物運搬・陳列等の委託費
	(3) 施設修繕費	8,199 機械設備等修繕費
	(4) 資料修繕費	1,975 収蔵資料修繕費
	(5) その他管理運営費	17,863 教育普及、調査研究、その他運営管理に要する経費
	小計	192,769
2 資材購入費	8,000	展示用美術工芸品・歴史資料等の購入経費
3 特別展覧会開催費	42,576	特別展覧会開催に要する経費
4 市史活用推進費	9,466	市史活用推進・刊行に要する経費
5 維持修繕費	189,531	空調設備改修工事（第2期）等に要する経費
合計	442,342	

職 員 (平成29年 4 月 1 日現在)

館 副 主 主
 館 長 幹 幹
 遠 内 高 菅
 藤 山 橋 野
 俊 淳 あ け み 正
 行 一 道

室 ・ 係	職 名	氏 名
庶 務 係	係 長	鈴 木 由 美
	主 任	石 井 光 信
	主 任	南 部 英 湖
	主 事	高 塚 真 紀 子
	非常勤嘱託職員	鈴 木 由 香
	非常勤嘱託職員	佐 藤 由 夏 理
	臨 時 職 員	大 内 美 樹
学 芸 企 画 室	室 長	樋 口 智 之
	主 任	酒 井 昌 一 郎
	主 任	水 野 沙 織
	主 事	佐々木 徹
	主 事	寺 澤 慎 吾
	非常勤嘱託職員	明 石 治 郎
	非常勤嘱託職員	鈴 木 か お る
	非常勤嘱託職員	中 武 敏 彦
	非常勤嘱託職員	山 田 今日 子
学 芸 普 及 室	室 長	(菅野主幹事務取扱)
	指 導 主 事	片 寄 角 洋
	指 導 主 事	齋 藤 大 祐
	主 事	菅 原 美 咲
	非常勤嘱託職員	村 岡 淳 子
	非常勤嘱託職員	氏 家 文 枝
	非常勤嘱託職員	二 上 玲 子
	非常勤嘱託職員	倉 橋 真 紀
	非常勤嘱託職員	菅 原 友 子
	非常勤嘱託職員	長 澤 伸 樹
	非常勤嘱託職員	成 澤 大 空

仙台市博物館協議会

平成29年度 仙台市博物館協議会委員

(五十音順・敬称略 ◎=会長 ○=副会長)

- 尾崎 彰宏 東北大学大学院教授
- 小野寺 健 仙台市議会議員
- 菊池 勇夫 宮城学院大女子大学教授
- ◎佐川 正敏 東北学院大学教授
- 佐藤 憲子 仙台市社会学級研究会元会長
- 伊達 泰宗 伊達家伯記念會取締役会長
- 長岡 龍作 東北大学大学院教授
- 濱田 淑子 東北福祉大学元教授
- 平塚 美保 仙台市立七北田中学校長
- 森 美智子 東北学院大学教授

平成29年度 協議内容

第1回 平成29年5月23日(火)

- 1 報告事項
 - (1) 平成29年4月の観覧者数について
 - (2) 企画展「伊達な優品勢ぞろいPart II」の中間報告について
 - (3) 市史活用事業について
 - (4) 教育普及事業について
 - (5) 各種機関との連携事業
 - (6) 伊達政宗450年記念事業について
- 2 協議事項
 - (1) 特別展「伊達政宗－生誕450年記念」について

第2回 平成29年7月24日(火)

- 1 報告事項
 - (1) 平成29年5～6月の観覧者数について
 - (2) 企画展「伊達な優品勢ぞろいPart II」の報告について
 - (3) 市史活用推進事業について
 - (4) 教育普及事業について
 - (5) 伊達政宗生誕450年記念事業について

第3回 平成29年10月24日(火)

- 1 報告事項
 - (1) 平成29年7～9月の観覧者数について
 - (2) 東日本大震災復興祈念特別展「空海と高野山の至宝」の結果報告について
 - (3) 特別展「伊達政宗－生誕450年記念」の中

間報告について

- (4) 市史活用推進事業について
- (5) 教育普及事業について

2 協議事項

- (1) 宮城県民藝協会50周年企画展「手仕事の日本－東北を中心に－(仮称)」

第4回 平成30年2月6日(火)

1 報告事項

- (1) 平成29年10～12月の観覧者数について
- (2) 特別展「伊達政宗－生誕450年記念」の結果報告について
- (3) 市史活用推進事業について
- (4) 教育普及事業について

2 協議事項

- (1) 特別展「古代アンデス文明展(仮称)」について

11. 利用状況

月別観覧者数

表21 月別観覧者数

(人)

	個人				団体				無料	総計
	一般	高校	小中	計	一般	高校	小中	計		
4	3,424	66	1,268	4,758	88	0	496	584	1,961	7,303
5	6,381	80	2,133	8,594	23	47	318	388	2,841	11,823
6	3,498	34	1,437	4,969	61	0	723	784	1,547	7,300
7	31,274	87	732	32,093	250	0	35	285	3,494	35,872
8	40,564	429	2,264	43,257	206	0	50	256	5,823	49,336
9	4,844	35	655	5,534	36	37	90	163	1,029	6,726
10	16,139	863	388	17,390	681	0	24	705	3,254	21,349
11	17,953	934	390	19,277	734	62	0	796	4,717	24,790
12	2,520	29	122	2,671	128	0	7	135	1,089	3,895
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	219	12	61	292	0	0	0	0	64	356
計	126,816	2,569	9,450	138,835	2,207	146	1,743	4,096	25,819	168,750

展示開館日：237日

※1 7月・8月集計分のうち特別展「空海と高野山の至宝」の入館者数については、観覧料区分が「一般」「大学生」「小・中・高校生」のため、7月・8月分の高校生の入館者を便宜的に「小・中学生」の数に含むこととする。

※2 10月・11月集計分のうち特別展「伊達政宗」の入館者数については、観覧料区分が「一般」「高校・大学生」「小・中学生」のため、10月・11月分の大学生の入館者を、便宜的に「高校生」の数に含むこととする。

※3 平成29年12月28日～平成30年3月30日の期間は、館内設備改修工事のため休館

施設利用状況

表22 ギャラリー利用状況

利用団体名	利用期間	日数	利用内容
博物館		237	特別展、資料整理等
計		237	

表23 ホール利用状況

利用団体名	利用期間	日数	利用内容
宮城県芸術協会茶道部	9/10	1	研修会
仙台市公園愛護協力会連合会宮城野支部	9/28	1	講演会
株式会社 光文社	12/9	1	講演会
博物館		234	講演会、ビデオガイダンス等
計		237	

展示開館日数：237日

視察対応状況

表24 平成29年度 視察対応状況

月日	視察者	人数
4/4	東北市議会議長会議	64人
4/26	京都文化協会	1人
5/30	宮城県慶長使節船ミュージアム（サン・ファン館）	7人
5/30	新潟県五泉市市議会	1人
6/9	日本商工会議所	40人
6/13	仙台商工会議所	2人
9/9	宇和島市市議会	4人
9/12	山元町教育委員会・久米島町役場町議会	15人
11/2	大都市観光協議会	16人
11/14	レンヌ視察団	9人
11/21	コリア・デル・リオ市長他	13人
計		172人

講師等利用状況

表25 講師利用件数表

内訳 年度	件数 (件)					人数 (人)				
	館内		館外		計	館内		館外		計
	学校	一般	学校	一般		学校	一般	学校	一般	
平成29年度	74	44	6	33	157	3,077	1,659	673	2,403	7,812

表26 レファレンス対応等表 (件)

内訳 年度	資料相談・ 質問対応等	マスコミ 対 応	資料閲覧 対 応 等	写真貸出・ 利 用	計
平成29年度	81	261	34	256	632

表27【参考】 館外実施分含む博物館利用状況 (人)

	人数
観覧者数	168,750
学校・各種教育機関との連携研修 (館外実施分)	74
情報資料センター利用者数(電話相談等除く)	5,080
館外講師派遣 (対象人数)	1,234
仙台市史講座 (受講者数)	137
図書館連携講座 (受講者数)	381
計	175,656

12. 条例・規則・要綱等

仙台市博物館条例

昭和60年12月19日

仙台市条例第二九号

仙台市博物館条例（昭和36年仙台市条例第二十二号）の全部を改正する。

（設置）

第一条 歴史、美術工芸等に関する資料を収集し、保管し、及び展示して市民の教養の向上、調査研究等に資するとともに、これらの資料に関する調査研究及び普及活動を行うことを目的として、博物館を設置する。

（名称及び位置）

第二条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
仙台市博物館	仙台市青葉区川内二十六番地

（観覧料）

第三条 博物館が展示する資料を観覧しようとする者は、別表第一に定める観覧料を納入しなければならない。

（使用の許可）

第四条 別表第二に掲げる施設（以下「施設」という。）を使用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

2 教育委員会は、次の各号の一に該当するときは、前項の許可をしないことができる。

- 一 公の秩序を乱すおそれがあるとき
- 二 管理上支障を及ぼすおそれがあるとき
- 三 使用目的が博物館の設置目的に反するとき

（使用料）

第五条 施設の使用料は、別表第二に定めるとおりとする。

2 使用料は、前条第一項の許可の際に納入しなければならない。ただし、市長が必要と認めるときは、使用料を別に定める納期限までに納入させることができる。

（使用料の額の特例）

第五条の二 市長は、前条第二項ただし書の規定により使用料を別に定める納期限までに納入させる場合において、当該納期限の日以前に、第四条第

一項の許可を受けた者につき次の各号のいずれかに該当すると認めるとき（使用料が既納の場合を除く。）は、前条第一項の規定にかかわらず、同項に規定する使用料の額の範囲内で使用料の額を定めることができる。

- 一 天災その他自己の責めによらない事由により施設を使用できないとき
- 二 市長が別に定める期間内に施設の使用の取りやめを申し出たとき
（使用許可の取消し等）

第六条 教育委員会は、次の各号の一に該当するときは、第四条第一項の許可を取り消し、又は使用を制限し、若しくは停止することができる。

- 一 第四条第一項の許可を受けた者がこの条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき
- 二 第四条第二項各号の一に該当することとなったとき

（観覧料等の返還）

第七条 既納の観覧料及び使用料は、返還しない。ただし、次の各号のいずれかに該当すると市長が認めるときは、その全部又は一部を返還することができる。

- 一 観覧料を納入した者につき天災その他自己の責めによらない事由により観覧できないとき
- 二 使用料を納入した者につき第五条の二各号のいずれかに該当するとき

（観覧料等の減免）

第八条 市長は、特別の事由があると認めるときは、観覧料及び使用料を減免することができる。

（損害賠償）

第九条 博物館の建物、付属設備又は資料を損傷し、又は滅失した者は、その損害を賠償しなければならない。

（博物館協議会）

第十条 博物館法（昭和26年法律第二百八十五号）第二十条第一項の規定に基づき、博物館に仙台市博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

- 2 協議会の委員の任命の基準は、博物館法施行規則（昭和三十年文部省令第二十四号）第十八条に規定する基準とする。
- 3 協議会の委員の定数は、10人とする。
- 4 協議会の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委 任)

第十一条 この条例の施行に関し必要な事項は、市長又は教育委員会が定める。

附 則

この条例は、昭和61年3月1日から施行する。

附 則 (昭63、12・改正) 抄

この条例は、昭和64年4月1日から施行する。

附 則 (平3、12・改正) 抄

(施行期日)

1 この条例は、平成4年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 次項に定めるものを除き、この条例の施行の日(以下「施行日」という。)前になされた使用の許可その他これに類する行為に係る使用料又は手数料については、なお従前の例による。

附 則 (平9、3・改正) 抄

(施行期日)

1 この条例は、平成9年4月1日から施行する。

(経過措置の原則)

2 次項から附則第十三項まで定めるものを除き、この条例の施行の日(以下「施行日」という。)前になされた使用の許可その他これに類する行為に係る使用料又は手数料については、なお従前の例による。

附 則 (平15、7・改正)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平16、3・改正)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平24、3・改正)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附 則 (平28、3・改正) 抄

(施行期日)

1 この条例は、平成28年10月1日から施行する。

(使用料に関する経過措置)

2 この条例の施行の日(以下「施行日」という。)前になされた使用の許可その他これに類する行為(次項において「使用の許可等」という。)に係る使用料については、なお従前の例による。

3 前項の規定にかかわらず、施行日以後になされた使用の許可等について、施行日前に使用の予約その他の使用の許可等に準ずるものとして市長又は教育委員会が認める行為があった場合においては、当該行為を使用の許可等とみなして同項の規定を適用することができる。

別表第一 (第三条関係)

(平28、3・改正)

区 分		金額 (1人につき)
常 設	個人利用	一 般 460円
	高 校 生	230円
	小学生・中学生	110円
展	団 体 利 用	一 般 360円
	高 校 生	180円
	小学生・中学生	90円
特 別 展		1,700円の範囲内で教育委員会が定める額

備考

- 一 特別展の観覧料を納入したものは、常設展は無料とする。
- 二 団体利用とは、30人以上の団体による利用をいう。
- 三 常設展のみの団体利用においては、引率者は、30人に1人の割合で無料とする。

別表第二 (第四条、第五条関係)

(平3、12・平9、3・平28、3・改正)

使用区分	使用時間	午前 (9:00~12:00)	午後 (13:00~16:30)
	ホール		5,400円
ギャラリー		3,900円	4,800円

備考

- 一 全日(午前9時~午後4時30分)の使用時間に係る使用料は、午前及び午後の使用料の合計額とする。
- 二 使用時間が本表に定める使用時間に満たない場合は、時間割計算は、行わない。
- 三 本表に定める使用時間を超えて使用する場合における当該超える分に係る使用料は、その使用が午前9時以前又は正午から午後1時までのときは午前、午後4時30分以降のときは午後の使用料の額の時間割計算による。この場合において、超える時間に一時間に満たない端数があるときは、これを一時間に切り上げる。

四 本表に定める使用時間に準備等のために使用する
場合の使用料は、当該使用料の2分の1とする。

五 附帯設備の使用料は、教育委員会が定める。

六 暖房し、又は冷房する場合の使用料は、教育
委員会が定める。

仙台市博物館条例施行規則

昭和61年1月24日

仙台市教育委員会規則第二号

仙台市博物館条例施行規則（昭和36年仙台市教育委員会規則第八号）の全部を改正する。

（趣 旨）

第一条 この規則は、仙台市博物館条例（昭和60年仙台市条例第二九号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

（開館時間）

第二条 博物館の開館時間は、午前9時から午後4時45分までとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、臨時にこれを変更することができる。

（休館日）

第三条 博物館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、休館日に開館することができる。

- 一 月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第百七十八号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たる日を除く。）
- 二 休日の翌日（土曜日、日曜日、十月の第二月曜日の翌日又は休日に当たる日を除く。）
- 三 1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日まで
- 四 その他教育委員会が必要と認める日

（平17、3・平27、3・改正）

（入館者の遵守事項）

第四条 入館者は、次の事項を遵守しなければならない。

- 一 博物館の建物、付属設備若しくは資料を損傷し、若しくは汚損し、又はそのおそれのある行為をしないこと
- 二 許可を得ないで博物館の資料の撮影、模写等を行わないこと
- 三 所定の場所以外の場所で喫煙又は飲食をしないこと
- 四 他の入館者に迷惑となる行為をしないこと
- 五 その他係員の指示に従うこと

（入館の制限）

第五条 教育委員会は、博物館を利用する者が次の各号の一に該当するときは、入館を拒絶し、又は退館を命ずることがある。

- 一 適当な指導者又は付添人のない満六歳未満の者
- 二 でい酔者
- 三 他人に危害を及ぼし、若しくは他人の迷惑となるおそれのある物品を携帯し、又は動物を伴う者
- 四 係員の指示に従わない者
- 五 その他管理上支障があると認められる者（観覧券）

第六条 博物館が展示する資料を観覧しようとする者は、観覧券の交付を受け、展示室の入り口においてこれを係員に提示しなければならない。

- 2 前項の観覧券は、観覧料の納入の際に交付する。ただし、教育委員会が特別の事由があると認めるときは、この限りでない。

（使用許可の手続）

第七条 条例第四条第一項の許可（以下「使用許可」という。）を受けようとする者は、使用しようとする日（以下「使用日」という。）の十四日前までに使用申込書を教育委員会に提出しなければならない。

- 2 前項の使用申込書の受付は、使用日の3月前から行うものとする。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、6月前から行うことができる。
- 3 教育委員会は、使用許可をしたときは、使用承認書を交付するものとする。

（市長が必要と認めるときの使用料の納期限）

第七条の二 条例第五条第二項ただし書に規定する市長が必要と認めるときは、次の各号に掲げる場合とし、同項ただし書に規定する別に定める納期限は、当該各号に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ当該各号に定める日とする。

- 一 使用料を口座振替の方法により納入する場合
使用許可を受けた日の属する月の翌月末日
- 二 教育委員会が特別な事由があると認める場合
教育委員会が定める日

（市長が必要と認めるときの使用料の額の特例）

第七条の三 使用許可を受けた者（以下「使用者」という。）が条例第五条の二第一号に該当する場合において、同条の規定により市長が定める使用料の額は、零とする。

- 2 条例第五条の二第二号に規定する市長が別に定める期間は、次の各号に掲げる期間とし、同条の規定により市長が定める使用料の額は、前項の規

定にかかわらず、次の各号に掲げる期間の区分に応じ、それぞれ当該各号に定める額とする。

- 一 使用許可を受けた日から使用日の一月前の日までの期間 零
 - 二 使用日の一月前の日の翌日から使用日の七日前の日までの期間 条例第五条第一項の規定による使用料（以下「従前の使用料」という。）の額の五割に相当する額（その額に百円未満の端数が生じたときは、これを切り上げた額）。ただし、附帯設備の使用料及び暖房し、又は冷房する場合の使用料にあっては、零
 - 三 使用日の七日前の日の翌日から使用日までの期間 従前の使用料の額
- 3 使用者が前条の納期限までに使用料を納入せず、かつ、施設を使用する意思があると認められないときは、当該納期限の日において使用の取りやめの申出がなされたものとみなし、前項の規定を準用する。

（使用者の遵守事項）

第八条 使用者は、次の事項を遵守しなければならない。

- 一 使用の権利を譲渡し、又は転貸しないこと
- 二 使用許可を受けた目的以外の目的に使用しないこと
- 三 入場人員は収容定員を超えないこと
- 四 火災、盗難、人身事故その他の事故防止に留意すること
- 五 許可を得ないで寄付金の募集、物品の販売又は飲食物の提供を行わないこと
- 六 許可を得ないで広告物等の掲示若しくは配布又は看板立札等の設置を行わないこと
- 七 使用の終了後、直ちにその使用に係る施設を原状に回復すること

（観覧料等の返還）

第九条 観覧料を納入した者が天災その他自己の責めによらない事由により観覧できないときは、観覧料の全額を返還する。

- 2 使用者が条例第五条の二第一号に該当すると教育委員会が認める場合において、条例第七条ただし書の規定により既納の使用料を返還する場合の返還額は、既納の使用料の全額とする。
- 3 使用者が条例第五条の二第二号に該当すると教育委員会が認める場合において、条例第七条ただし書の規定により既納の使用料を返還する場合の

返還額は、次の各号に掲げる期間の区分に応じ、それぞれ当該各号に定める額とする。

- 一 第七条の三第二項第一号に掲げる期間 既納の使用料の全額
 - 二 第七条の三第二項第二号に掲げる期間 既納の使用料の額から当該額の五割に相当する額（その額に百円未満の端数が生じたときは、これを切り上げた額）を控除して得た額（附帯設備の使用料及び暖房し、又は冷房する場合の使用料にあっては、既納の使用料の全額）
- 4 使用料の返還を受けようとする者は、使用料返還申込書を教育委員会に提出しなければならない。（観覧料等の減免）

第十条 観覧料又は使用料の減免を受けようとする者は、減免を受けようとする事由を記載した減免申込書を教育委員会に提出しなければならない。ただし、教育委員会が減免申込書の提出を必要としない事由があると認める者については、この限りでない。

（付帯設備等の使用料）

第十一条 条例別表第二備考第六号の付帯設備の使用料は、別表一に表の定めるとおりとする。

- 2 条例別表第二備考第七号の暖房し、又は冷房する場合の使用料は、同表に定める使用料の額に同表の使用区分に応じ別表二の表に定める額を加算した額とする。

（博物館協議会）

第十二条 仙台市博物館協議会（以下「協議会」という。）に会長及び副会長1人を置き、委員の互選によって定める。

- 2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。

第十三条 協議会の会議（以下「会議」という。）

は、会長が必要と認めたときに開催する。

- 2 会長は、会議を招集し、その議長となる。
- 3 会議は、委員の過半数が出席しなければこれを開くことができない。
- 4 会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

第十四条 協議会の庶務は、博物館において処理する。

(実施細目)

第十五条 この規則の実施細目は、教育長が定める。

附 則

この規則は、昭和61年3月1日から施行する。

附 則 (昭和63、2・改正)

この規則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則 (平成9、3・改正)

(施行期日)

1 この規則は、平成9年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 改正後の別表一の表の規定は、この規則の施行の日(以下「施行日」という。)以後になされた使用許可に係る付帯設備使用料について適用し、施行日前になされた使用許可に係る付帯設備使用料については、なお従前の例による。

附 則 (平成9、9・改正)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則 (平成15、9・改正)

(施行期日)

1 この規則は、平成15年11月16日から施行する。ただし、第六条及び第十条の改正規定は、公布の日から施行する。

2 改正後の第九条の規定は、この規則の施行の日以後に使用料の返還の申込みがあった場合について適用する。

附 則 (平16、3・改正)

この規則は、平成16年4月1日から施行する。ただし、第八条の改正規定及び第十三条の改正規定(「定例会及び臨時会とし、定例会は隔月に、臨時会は」を削る部分を除く。)は、公布の日から施行する。

附 則 (平17、3・改正)

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則 (平27、3・改正)

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

別表第一 (第十一条関係)

一 付帯設備使用料

区 分	単 位	金額 (1回につき)
舞台照明設備	1式	1,000円
音響設備	1式	2,100円
視聴覚設備	1式	1,000円

備考 1回とは、使用1回(使用が2日以上にわたる場合は、1日)をいう。

二 暖房し、又は冷房する場合の加算額

区 分	加算額 (1時間につき)
ホ ー ル	500円
ギャラリー	400円

備考 暖房し、又は冷房する時間に1時間未満の端数があるときは、これを1時間に切り上げる。

ならない。

(借用)

第8条 館長は、博物館における展示、調査研究等のため、所蔵者から一時的に文化財を借用する場合、資料借用書(様式8)を発行し、資料借用書の控えを保管する。

2 借用資料は、借用目的が達せられた場合、すみやかに資料借用書と引き換えに所蔵者に返納する。

3 借用期間は1年以内とし、借用期間を延長する場合は、あらためて資料借用書を発行するものとする。

4 所蔵者が資料借用書を紛失した場合は、借用資料の返納の際、所蔵者から受領書の提出を受けるものとする。

(博物館資料の貸出)

第9条 館長は、博物館資料の借用依頼があった場合は、審査のうえ貸し出すことができる。

2 館長は、博物館資料の貸出を承諾したときは、出品承諾書(様式9または資料の貸出に当たって承諾を受けた者(以下「借用者」という。)の定めるもの)を発行し、仙台市博物館資料貸出台帳に登載するものとする。

3 貸出資料の件数は、貸出依頼のあった展覧会等1件につき20件以内とし、貸出期間は60日以内とする。ただし、特別の事由がある場合は、この限りではない。

4 館長は、資料の貸出を行うときは、借用者から借用書を受け取るものとする。

5 館長は、貸し出した資料の返還を受けるときは、資料の汚損、破損等の有無を確認し、借用書を借用者に返還するものとする。

(博物館資料の特別利用)

第10条 館長は、博物館内において博物館資料の閲覧や撮影を行おうとする者から、仙台市博物館資料特別閲覧・撮影申込書兼承認書(様式10)の提出を受け、これを承認する場合は承認書として発行するものとする。

(写真等の利用)

第11条 館長は、博物館資料の写真等(フィルム、電子データ、映像を含む)の貸出および掲載等を求める者から、仙台市博物館写真利用・減免申込書(様式11)の提出を受け、これを承認する場合は仙台市博物館写真利用・減免承認書(様式12)を発行するものとする。

2 写真の利用については別に定める。

(その他)

第12条 この要綱に定めるもののほか、資料の取り扱いについて必要な事項は館長が別に定める。

附則

この要綱は、平成29年1月12日から施行する。

※仙台市博物館資料取扱要綱内の様式については省略する。

仙台市博物館キャンパスメンバーズ 制度設置要綱

(平成25年2月4日教育長決裁)

(趣旨)

第1条 この要綱は、仙台市博物館キャンパスメンバーズ制度（以下「制度」という。）の設置及び取扱いに関し、必要な事項を定めるものとする。

(設置目的)

第2条 仙台市博物館（以下「博物館」という。）は、大学等との連携を図り、学校教育における博物館の有効な活用を促し、学生等が歴史・文化に親しむ機会をより豊かにすることを目的に、仙台市博物館キャンパスメンバーズ制度を設けるものとする。

(対象)

第3条 制度に入会することができるものは、大学、短期大学、高等専門学校、専修学校等の学校単位とする。但し、博物館が認める場合は、学部等の単位でも入会することができる。

(名称)

第4条 制度に入会した大学等は、「仙台市博物館キャンパスメンバー」（以下「メンバー」という。）と称する。

(特典)

第5条 メンバーの特典は、次のとおりとする。

- (1) メンバーに在籍する学生及び教職員の常設展観覧料の全額免除及び特別展観覧料の半額免除
- (2) 博物館が発行する印刷物の提供
- (3) 博物館での校外授業、研修、見学等の実施への協力
- (4) その他博物館長が認めた事項

2 前項第1号の特典を受けようとする者は、その身分を証明するものを提示するものとする。

(入会手続)

第6条 制度に入会を希望する大学等は、別紙様式1に定める「仙台市博物館キャンパスメンバーズ入会申込書」（以下「申込書」という。）により入会手続を行うものとする。

2 博物館は前項に定める入会手続を行った大学等がメンバーとしての要件を満たしている場合は入会を認め、別紙様式2に定めるメンバー証を発行するものとする。

(会費)

第7条 会費は、年会費とし、別表のとおりとする。ただし、次条第2項の規定により入会したメンバーの会費は、別表備考欄2のとおりとする。

- 2 前項の規定による会費は、納入通知書記載の納入期限までに納入するものとする。
- 3 博物館は、指定した期日までに会費の払い込みがない場合は、入会を取り消すことができるものとする。

(有効期間)

第8条 メンバーの有効期間は、原則として毎年4月1日から翌年の3月末日までとする。

- 2 大学等は、前項の規定にかかわらず、年度途中で入会できるものとする。この場合の有効期間の始期は、申し込みの時期、大学等の要望その他の状況を考慮し、博物館が定める。

(退会)

第9条 メンバーが退会しようとする場合は、博物館に退会届を提出するものとし、博物館が受理した時点で退会したものとする。

- 2 博物館は、メンバーとして適当でない認められる行為があった場合は、当該メンバーを脱会させ、再入会させないことができるものとする。
- 3 退会した場合の会費は、原則として返還しない。

(事務)

第10条 制度の事務は博物館が行う。

(その他)

第11条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成25年4月1日から施行する。

別表 区分と年会費

学生・教職員数	年会費	月割額
500人未満	30,000円	2,500円
500～1,000人未満	50,000円	4,200円
1,000～1,500人未満	75,000円	6,300円
1,500～2,000人未満	100,000円	8,400円
2,000～2,500人未満	125,000円	10,500円
2,500～3,000人未満	150,000円	12,500円
3,000～3,500人未満	175,000円	14,600円
3,500～4,000人未満	200,000円	16,700円
4,000～4,500人未満	225,000円	18,800円
4,500～5,000人未満	250,000円	20,900円
5,000～5,500人未満	275,000円	23,000円
5,500～6,000人未満	300,000円	25,000円
6,000～6,500人未満	325,000円	27,100円
6,500～7,000人未満	350,000円	29,200円
7,000～7,500人未満	375,000円	31,300円
7,500～8,000人未満	400,000円	33,400円
8,000～8,500人未満	425,000円	35,500円
8,500～9,000人未満	450,000円	37,500円
9,000～9,500人未満	475,000円	39,600円
9,500人以上	500,000円	41,700円

備考

- 1 学生数には、大学院生、通信制課程の学生を含む。また、基準となる学生数は申込日における直近の学校基本調査票（文部科学省指定統計）に基づくものとする。
- 2 年度中の入会に係る当該年度の会費については、月割額（当該年度を12で除して得た額に100円未満の端数が生じたときは100円に切り上げた額）に入会月から当該年度末までの月数を乗じて得た額とする。

※仙台市博物館キャンパスメンバーズ制度設置要綱内の様式については省略する。

仙台市博物館のあゆみ

旧 館

昭和34年3月	博物館建設調査着手
35年1月	学識経験者による基本構想検討
3月	博物館建設費予算計上
9月	博物館建設事務局設置
10月	博物館建設工事着工
36年6月	同工事竣工（鉄筋コンクリート2階建一部地階 総床面積883㎡）
7月	博物館条例設定
9月	博物館施行規則及び処務規定制定
10月	同条例・施行規則施行
38年7～11月	第一次増築工事（鉄筋コンクリート2階建 総床面積244㎡）
43年3～11月	第二次増築工事（鉄筋コンクリート2階建 総床面積879㎡）
46年12月～47年3月	第三次増築工事（鉄筋コンクリート2階建 総床面積405㎡）
50年11月	文化財保護法第48条に基づく勧告・承認館認定
58年3月	新館建築のため休館
5月	旧博物館解体工事開始
7月	旧博物館解体工事完了

新 館

昭和57年4月	博物館基本構想策定委員会設置
7月	同委員会が「仙台市博物館基本構想報告書」を仙台市教育委員会へ提出
9月	市議会で新博物館基本設計費を議決
11月	新博物館建設基本設計開始
58年5月	新博物館建設実施設計・展示実施設計開始
59年1月	博物館改築工事安全祈願祭及び起工式執行
60年7月	建築工事完了
11月	定礎式
61年2月	展示工事完了
3月	新博物館開館
62年9月	新博物館入場者50万人達成
平成元年10月	新博物館入場者100万人達成
11年8月	新博物館入場者300万人達成
13年6月	「慶長遣欧使節関係資料」47点 歴史資料国宝第1号指定
19年9月	「仙台城ガイダンス機能拡充等事業」基本計画策定業務開始
21年3月	「仙台城ガイダンス機能拡充等事業」基本計画総合設計完了
21年9月	「仙台城ガイダンス機能拡充等事業」館内改修工事着工
22年3月	改修工事完了
22年4月	リニューアルオープン
23年3～4月	東日本大震災に伴う復旧工事（1期）
4月	開館50周年
6～7月	復旧工事（2期）
1～2月	復旧工事（3期）、完全復旧
24年7月	開館以来の入館者数が700万人を突破
25年6月	国宝「慶長遣欧使節関係資料」のうち、「支倉常長像」等3点がユネスコ記憶遺産に認定
26年12月～27年2月	空気熱交換機改修工事（1期）
27年9月～28年2月	空気熱交換機改修工事（2期）
29年1月～3月	空調設備改修工事（1期）
30年1月～3月	空調設備改修工事（2期）

仙台市博物館年報

第45号 平成29年度

編集・発行 仙台市博物館
仙台市青葉区川内26番地
〈仙台城三の丸跡〉

Tel.022(225)2557/0814

印刷 新生印刷株式会社
仙台市若林区伊在二丁目4番地の2
Tel.022(762)6244

平成30年6月30日発行

©Sendai City Museum 2018

再生紙を使用しています